授業計画表

こども未来 学科

MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 日本国憲法	教員名 吉田 友哉	
科目時間数 : 30 時間 (15限)	授業の種類 : ☒ 講義 ・ ☒ 演習 ・ 実習	
必修・選択の別 : ☒ 必修・選択	開講時期 : 前期・ ☒ 後期・集中	
担当学年 : 1年次		
【授業の目的・ねらい】 日本国憲法が求めている理念を理解し、憲法問題に対するリーガルマインドを養う。		
【こども未来学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○) ①. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) 2. 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力)		
【授業全体の内容の概要】 日本国憲法の全体的な枠組みを体系的に理解しながら、憲法が求めている理念とは何か、現実社会との間にどのようなギャップがあるかを見つめながら、憲法問題に対するリーガルマインド(法的思考)を養う。		
【授業における達成課題】 保育専門職として保育実践に必要な知識を習得して「人権」への理解を深めて欲しい。		
	使用教材	出版社
学生用・教員用 共通	日本国憲法	近畿大学九州短期大学通信教育部
【使用教室】 ①. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 ④. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()		
【評価方法】 ①. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他 ()		
【備考】 評価について：筆記試験の点数、及び出席率を勘案しA(80点以上)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59点以下)の4段階で評価する。		
【担当教員の実務経験の有無】 有 ☒ 無 ☐		
【内容】		

科目名		日本国憲法		科目時間総数	30時間 (15限)	教員名	吉田 友哉
限・時間数		教育に含むべき事項・テーマ		主な学習内容と到達目標			
1	限	1時間 2時間	憲法とは何か	基本原則・種類 歴史から憲法を考える			
2	限	3時間 4時間		大日本帝国憲法の特色・日本国憲法との違い			
3	限	5時間 6時間	日本の憲法	国民主権とは 天皇の地位 象徴とは			
4	限	7時間 8時間		基本的人権について			
5	限	9時間 10時間		13条の解釈			
6	限	11時間 12時間		法の下での平等 判例から考える			
7	限	13時間 14時間		精神的自由権			
8	限	15時間 16時間					
9	限	17時間 18時間		経済的自由権			
10	限	19時間 20時間		人身の自由			
11	限	21時間 22時間		社会権			
12	限	23時間 24時間		国務請求権 参政権			
13	限	25時間 26時間	統治機構	国会 内閣			
14	限	27時間 28時間		司法 地方自治			
15	限	29時間 30時間	平和主義	戦争の放棄			

授業計画表

こども未来 学科

MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名	情報処理入門 I	教員名	梅木 美喜子												
科目時間数 :	30時間 (15限)	授業の種類 :	講義・演習・実習												
必修・選択の別 :	必修・選択	配当学年 :	1年次												
		開講時期 :	前期・後期・集中												
【授業の目的・ねらい】															
Officeソフト（ワープロ、表計算、プレゼンテーション）の基礎知識を学び、ビジネス文書、表作成技能を習得する。															
【こども未来学科ディプロマポリシーとの関連】 （※当該科目が最も関連する項目に○）															
<ol style="list-style-type: none"> ① 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人（自己研鑽、臨機応変な対応） 2. 幅広い視野で保育を実践できる人（保育理念、保育観、実践力、応用力） 3. 地域の文化を大切にできる力を持ち、豊かな人間性を備えた人（創造性、表現力） 															
【授業全体の内容の概要】															
パソコンの基本操作を理解する。ワープロ、表計算ソフトの基本操作および文書作成、表作成技能を習得する。															
【授業における達成課題】															
当該科目において、保育専門職として実務に活かせるパソコンの知識と技能を習得する。															
	使用教材	出版社													
学生用・教員用 共通	Word2019&Excel2019&Powerpoint2019	FOM出版													
教員用	WORD2019 基礎	〃													
	WORD2019ドリル	〃													
【使用教室】															
<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 25%;">①. HR</td> <td style="width: 25%;">2. 介護実習室</td> <td style="width: 25%;">3. 家政実習室</td> <td style="width: 25%;">4. 視聴覚室</td> </tr> <tr> <td>5. PC実習室</td> <td>6. 接遇実習室</td> <td colspan="2">7. その他 ()</td> </tr> </table>				①. HR	2. 介護実習室	3. 家政実習室	4. 視聴覚室	5. PC実習室	6. 接遇実習室	7. その他 ()					
①. HR	2. 介護実習室	3. 家政実習室	4. 視聴覚室												
5. PC実習室	6. 接遇実習室	7. その他 ()													
【評価方法】															
<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 25%;">1. 筆記試験</td> <td style="width: 25%;">2. レポート</td> <td style="width: 25%;">③. 出席</td> <td style="width: 25%;">④. 授業態度</td> </tr> <tr> <td colspan="4">⑤. 実技試験</td> </tr> <tr> <td colspan="4">6. その他 ()</td> </tr> </table>				1. 筆記試験	2. レポート	③. 出席	④. 授業態度	⑤. 実技試験				6. その他 ()			
1. 筆記試験	2. レポート	③. 出席	④. 授業態度												
⑤. 実技試験															
6. その他 ()															
【備考】															
評価について：レポートの点数、及び出席率を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。															
【担当教員の実務経験の有無】 ①・無															
【内容】 コンピュータメーカーのシステムエンジニアとしてシステム開発やユーザ教育・社内人材育成に従事															

科目名	情報処理入門 I	科目時間総数 30時間	(15限)	教員名 梅木 美喜子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容		
1限 1時間	オリエンテーション	講義の進め方および成績評価について		
2時間	自分のPC情報を知る	スペック・OSバージョン・Office環境を確認し、表にまとめる		
2限 3時間	タイピング	タッチタイピング練習ソフトの使い方		
4時間	文書の作成	Word文書（表の作り方、図の挿入）		
3限 5時間	〃	Word文書（演習課題①②）		
6時間	〃	Word文書（演習課題③④）		
4限 7時間	〃	Word文書（演習課題⑤⑥）		
8時間	〃	Word文書（演習課題⑦）		
5限 9時間	〃	Word文書（演習課題⑧⑨）		
10時間	〃	Word文書（演習課題⑩）		
6限 11時間	描画ツール	PowerPointの描画ツール（フリーハンドで描画）		
12時間	〃	〃	〃	
7限 13時間	描画ツール	PowerPointの描画ツール（図形編集による描画）		
14時間	〃	〃	〃	
8限 15時間	ビジネス文書の作成	Word文書（演習課題⑪）		
16時間	〃	Word文書（演習課題⑫）		
9限 17時間	カレンダーの作成	PowerPointによるイラストカレンダーの作成①		
18時間	〃	〃	〃	
10限 19時間	カレンダーの作成	PowerPointによるイラストカレンダーの作成②		
20時間	〃	〃	〃	
11限 21時間	各種案内文書の作成	Word文書（演習課題総集編）		
22時間	〃	Word文書（演習課題総集編）		
12限 23時間	カルタの作成	PowerPointによるカルタの作成（無料イラストの活用方法）		
24時間	〃	〃	〃	
13限 25時間	表計算の基本	EXCEL表（データおよび計算式入力、罫線等）		
26時間	〃	〃	〃	
14限 27時間	表計算の基本	EXCEL表（演習課題）		
28時間	〃	〃		
15限 29時間	試験ガイダンス	確認試験の進め方および注意事項について		
30時間	確認試験	試験時間（50分）		

授業計画表

こども未来 学科

MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 情報処理入門 I	教員名 梅木 美喜子		
科目時間数 : 15時間 (7.5限)	授業の種類 : 講義 ・ ☒ 演習 ・ 実習		
必修・選択の別 : ☒ 必修 ・ 選択	配当学年 : 1年次	開講時期 : 前期 ・ 後期 ・ ☒ 集中	
<p>【授業の目的・ねらい】</p> <p>EXCELの基礎知識を学び、表の作成や数式入力の基本操作を習得する。</p> <p>【こども未来学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○)</p> <p>☒ 1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応)</p> <p>2. 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力)</p> <p>3. 地域の文化を大切にできる力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力)</p> <p>【授業全体の内容の概要】</p> <p>パソコンの基本操作を理解する。ワープロ、表計算ソフトの基本操作および文書作成、表作成技能を習得する。</p> <p>【授業における達成課題】</p> <p>当該科目において、保育専門職として実務に活かせるパソコンの知識と技能を習得する。</p>			
	使用教材	出版社	
学生用・教員用 共通	Word2019&Excel2019&Powerpoint2019	FOM出版	
教員用	EXCEL2019 基礎	〃	
	EXCEL2019ドリル	〃	
<p>【使用教室】</p> <p>☒ 1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室</p> <p>5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()</p>			
<p>【評価方法】</p> <p>1. 筆記試験 2. レポート ☒ 3. 出席 ☒ 4. 授業態度</p> <p>☒ 5. 実技試験 6. その他 ()</p>			
<p>【備考】</p> <p>評価について：レポートの点数、及び出席率を勘案しA(80点以上)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59点以下)の4段階で評価する。</p>			
<p>【担当教員の実務経験の有無】 ☒ 有 ・ 無</p>			
<p>【内容】 コンピュータメーカーのシステムエンジニアとしてシステム開発やユーザ教育・社内人材育成に従事</p>			

科目名	情報処理入門 I	科目時間総数	15時間 (7.5限)	教員名	梅木 美喜子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容			
1限 1時間	Excelの基礎知識	Excelの概要			
2時間	〃	データの種類、演算記号、その基本操作			
2限 3時間	データの入力	Excelの基本操作、オートフィルの利用、簡単な表作成			
4時間	〃	〃			
3限 5時間	表の作成	関数（オートΣ）、罫線の設定、表示形式、配置、書式の設定			
6時間	〃	〃			
4限 7時間	表の作成	いろいろな率の求め方			
8時間	〃	〃			
5限 9時間	数式の入力	関数オートΣ（MAX、MIN……）、相対・絶対参照			
10時間	〃	〃			
6限 11時間	表作成練習	白紙の状態から、基本的な表作成練習			
12時間	〃	〃			
7限 13時間	グラフの作成	円グラフ、折れ線グラフ、棒グラフなど			
14時間	〃	〃			
8限 15時間	試験ガイダンス	確認試験の進め方および注意事項について			
	確認試験	試験時間（50分）			

授業計画表

こども未来 学科

MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 国語表現法	教員名 土川律子
科目時間数: 30時間 (15限)	授業の種類: ☒ 講義 ・ 演習 ・ 実習
必修・選択の別: ☒ 必修・選択	配当学年: 1年 開講時期: ☒ 前期・後期・集中
<p>【授業の目的・ねらい】 記録・レポート等、論理的文章を書くための基礎的な事項を学び、事柄をわかりやすく、正確かつ的確に伝える記述する記述力の習得を目標とする。記録文における文章全体の構成、また細部における客観的、具体的記述力を身に付ける。</p> <p>【こども未来学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○) 1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) 2. 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) ③. 地域の文化を大切にできる力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力)</p> <p>【授業全体の内容の概要】 本授業では、論理的文章の記述力を高めることを目標とする。自己の表現力を確認し、基礎的な事項を学び、文全体の構成、事実と意見を書き分ける等、わかりやすく論理的文章の表現法を身に付ける。要約、意見文の記述により基礎力を養い、記録文を作る。</p> <p>【授業における達成課題】 当該科目について、保育の実践にあたり豊かな表現ができるようになる</p>	
	使用教材
	出版社
書き込み式日本語表現ノート (三弥井出版) ・ 日本語表現法ワークブック (三省堂) 文章表現基本テキスト (日本能率協会マネジメントセンター) 他	
【使用教室】	
①. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()	
【評価方法】	
①. 筆記試験 2. レポート ③. 出席 ④. 授業態度 5. 実技試験 6. その他 ()	
【備考】	
評価について：筆記試験、授業態度等を勘案し、A(80点以上)、B(70～79点)、C(60～69点)、D(59点以下：不合格)で評価します	
【担当教員の実務経験の有無】 有 ☒ 無 ☐	
【内容】 国語教諭中学1級・高校2級	

科目名		科目時間総数	教員名
国語表現法		30時間(15限)	土川律子
限・時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と達成目標	
1	1 授業の概要	記述の基本を確認し、表記できる	
	2 理解する力	課題の図形を文章で説明し、その文を正確に復元できる	
2	3 話し言葉・書き言葉	「話し言葉」「書き言葉」の基本を聴き取り表記できる	
	4 説明する力	地図を文章で説明し、説明文を正確に把握できる	
3	5 文の組み立て	論理的な文章の接続と修飾関係を理解できる	
	6 要約トレーニング①	表記の正確さを意識して、記述できる	
4	7 文のつなぎ方	論理的な文章の構成は、適切な接続によると理解できる	
	8 視点	客観的文章記述のため、事柄に視点を置いた表現ができる	
5	9 要約トレーニング②	前回までの内容を確認し、課題を要約できる	
	10 意味の限定	修飾の仕方による曖昧な表現を正せる	
6	11 言葉の順序	「言葉の順序」を把握し、わかりやすい文章を構成できる	
	12 要約トレーニング③	過不足なく適切な説明をし、要約できる	
7	13 定義・分類の表現	「定義・分類」の表現を学び、実践できる	
	14 文章構成	定義・分類の表現が理解でき、論理的な文章を構成できる	
8	15 対比・比較の表現	比較、対比による共通点と相違点の表現ができる	
	16 意見文への道①	事実と意見を書き分けることができる	
9	17 列挙・因果関係	出来事の経過・因果関係を説明できる	
	18 意見文への道②	意見を論理的に表現できる	
10	19 意見文を書く①	課題に対して事例・原因を挙げ考察できる	
	20 引用	レポート・論文に用いられる引用の形式を知り、実践できる	
11	21 敬語	職場での人間関係を円滑にする敬語表現ができる	
	22 意見文を書く②	課題・事実・理由説明・考察が適切にできる	
12	23 注意すべき敬語表現	前回の学習に加え、より実践的な敬語表現ができる	
	24 論理トレーニング①	課題に対する意見を述べるにあたり、論理的に構成ができる	
13	25 記録文を書く	実習記録など、事実の記述が適正に表現できる	
	26 論理トレーニング②	課題について意見・考察に加え、引用による論証ができる	
14	27 レポートの書き方①	課題文について、事実・事例・意見・論証を構成できる	
	28 レポートの書き方②	前回の学習を踏まえ、課題について記述できる	
15	29 小論文の書き方①	課題を設定し、意見論述に必要な項目を列挙できる	
	30 小論文の書き方②	課題を自ら設定し、記述できる	

授業計画表

こども未来 学科

MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名	英会話 I	教員名	川村 繭子
科目時間数 :	15時間 (7.5限)	授業の種類 :	☒ 講義 ・ ☒ 演習 ・ 実習
必修・選択の別 :	☒ 必修 ・ 選択	配当学年 :	1年次
		開講時期 :	前期 ・ ☒ 後期 ・ 集中
【授業の目的・ねらい】			
<p>保育園や幼稚園で必要となる基礎的な英会話を身に付けることで、コミュニケーション能力を習得するとともに異文化理解や国際理解について学ぶ。 幼児向けの英語の歌やゲームを習得することで、幼児が英語に興味を持ち楽しめるような表現力を習得する。</p>			
【こども未来学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○)			
<p>1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) 2. 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) ③. 地域の文化を大切にできる力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力)</p>			
【授業全体の内容の概要】			
<p>Happy English for Childcare リスニングをCD (またはデジタル音源) を使用し練習する。リスニングで習得した内容の会話をロールプレイで練習、展開する。幼児向けの英語の歌、手遊び、読み聞かせのいくつかを習得し、実践する。</p>			
【授業における達成課題】			
<p>基礎的な英会話のリスニングとスピーキングを習得し、コミュニケーションの実現。 英語の歌に振りをつけて発表することで英語の発音と表現の達成。 異文化に触れることで、グローバルな意識を持つ。</p>			
	使用教材	出版社	
学生用・教員用 共通	Happy English for Childcare (保育のための基礎英語)	金星堂	
【使用教室】			
①. HR	2. 介護実習室	3. 家政実習室	4. 視聴覚室
5. PC実習室	6. 接遇実習室	7. その他 ()	
【評価方法】			
①. 筆記試験	2. レポート	3. 出席	4. 授業態度
⑤. 実技試験	6. その他 ()		
【備考】			
評価：英語の歌、手遊び歌、読み聞かせなどの実演も評価に含む。			
【担当教員の実務経験の有無】 ☒ 有 ・ ☐ 無			
【内容】 英会話教室の講師としての実務経験			

科目名 も未来 英会話 I		科目時間総数 15時間 (7.5限)	教員名 川村 繭子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1限 1時間	リスニングとコミュニケーションにより会話力を習得	Pre Unit and Unit 1 (英会話の基本表現 と 自己紹介)	
2時間	英語の歌と遊戯：基本と応用	歌 (Head Shoulders Knees and Toes)	
2限 3時間	リスニングとコミュニケーションにより会話力を習得	Unit2: Where is the multi-purpose room? (道案内)	
4時間	英語の歌と遊戯：基本と応用	歌 (How's the Weather?)	
3限 5時間	リスニングとコミュニケーションにより会話力を習得	Unit 3: How are you today? (登園時の会話、今日の調子を聞く)	
6時間	英語の歌と遊戯：基本と応用	歌 (ABC Song)	
4限 7時間	リスニングとコミュニケーションにより会話力を習得	Unit 4: What color do. you like? (好きなものを聞く)	
8時間	英語の歌と遊戯：基本と応用	歌 (Bingo)	
5限 9時間	リスニングとコミュニケーションにより会話力を習得	Unit 6: It's time to play outside. (園庭での会話)	
10時間	英語の歌と遊戯：基本と応用	歌 (Open, Shut Them)	
6限 11時間	リスニングとコミュニケーションにより会話力を習得	Unit 8: You should go to the bathroom. (お昼寝時間の会話)	
12時間	英語の歌と遊戯：基本と応用	歌 (Itchy Bitchy Spider) 手遊び	
7限 13時間	リスニングとコミュニケーションにより会話力を習得	Unit 9: We made masks today. (降園時の会話)	
14時間	英語の歌と遊戯：基本と応用	歌 (Five little ducks) 手遊び	
8限 15時間	リスニングとコミュニケーションにより会話力を習得	総仕上げテスト	
	英語の歌と遊戯：基本と応用	歌・手遊び まとめ	

授業計画表

こども未来 学科

MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名	英会話 I	教員名	川村 繭子
科目時間数:	15時間 (7.5限)	授業の種類:	講義・演習・実習
必修・選択の別:	必修・選択	配当学年:	1年次
		開講時期:	前期・後期・集中
<p>〔授業の目的・ねらい〕</p> <p>保育園や幼稚園で必要となる絵本の読み聞かせや、手遊びを英語で習得し、コミュニケーション能力、異文化理解について学ぶ。表現力を高め、発表することにより、自信を持つ。</p> <p>〔こども未来学科ディプロマポリシーとの関連〕 ※当該科目が最も関連する項目に○</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) 2. 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) ③. 地域の文化を大切にできる力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力) <p>〔授業全体の内容の概要〕</p> <p>英語の絵本や音源を使用し、練習する。習得した内容の絵本、歌、手遊びなどを実際に練習し、実践する。</p> <p>〔授業における達成課題〕</p> <p>簡単な英語絵本の読み聞かせが一つ以上できるようになる。簡単な英語の歌、または手遊び歌が一つ以上できるようになる。</p>			
	使用教材		出版社
講師持ち込み絵本など			
<p>【使用教室】</p> <p>①. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室</p> <p>5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()</p>			
<p>【評価方法】</p> <p>①. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度</p> <p>⑤. 実技試験 6. その他 ()</p>			
<p>【備考】</p> <p>評価:</p>			
<p>【担当教員の実務経験の有無】 ①. 有・無</p> <p>【内容】 英会話教室の講師としての実務経験</p>			

科目名		科目時間総数	教員名
英会話 I		15時間 (7.5限)	川村 繭子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1限 1時間	コミュニケーション力を高める	自己紹介	
2時間	展開、実践する	発表	
2限 3時間	幼児向けの英語の歌を習得する	英語の歌を歌おう	
4時間	幼児向けの英語の手遊びを習得する	英語の手遊び歌を覚えよう	
3限 5時間	幼児向けの英語の歌を練習する	英語の手遊び歌・歌を選ぶ (グループワーク)	
6時間	英語の発音と表現の達成	グループで練習する	
4限 7時間	幼児向けの英語の絵本を習得する	グループで発表する	
8時間	他から学ぶことで視野を広げる	評価 (自他グループで特によかったところを見つけ合う)	
5限 9時間	幼児向けの英語の絵本を習得する	英語の絵本を読もう	
10時間	英語の発音と表現の達成	練習する	
6限 11時間	幼児向けの英語の絵本を習得する	英語の絵本選択	
12時間	英語の発音と表現の達成	少人数グループで練習する	
7限 13時間	異文化に触れる意識	作成、準備も含み練習する	
14時間	展開、実践する	発表する	
##限 15時間	他から学ぶことで視野を広げる	評価しあう	

授業計画表

こども未来 学科

MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 健康科学	教員名 高橋 裕貴子
科目時間数 : 15 時間 (7.5限)	授業の種類 : 講義・演習・実習
必修・選択の別 : 必修・選択	配当学年 : 1年次
開講時期 : 前期・後期・集中	
<p>【授業の目的・ねらい】 スポーツ活動との関連の中で、健康や体力に関する知識や関心を高める。</p> <p>【こども未来学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○)</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) 2. 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力) <p>【授業全体の内容の概要】</p> <p>スポーツ活動との関連の中で健康や体力に関する知識や関心を高め、合理的な運動実践を習慣化するための方策について学ぶ。</p> <p>【授業における達成課題】 当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識を習得する。</p>	
	使用教材
	出版社
学生用・教員用 共通	生涯スポーツ・健康科学
近畿大学九州短期大学通信教育部	
<p>【使用教室】</p> <p>1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室</p> <p>5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()</p>	
<p>【備考】</p> <p>評価について：実技の点数、及び出席率を勘案しA(80点以上)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59点以下)の4段階で評価する。</p>	
<p>【担当教員の実務経験の有無】 有・無</p>	
<p>【内容】 中学校での体育教員、運動指導者としての経験</p>	

科目名		健康科学	科目時間総数 15時間 (7.5限)	教員名 高橋 裕貴子
限・時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標		
1 限	1時間	スポーツの概念	スポーツの語源・概念を知る	
	2時間	〃	スポーツの現代的理解と特性を知る	
2 限	3時間	社会生活の変化とスポーツ	余暇とスポーツ活動の関連性を知る	
	4時間	〃	今後における余暇活動について理解する	
3 限	5時間	スポーツ参加の現状と課題	スポーツ参加の現状を知る	
	6時間	〃	スポーツ参加における問題点を探る	
4 限	7時間	〃	生涯学習体系の移行について知る	
	8時間	健康の概念	健康観の変遷について理解する	
5 限	9時間	〃	WHOの健康の定義について理解する	
	10時間	健康・体力と運動	現代社会における健康阻害要因について	
6 限	11時間	〃	体力の概念と構成要素について理解する	
	12時間	生活におけるトレーニング	運動処方を知る	
7 限	13時間	〃	トレーニングの基礎理論を理解する	
	14時間	〃	トレーニングの科学的基礎を理解する	
7.5 限	15時間	試験対策		

授業計画表

こども未来 学科

MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 生涯スポーツ	教員名 橋場 駿士
科目時間数 : 22.5 時間 (11.25限)	授業の種類 : 講義 ・ <u>演習</u> ・ 実習
必修・選択の別 : <u>必修</u> ・選択	配当学年 : 1年次 開講時期 : 前期・後期・ <u>集中</u>
<p>【授業の目的・ねらい】 国民を取り巻くスポーツの現状について理解を深め、生涯スポーツの実現にはどのような仕組みや考え方が必要かを学ぶ。生涯スポーツを支える側としての、基本的な能力を身につける。</p> <p style="text-align: right;">(※当該科目が最も関連する項目に○)</p> <p>【こども未来学科ディプロマポリシーとの関連】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) ② 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力) <p>【授業全体の内容の概要】</p> <p>スポーツを取り巻く社会環境について学ぶ。 幼児～高齢者、障がい者まで、幅広く運動に親しむための補助者としての能力を養う。</p> <p>【授業における達成課題】 生涯スポーツの意味を理解し、自分に何ができるかを考えることができる。 幼児を中心としたスポーツ指導の技能や考え方を理解することができる。</p>	
	使用教材
	出版社
学生用・教員用 共通	生涯スポーツ・健康科学
	近畿大学九州短期大学通信教育部
<p>【使用教室】</p> <p>1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室</p> <p>5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 (<u>月が丘幼稚園</u>)</p>	
<p>【備考】</p> <p>評価について：実技の点数、及び出席率を勘案しA(80点以上)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59点以下)の4段階で評価する。</p>	
<p>【担当教員の実務経験の有無】 <u>有</u>・無</p>	
<p>【内容】 中学校教員 (保健体育) としての実務経験</p>	

科目名		科目時間総数	教員名
生涯スポーツ		22.5時間 (11.25限)	橋場 駿士
限・時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1限 1時間 2時間	日本のスポーツ実施率の現状と解決方法を考える 生涯スポーツに適したスポーツを学ぶ	スポーツを取り巻く現状について理解している 生涯スポーツの概念について理解している 生涯スポーツの理論や種類について理解している	
2限 3時間 4時間	実 技	アイスブレイク～体づくり運動	
3限 5時間 6時間	〃	ドッジボール	
4限 7時間 8時間	〃	ニュースポーツ	
5限 9時間 10時間	〃	ニュースポーツ	
6限 11時間 12時間	〃	ニュースポーツ	
7限 13時間 14時間	〃	ゴール型	
8限 15時間 16時間	〃	ゴール型	
9限 17時間 18時間	〃	ネット型	
10限 19時間 20時間	〃	ネット型	
11限 21時間 22時間	〃	ベースボール型	
11.25限 22.5時間	〃	まとめ	

授業計画表

こども未来 学科

MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 保育原理	教員名 岩城 安生
科目時間数 : 30 時間 (15限)	授業の種類 : 講義・演習・実習
必修・選択の別 : 必修・選択	配当学年 : 2年次
開講時期 : 前期・後期・集中	
<p>【授業の目的・ねらい】</p> <p>保育原理では、保育の基本・原則を学習することを目的とし、他の科目の基礎となるものである。国がこれまでの経緯をもとに、保育というものをどのように定め、保育者に求められる資質は何かを理解する。昨今の多様化する保育形態を理解し、保育所・幼稚園・認定こども園の目的、内容、方法等に触れ、三施設の共通点や相違点を正確に理解する。現代における保育の原理、つまり根本は、乳幼児が各目的により設置されたどの施設に入所・入園したとしても、子どもの育ちに違いがあってはならないのだという事を修学する。社会人として保育に携わる立場に置かれた際、根本的に、健全な子どもの育ちを支えるべく人材の育成を、最終的な目的とねらいとする。</p> <p>【こども未来学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○)</p> <p>① 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応)</p> <p>2. 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力)</p> <p>3. 地域の文化を大切にできる力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力)</p> <p>【授業全体の内容の概要】</p> <p>保育理念等を取り扱い、保育に関わる法令、制度について理解する。その後、保育所・幼稚園・認定こども園に触れ、共通点・相違点を理解する。保育の方法、計画や評価を学習した後、子どもの理解に基づき保育のあり方に重点を置く。地域とのつながり、障害児の受け入れ、保育の歴史などを学び、幼保一元化、一体化等、日本の保育の現状を理解する。</p> <p>【授業における達成課題】</p> <p>上記ねらいを踏まえ以下の3点を達成できるようにする。</p> <p>①保育に関わる法令・制度を理解し、要点を掴む。</p> <p>②保育士の社会的役割と責任について、説明できる。</p> <p>③子どもを理解することが保育の出発点であることの意味を理解し、実践につなげる。</p>	
	使用教材
出版社・編著	
学生用・教員用 共通	保育原理 子どもの保育の基本理論の理解
萌文書林・岡田耕一	
【使用教室】	
1. HR	2. 介護実習室
3. 家政実習室	4. 視聴覚室
5. PC実習室	6. 接遇実習室
7. その他 ()	
【評価方法】	
1. 筆記試験	2. レポート
3. 出席	4. 授業態度
5. 実技試験	6. その他 ()
【備考】	
評価について：筆記試験、レポートの点数、及び授業態度を総合的に評価しA(80点以上)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59点以下)の4段階で評価する。	
【担当教員の実務経験の有無】 有・無	
【内容】 幼稚園教諭、主幹教諭、教頭、園長としての実務経験	

科目名		保育原理		科目時間総数	教員名
				30時間	岩城 安生
限・時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標			
1限	1時間	保育について	本講義の概要説明 保育者に求められる資質		
	2時間	保育について	保育の理念 子どものための保育 社会的役割と責任		
2限	3時間	保育について	保育の理念 子どものための保育 社会的役割と責任		
	4時間	子どもと保育に関する法令	子どもと家庭福祉における保育と関係法令		
3限	5時間	子どもと保育に関する法令	子どもと家庭福祉における保育と関係法令		
	6時間	保育所について学ぶ	保育所保育指針の改定 保育所保育指針とはなにか 目的と役割 保育の目標		
4限	7時間	保育所について学ぶ	保育における養護、育みたい資質・能力、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿 保育に関わるねらい及び内容 乳児保育に関わるねらい及び内容		
	8時間	保育所について学ぶ	1歳児以上3歳児未満児の保育に関わるねらい及び内容 3歳児以上5歳の保育に関するねらい及び内容 保育所と小学校との連携の強化		
5限	9時間	幼稚園について学ぶ	幼稚園教育要領の変遷 幼稚園教育要領と幼稚園教育 幼稚園教育の目的、目標		
	10時間	幼稚園について学ぶ	幼稚園教育要領の変遷 幼稚園教育要領と幼稚園教育 幼稚園教育の目的、目標		
6限	11時間	幼稚園について学ぶ	幼稚園教育の基本 幼稚園今日お育において育みたい資質・能力 幼稚園教育のねらいと内容		
	12時間	幼保連携型認定こども園について学ぶ	幼保連携型認定こども園の目的・目標・内容		
7限	13時間	幼保連携型認定こども園について学ぶ	教育と保育を一体的に行う幼保連携型認定こども園の教育・保育とは 幼保連携型認定こども園の子育て支援		
	14時間	保育所保育の方法	環境を通して行う保育の必要性 保育所保育指針に示された「環境を通しての保育」		
8限	15時間	保育所保育の方法	環境を通して行う保育の必要性 保育所保育指針に示された「環境を通しての保育」		
	16時間	保育所保育の方法	保育所保育の方法		
9限	17時間	保育の計画と評価	保育の計画 保育の過程		
	18時間	保育の計画と評価	学びを実習につなげる		
#限	19時間	保育の計画と評価	学びを実習につなげる		
	20時間	子どもの理解に基づく保育	子どもの発達過程の理解と保育 個人差に応じた保育		
#限	21時間	子どもの理解に基づく保育	観察と記録に基づく子ども理解		
	22時間	地域社会で行う子育ての支援	保育所における子育て支援 幼稚園における子育て支援		
#限	23時間	地域社会で行う子育ての支援	幼稚園、保育所、幼保連携型認定こども園以外の施設で行われる子育て支援 地域の人たちによる子育て支援 学生に出来る子育て支援		
	24時間	障害児を受け入れる保育	障害児保育について 保育現場における障害児保育の実際		
#限	25時間	障害児を受け入れる保育	保護者及び関係機関との連携 特別な配慮が必要となる子ども		
	26時間	保育の歴史	幼稚園の歴史 保育所の歴史		
#限	27時間	保育の歴史	幼児教育・保育をめぐる動向 欧米の教育・保育思想		
	28時間	日本の保育の現状	子ども・子育て支援新制度の誕生 幼保一元化に向けて		
#限	29時間	日本の保育の現状	保育所職員に資質・専門性の向上を目指す 保育・育児における情報機器の利用		
	30時間	日本の保育の現状	保育者に求められる資質とは		

授業計画表

こども未来 学科

MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 教育原理	教員名 本山 敬祐
科目時間数： 30時間 (15限)	授業の種類： 講義 ・ 演習 ・ 実習
必修・選択の別： 必修・選択	配当学年： 1年次
開講時期： 前期・後期・集中	
【授業の目的・ねらい】 本科目は、保育者になるにあたって求められる教育観・子ども観・保育者観等の基礎となる知識を修得するとともに、自らの「観」を豊かにするための思考力や表現力の基礎を身に付けることを目的とする。	
【こども未来学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○) ① 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) ② 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) ③ 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力)	
【授業全体の内容の概要】 講義を中心とする。講義のなかで学生同士の対話の機会を重視する。	
【授業における達成課題】 ・教育とは何か、子どもはどのような存在か、これからの時代を生きる子どもたちにどのような保育が必要かについて、テキストの内容を踏まえつつ、自分の言葉で議論できるようになること。	
【使用教材・テキスト等】 垂見直樹他(2019)『保育のための教育原理』	
【使用教室】 ① HR ② 介護実習室 ③ 家政実習室 ④ 視聴覚室 ⑤ PC実習室 ⑥ 接遇実習室 ⑦ その他 ()	
【評価方法】 ① 筆記試験 ② レポート ③ 出席 ④ 授業態度 ⑤ 実技試験 ⑥ その他 ()	
【備考】 筆記試験並びにレポートの合計が60点以上を合格とする。	
【担当教員の実務経験の有無】 有 ・ 無	
【内容】	

科目名		科目時間総数	教員名
教育原理		30時間 (15限)	本山 敬祐
限・時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と達成目標	
1限 1時間 2時間	オリエンテーション	講義の進め方を理解する	
2限 3時間 4時間	教育とは何か 演習	教育の定義や学習との違いを説明できるようになる。 隠れたカリキュラムに着目して保育実践の改善点を考察する。	
3限 5時間 6時間	幼児教育の思想 演習	子ども観の歴史的変遷を理解する。 権利主体としての子ども像を前提に保育実践を考える。	
4限 7時間 8時間	教育制度の成立と幼児教育の展開 演習	保育内容の制度的変遷を踏まえて、新しい保育の潮流を理解する。	
5限 9時間 10時間	戦後日本における教育の再出発 演習	戦後日本の幼児教育制度史を理解する。	
6限 11時間 12時間	教育の法規と制度の基礎 演習	教育に関する法規の基礎を理解する。 日本の就学前教育制度の特徴と課題を理解する。	
7限 13時間 14時間	諸外国における教育・保育 演習	多様な保育実践に触れ、日本の保育の特徴を理解する。	
8限 15時間 16時間	教育の方法 演習	幼児期の教育方法の基本原則を理解し、子どもたちに必要な教育について資質・能力の観点から説明できる。	
9限 17時間 18時間	教育の内容 演習	幼児期の教育内容を理解し、子どもたちに必要な教育について資質・能力の観点から説明できる。	
10限 19時間 20時間	教育の計画と評価 演習	教育における計画や評価の基礎を理解する。 子どもの実態にもとづく計画の見直しや改善のポイントを理解する。	
11限 21時間 22時間	現代社会と生涯学習 演習	生涯学習の理念等を理解する。	
12限 23時間 24時間	教育／保育現場をめぐる現代的課題 演習	教育現場における課題を通して日本社会が抱える課題について考察し、保育者として求められる役割が説明できるようになる。	
13限 25時間 26時間	連携による教育・保育 演習	就学前教育と小学校との連携の基礎的な考え方を理解し、保育者として望ましい連携の在り方を検討する。	
14限 27時間 28時間	教育・保育における対話 演習	子どもと大人の対話や子ども同士の対話の重要性について理解し、子どもの声に耳を傾けるための姿勢を養う。	
15限 29時間 30時間	まとめ	講義全体を振り返り、学んだことを言語化する。	

授業計画表

こども未来 学科

MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名	子ども家庭福祉	教員名	赤羽 哲朗																						
科目時間数 :	30時間 (15限)	授業の種類 :	☒ 講義 ・ 演習 ・ 実習																						
必修・選択の別 :	☒ 必修 ・ 選択	配当学年 :	2年次																						
		開講時期 :	前期 ・ ☒ 後期 ・ 集中																						
<p>【授業の目的・ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子ども家庭福祉の課題について幅広く考察する力を養い、その解決に向けた社会の新たな動向等について理解を深める。 ・ 子どもの権利やその最善の利益を図ることについての基本的な知識を得る。 ・ 複雑・多様化する子ども家庭福祉ニーズに適切に対応するための相談援助の実際や保育者に求められる役割等について学ぶ <p>【こども未来学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) ☒2. 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にできる力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力) <p>【授業全体の内容の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子ども・家庭の生活実態とこれを取り巻く社会情勢、福祉需要と実際 ・ 子ども家庭福祉制度の発展の歴史 ・ 子どもの権利条約及び子ども家庭福祉に関わる法律 ・ 子ども家庭福祉の実施機関と専門職 ・ 児童福祉施設の種別と運営内容 ・ 子ども虐待の防止と支援 ・ 子ども虐待とDVの関連、女性福祉の取組の概要 ・ 社会的養護の現状と課題、今後の施策展開の方向 ・ ひとり親世帯、障害を持つ子どもへの支援 ・ 母子保健施策の概要 ・ 子どもの健全育成施策の概要 ・ わが国における保育の歴史、現状、今後の課題 ・ 少子化対策と子育て支援 ・ 子ども家庭福祉に関わる専門職としての保育士に求められるもの <p>【授業における達成課題】</p> <p>当該科目について、保育士として必要な知識を習得するとともに、子ども家庭福祉に関わる専門職としての保育士の役割の重要性について理解を深める。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 40%; text-align: center;">使用教材</td> <td style="width: 40%; text-align: center;">出版社</td> </tr> <tr> <td></td> <td>子ども家庭福祉ー子どもと家庭を支援す</td> <td>大津泰子著 ミネルヴァ書房2023</td> </tr> </table> <p>【使用教室】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">☒1. HR</td> <td style="width: 25%;">2. 介護実習室</td> <td style="width: 25%;">3. 家政実習室</td> <td style="width: 25%;">4. 視聴覚室</td> </tr> <tr> <td>5. PC実習室</td> <td>6. 接遇実習室</td> <td colspan="2">7. その他 ()</td> </tr> </table> <p>【評価方法】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">☒1. 筆記試験</td> <td style="width: 25%;">2. レポート</td> <td style="width: 25%;">3. 出席</td> <td style="width: 25%;">☒4. 授業態度</td> </tr> <tr> <td colspan="4">5. 実技試験 6. その他 ()</td> </tr> </table> <p>【備考】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 補完資料を配布し、専門用語の意味や根拠法令等の適切な理解を促すとともに、関連の新聞報道等を紹介し、自らに身近なものとして授業の理解を深めるための一助とする。 ・ 現実社会の動向に積極的に興味を向け、より幅広い視点で対象者のニーズや援助のあり方を捉え、具体的実践につなげる姿勢を持つ。 ・ 深刻化しつつある子ども虐待の予防や早期発見、早期対応、さらには家庭への支援にあたって、保育所及び保育士の果たす役割の重要性を認識し、実践の基本を理解する。 <p>【担当教員の実務経験の有無】 ☒有 ・ 無</p> <p>【内容】 児童相談所、福祉事務所、障害者施設等での実務経験</p>					使用教材	出版社		子ども家庭福祉ー子どもと家庭を支援す	大津泰子著 ミネルヴァ書房2023	☒ 1. HR	2. 介護実習室	3. 家政実習室	4. 視聴覚室	5. PC実習室	6. 接遇実習室	7. その他 ()		☒ 1. 筆記試験	2. レポート	3. 出席	☒ 4. 授業態度	5. 実技試験 6. その他 ()			
	使用教材	出版社																							
	子ども家庭福祉ー子どもと家庭を支援す	大津泰子著 ミネルヴァ書房2023																							
☒ 1. HR	2. 介護実習室	3. 家政実習室	4. 視聴覚室																						
5. PC実習室	6. 接遇実習室	7. その他 ()																							
☒ 1. 筆記試験	2. レポート	3. 出席	☒ 4. 授業態度																						
5. 実技試験 6. その他 ()																									

科目名		科目時間総数	教員名
子ども家庭福祉		30時間 (15限)	赤羽 哲朗
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1限 1時間 2時間	現代社会と子ども家庭福祉① (少子高齢社会と子どもの健全育成)	少子化の現状やその要因、影響を理解し、現代社会における子ども家庭福祉の意義や目指す方向について理解する。	
2限 3時間 4時間	現代社会と子ども家庭福祉② (家族形態の変容及と家族機能の変化)	家族の変化や育児不安等の子育てをめぐる問題、子どもが育つ環境の変化とその影響等について理解する。	
3限 5時間 6時間	子ども家庭福祉の歴史 (イギリス、アメリカ、日本の歴史)	イギリス及びアメリカを中心に諸外国における子ども家庭福祉の歴史について理解する。	
4限 7時間 8時間	同上	日本の子ども家庭福祉の歴史を概観し、児童福祉から子ども家庭福祉へと施策・制度の広がっていることを理解する。	
5限 9時間 10時間	子ども家庭福祉の理念と法律	児童の権利条約の内容や子ども基本法、児童福祉法の理念を理解し、子どもに関わる専門職としての実践に活かす。	
6限 11時間 12時間	同上	児童福祉六法や子ども家庭福祉に関連する法律を理解する。	
7限 13時間 14時間	子ども家庭福祉の機関と専門職	子ども家庭福祉に関わる国、地方自治体の役割や実施機関、子ども家庭福祉の財政と費用の基本的内容を理解する。	
8限 15時間 16時間	同上	各関係機関に配置される専門職員の名称や役割を理解する。	
9限 17時間 18時間	児童福祉施設	児童福祉施設の定義、施設の種類及び役割、今後の課題等について理解を深める。	
10限 19時間 20時間	子ども家庭福祉サービス	児童虐待の防止と支援、児童虐待とドメスティックバイオレンスとの関連や社会的養護の施策について理解する。	
11限 21時間 22時間	同上	社会的養護を必要とする子どもやひとり親世帯のための施策について理解する。	
12限 23時間 24時間	同上	障害のある子どもへの施策、母子保健施策、健全育成施策について理解する。	
13限 25時間 26時間	保育サービス	保育サービスの内容及び保育所入所の仕組み、認定子ども園について理解する。	
14限 27時間 28時間	同上	子ども・子育て支援制度による保育サービスや認可外保育サービス、保育に関する課題を理解し、実践に活かす。	
15限 29時間 30時間	少子化対策と子育て支援	少子化対策の流れや仕事と生活の調和 (ワーク・ライフ・バランス)、新たな少子化対策と子育てを応援する取組みについて理解する。	

授業計画表

こども未来 学科

MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 社会福祉	教員名 細 田 重 憲
科目時間数 : 30時間 15限	授業の種類 : ☒ 講義 ・ ☐ 演習 ・ ☐ 実習
必修・選択の別 : ☒ 必修 ・ ☐ 選択	配当学年 : 1年 開講時期 : 前期 ・ ☒ 後期 ・ 集中
<p>【授業の目的・ねらい】 社会福祉は、保育や子育て支援、介護、障害者支援、生活保護など広汎な分野で私たちの生活を支えている。社会福祉の歴史と理念、制度の概要、援助のための組織と技術などを理解することにより、保育士としての視点の形成や多職種他連携の必要性理解などの下地をつくりたい。</p> <p>【こども未来学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○)</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) ② 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) ③ 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力) <p>【授業全体の内容の概要】 社会福祉の総論（理念、歴史、実施体制、実施組織など）と各論（高齢者、障害者などの分野別、専門職、専門的技術）について大まかに学んでいく。</p> <p>【授業における達成課題】 社会福祉の総論（理念、歴史、実施体制、実施組織など）と各論（高齢者、障害者などの分野別、専門職、専門的技術）について大まかに学んでいく。</p>	
	使用教材
	出版社
	「comedicalのための社会福祉概論」第4版 講談社
<p>【使用教室】</p> <p>① HR ② 介護実習室 ③ 家政実習室 ④ 視聴覚室 ⑤ PC実習室 ⑥ 接遇実習室 ⑦ その他 ()</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>① 筆記試験 ② レポート ③ 出席 ④ 授業態度 ⑤ 実技試験 ⑥ その他 ()</p>	
<p>【備 考】</p> <p>評価について：レポートの点数、及び出席率を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。</p>	
<p>【担当教員の実務経験の有無】 有・無</p>	
<p>【内容】 福祉相談センター所長としての実務経験</p>	

科目名		科目時間総数	教員名
社会福祉		30時間 (15限)	細田重憲
限数(時間)	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1限	1時間 2時間 オリエンテーション 社会福祉とは ①	○ 学習目的、範囲、授業の進め方、参画の仕方を理解する ○ 社会福祉という言葉の意味、基本的理念について理解する	
2限	3時間 4時間 社会福祉のとらえ 方・歴史的変遷①	○ 社会福祉には広義と狭義などのとらえ方があることを理解する ○ 社会福祉の定義の変遷、社会保障との関係について理解する	
3限	5時間 6時間 社会福祉の歴史的変 遷②	○ 社会福祉の法制度、考え方の変遷、特に20世紀後半からの福祉制度改革の意味などについて理解する。	
4限	7時間 8時間 子ども家庭支援と社 会福祉	○ 子ども家庭支援策の必要性を理解し人口の推移等から説明できる ○ 子ども家庭支援における福祉と保健、教育等の連携を説明できる	
5限	9時間 10時間 社会保障と社会福祉	○ 我が国の社会保障制度の体系と方法を理解し、その中での社会福祉、社会手当、公的扶助の役割について説明できる。	
6限	11時間 12時間 社会福祉の制度と実 施体系	○ 社会福祉の制度体系を理解し、実施主体の種類、役割について説明できる。	
7限	13時間 14時間 障害児・者の福祉①	○ 障害の定義、我が国における数、福祉制度の仕組みについて理解し、それぞれの障害の暮らしにくさについて考えてみる。	
8限	15時間 16時間 障害児・者の福祉②	○ 障害児に対する施策の体系を理解する。 ○ 特別支援教育、母子保健、障害基礎年金等の関連施策を理解する	
9限	17時間 18時間 高齢者の福祉①	○ 高齢化率、後期高齢者の動向、今後の人口予測などを学び、説明できるようになる。	
10限	19時間 20時間 高齢者の福祉②	○ 介護保険制度、高齢者の住まいに係る施策等について理解し、課題はどこにあるか考えてみる。	
11限	21時間 22時間 低所得者の福祉	○ 生存権、生活保護制度の原理、被保護者の現状、生活困窮者自立支援法等の低所得者施策について理解する。	
12限	23時間 24時間 社会福祉における相 談援助	○ 相談援助の方法(個別援助、集団援助)、理論、専門職による援助過程について学び、保育者としてのかかわり方を考えてみる。	
13限	25時間 26時間 社会福祉における利 用者保護の仕組み	○ 「利用者」保護の意義、必要性、その仕組みと実際について理解する。	
14限	27時間 28時間 子ども子育て支援に おける課題	○ 社会的養護、ひとり親世帯、子どもの虐待とDVなど直面している問題について理解し、自分の考えをまとめる。	
15限	29時間 30時間 まとめ	○ これまでの学習のまとめ、期末試験のガイダンス等	

授業計画表

こども未来 学科

MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 こども家庭支援論	教員名 川崎 舞美		
科目時間数: 30 時間 (15限)	授業の種類: 講義 ☒ ・ 演習 ・ 実習		
必修・選択の別: ☒ 必修・選択	配当学年: 2年	開講時期: 前期 ☒ ・ 後期 ・ 集中	
<p>【授業の目的・ねらい】</p> <p>社会の変化によって家族の役割や機能がどのように変わり、どのような支援が求められているのか。様々な背景や課題を抱える家庭を知り、保育所が求められている機能と保育士として関わる支援の姿勢と視点を学ぶ。 地域に存在する子育て家庭への支援や地域全体に対する支援の視点を学ぶ。</p> <p>【こども未来学科ディプロマポリシーとの関連】(※当該科目が最も関連する項目に○)</p> <p>1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) 2. 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. ☒ 地域の文化を大切にできる力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力)</p> <p>【授業全体の内容の概要】</p> <p>地域や家庭環境の変化を捉え、子育て家庭の現状を理解し、社会的支援の必要性とその方法を理解する。 子どもや親、親を取り巻く様々な環境に働きかけるスキルと理論を習得する。 地域にある保育所、子育ての専門職としての支援の視点を学ぶ。</p> <p>【授業における達成課題】</p> <p>当該科目において、保育専門職として子育て家庭支援に必要な知識がわかり、幅広い視点で保育実践に活かすことができる。 地域の子育て家庭への支援の視点を持ち、社会資源開発と多機関連携の資源を持つことができる。</p>			
	使用教材	出版社	
	実践で役立つ子ども家庭支援論	ミネルヴァ書房	
<p>【使用教室】</p> <p>1. ☒ HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()</p>			
<p>【評価方法】</p> <p>1. ☒ 筆記試験 2. ☒ レポート 3. 出席 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他 ()</p>			
【備考】			
【担当教員の実務経験の有無】 ☒ 有 ・ 無			
【内容】 児童指導員、社会福祉士としての実務経験 (児童養護施設・県社会福祉協議会)			

科目名		科目時間総数	教員名
こども家庭支援論		30時間 (15限)	川崎 舞美
限数	時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容
1限	1時間 2時間	はじめましてとこれから	担当講師とクラスの仲間を知る・授業の全体像をとらえる
2限	3時間 4時間	こども家庭支援の意義と必要性	子育て家庭を取り巻く社会状況や家族構成の変化をとらえ、子育て家庭が持つニーズを考える
3限	5時間 6時間	こども家庭支援の目的と機能	こども家庭支援の目的や支援の技術を学び、保育士に求められる態度を考える
4限	7時間 8時間	保育の専門性を活かしたこども家庭支援	多職種の中での「保育」の専門性をとらえ、強みを活かした多職種連携の必要性を学ぶ
5限	9時間 10時間	こどもの育ちの喜びの共有	保護者と連携して子どもの育ちを支える重要性を学び、保護者の力を引き出す方法を考える
6限	11時間 12時間	子育てを自ら実践する力の向上	保護者の養育能力向上、地域の子育て支援力向上のための支援を考え、「つながる」ことの重要性を学ぶ
7限	13時間 14時間	保育士に求められる基本的態度	保育士が家庭支援を行う意義をとらえ、保護者とのかかわる際の基本的態度を学ぶ
8限	15時間 16時間	家庭の譲許に応じた支援	子育て家庭が抱える様々な課題と現実的問題をとらえ、各家庭へ求められる支援を考える
9限	17時間 18時間	地域資源の活用と関係機関との連携	連携支援の必要性を学び、関係機関の種類や特徴を活かした支援の実際をとらえる
10限	19時間 20時間	子育て家庭の福祉の向上	様々な社会資源を知り、多様化する家族関係に対応する相談体制を考える
11限	21時間 22時間	こども家庭支援に関する政策	子どもあそび支援に関して、施策の背景と制度を知る
12限	23時間 24時間	こども家庭支援の内容と対象	こども家庭支援について、子どもの事情と保護者の事情から課題と支援を考える
13限	25時間 26時間	保育所等を利用する子ども家庭への支援	保育所等を利用する家庭への支援について、求められる支援と支援のポイントを学ぶ
14限	27時間 28時間	地域の子育て家庭への支援	地域にいる子育て家庭への支援の必要性を学び、多様な家族支援を知る
15限	29時間 30時間	要保護児童等及びその家庭に対する支援	子ども虐待の現状とその対応を知り、要保護児童と保護者への支援について学ぶ

授業計画表

こども未来 学科

MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名	社会的養護 I	教員名	佐藤 雅子								
科目時間数 :	30 時間 (15限)	授業の種類 :	☒ 講義 ・ ☒ 演習 ・ 実習								
必修・選択の別 :	☒ 必修 ・ 選択	配当学年 :	1 年次								
		開講時期 :	前期 ・ ☒ 後期 ・ 集中								
<p>【授業の目的・ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 社会的養護の理念、制度、方法などの基本的な内容について理解する。 ・ 子どもの人権擁護と、社会的養護における被措置児童虐待等について理解する。 ・ 社会的養護を必要とする子どもの状況やその背景を知り、家庭養育優先原則の枠組みやその必要性を理解した上で、子どもとの関わり方を考えることができる。 											
<p>【ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) ☒ 2. 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力) 											
<p>【授業全体の内容の概要】</p> <p>朝日新聞編集委員のルポルタージュ等を使用して演習を行いながら、社会的養護を必要とする子どもたちの状況やその背景を具体的に理解できるようにする。その上で、社会的養護の理念、制度、方法や枠組みについて講義する。</p>											
<p>【授業における達成課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 社会的養護の理念、制度、方法などの基本的な内容について説明できる。 ・ 子どもの人権擁護と、社会的養護における被措置児童虐待等について説明できる。 ・ 社会的養護を必要とする子どもの状況や背景を知り、家庭養育優先原則の視点に立って子どもと 											
<p>【使用教材・テキスト等】</p> <p>新基本保育シリーズ6「社会的養護 I」公益財団法人 児童育成協会 「児童養護施設の子どもたち」朝日新聞編集委員 大久保真紀</p>											
<p>【使用教室】</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="border: none;">☒ 1. HR</td> <td style="border: none;">2. 介護実習室</td> <td style="border: none;">3. 家政実習室</td> <td style="border: none;">4. 視聴覚室</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">5. PC実習室</td> <td style="border: none;">6. 接遇実習室</td> <td colspan="2" style="border: none;">7. その他 ()</td> </tr> </table>				☒ 1. HR	2. 介護実習室	3. 家政実習室	4. 視聴覚室	5. PC実習室	6. 接遇実習室	7. その他 ()	
☒ 1. HR	2. 介護実習室	3. 家政実習室	4. 視聴覚室								
5. PC実習室	6. 接遇実習室	7. その他 ()									
<p>【評価方法】</p> <p>出席率10%、授業態度20%、期末試験70%</p>											
<p>【備考】</p>											
<p>【担当教員の実務経験の有無】 有 ☒ 無 ☐</p> <p>【内容】 社会福祉士としての実務経験</p>											

科目名		社会的養護 I		科目時間総数	30時間	(15限)	教員名	佐藤 雅子
限・時間数	教育に含むべき事項・テーマ			主な学習内容と到達目標				
1	限	1時間 2時間	社会的養護の理念と概念 ①	社会的養護とは何かを理解する 社会的養護の基本理念について学ぶ				
2	限	3時間 4時間	社会的養護の理念と概念 ②	社会的養護の原理を理解する (家庭的養護と個別化、発達の保障と自立支援、回復をめざした支援)				
3	限	5時間 6時間	社会的養護の理念と概念 ③	社会的養護の原理を理解する (家族との連携・協働、継続的支援とアプローチ、ライフサイクルを見通した支援)				
4	限	7時間 8時間	子どもの人権擁護と社会的養護①	子どもが家庭で育つ権利保障や子どもの権利の視点について学ぶ				
5	限	9時間 10時間	子どもの人権擁護と社会的養護②	体罰の禁止やトラウマインフォームドケア、子どものエンパワメントについて学ぶ				
6	限	11時間 12時間	子どもの人権擁護と社会的養護③	児童養護施設における養育について具体的な事例を通じて理解する				
7	限	13時間 14時間	社会的養護の基本原則	児童福祉法の2016年改正と2022年度改正、児童の代替的養護に関する指針、新しい社会的養育ビジョンの概要について学ぶ				
8	限	15時間 16時間	社会的養護における保育士の倫理と責務	対人関係における倫理、支援における倫理の必要性を理解する 専門職の倫理としての職業倫理（保育士、社会福祉士）を学ぶ				
9	限	17時間 18時間	社会的養護の制度と法体系①	児童福祉法の中で「措置制度」がどのように位置づけられているかを学ぶ				
10	限	19時間 20時間	社会的養護の制度と法体系①	「措置制度」の背景にあるパレンス・パトリエの考え方について、具体的な事例を通して理解する				
11	限	21時間 22時間	里親制度の実際	【DVD学習】里親世帯のインタビュー動画から支援の実際を学ぶ				
12	限	23時間 24時間	社会的養護の基本的なしくみ	社会的養護の基本的なしくみや実施体系、児童相談所の役割を理解する				
13	限	25時間 26時間	社会的養護とファミリーソーシャルワーク	子ども家庭支援をソーシャルワークの視点で捉え、アプローチを考えることができる				
14	限	27時間 28時間	社会的養護の対象と支援のあり方	措置（代替養育）に至る理由や予防的支援、代替養育の実際について学ぶ				
15	限	29時間 30時間	振り返り	1年間の授業のまとめ・振り返り				

授業計画表

こども未来 学科

MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 教職概論	教員名 佐々木 全
科目時間数 ： 30 時間 (15限)	授業の種類 ： 講義 ・ 演習 ・ 実習
必修・選択の別 ： 必修・選択	配当学年 ： 1年次
開講時期 ： 前期・後期・集中	
<p>【授業の目的・ねらい】 教育とは何か、教職とは何かを学び、今教育現場で何が求められているのかの理解を深め、教師・保育士の役割について考察し、自らが志向する教師・保育士像を明確にする。</p> <p>【こども未来学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○) 1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) ② 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力)</p> <p>【授業全体の内容の概要】 教師・保育士の役割と倫理及び専門職としての責務を理解し、社会の期待に応える保育を遂行するための基礎的知識を習得する。</p> <p>【授業における達成課題】 教師・保育士として必要な教育観、子ども観、職業観を自らが志向する教師・保育士像を交えて考察、説明できる。</p>	
使用教材	出版社
学生用・教員用 共通	<改訂>教職入門 未来の教師に向け 萌文書林
<p>【使用教室】 ①. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()</p>	
<p>【評価方法】 ①. 筆記試験 ②. レポート 3. 出席 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他 ()</p>	
<p>【備考】 ・適宜演習題を課す。 ・毎時終了前の5分間を、リアクションペーパーの記入時間とする。 ・ノートを使用する。各自準備すること。</p>	
<p>【担当教員の実務経験の有無】 (有)・無 【内容】 特別支援学校教員、高等学校教員 大学及び大学院教員</p>	

科目名		科目時間総数	教員名
教職概論		30時間 (15限)	佐々木 全
限・時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限 1時間 2時間	教育とは何か	教育の動機、目的の概説、教育観の概説 *教育の対象だった自分と教育を担う自分の立場を対比し説明できる。	
2 限 3時間 4時間	子どもと共に生きる教師の生	教師を目指す上で大事な意識の概説、指導力の概説 *教育の対象だった自分と教育を担う自分の立場を対比し、教師を目指す動機と目指したい教師像を説明できる。	
3 限 5時間 6時間	日本における教師の歴史	明治～大正、昭和～現在の概説 *教師を巡る史的経緯を説明し、教師の使命について自分の考えを説明できる。	
4 限 7時間 8時間	現代社会の子ども	社会的発達の概説、仲間と地域の概説 *現代の子どもを取り巻く状況を説明し、その教育的ニーズについて自分の考えを説明できる。	
5 限 9時間 10時間	幼稚園・保育所の生活と遊び	1日の生活の概説、遊びの概説 *幼稚園・保育所の生活について、自らの幼児期の体験を題材にして、その活動における教育的意図を分析し説明できる。	
6 限 11時間 12時間	小学校での学習と専科教員	小学校の概説、授業の概説 *小学校の生活について、自らの幼児期の体験を題材にして、その活動における教育的意図を分析し説明できる。	
7 限 13時間 14時間	学校を支える人々とその仕事	小学校の概説、授業の概説 *小学校の生活について、自らの学童期の体験を題材にして、その活動における教育的意図を分析し説明できる。	
8 限 15時間 16時間	これまでの総括と演習	これまでの学びをふりかえる。 *学習内容の要点を踏まえ、教師・保育士として必要な教育観、子ども観、職業観について、自らの考えを説明できる。	
9 限 17時間 18時間	カウンセリングマインド	カウンセリングマインドの概説、特別支援の概説 *子どもや保護者一人一人への対応について、その必要性とそれに応じた方法論について具体的な事例に即して考案し説明できる。	
10 限 19時間 20時間	教師をめぐる新しい動き	国際化の概説、情報化の概説 *国際化、情報化の状況において求められる教育のあり方について自分の考えを説明できる。	
11 限 21時間 22時間	教師をめぐる法律	教育法規の概説、教育の改革動向の概説 *コンプライアンス（法令遵守）の必要性について、日常生活における自分（現実我）と、目指す教師像（理想我）を対比させ自分の考えを説明できる。	
12 限 23時間 24時間	これまでの総括と演習	これまでの学びをふりかえる。 *学習内容の要点を踏まえ、教師・保育士として必要な教育観、子ども観、職業観について、自らの経験を交え具体的に考え説明できる。	
13 限 25時間 26時間	教育改革とこれからの教師	教育の改革動向の概説 *教育改革の経緯を説明し、これからの社会に求められる教師像と、それに比して現在の自分が習得すべき課題を説明できる。	
14 限 27時間 28時間	教師の専門性と研修	専門性の概説、研修についての概説 *教師の専門性向上をめざす意義とそのための研修のあり方について説明し、かつ、現在の自分が興味関心を有する専門分野について考え説明できる。	
15 限 29時間 30時間	総括	これまでの学びをふりかえる。 *教師の現状に関する具体的な逸話をもとに、教師・保育士として必要な教育観、子ども観、職業観について具体的に考え説明できる。	

授業計画表

こども未来 学科

MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 保育の心理学	教員名 青山 慶
科目時間数 ： 30 時間 (15限)	授業の種類 ： <u>講義</u> ・ 演習 ・ 実習
必修・選択の別 ： <u>必修</u> ・選択	配当学年 ：2学年 開講時期 ： <u>前期</u> ・後期・集中
<p>【授業の目的・ねらい】 エリクソンのライフサイクル理論をもとに、人間が生を授かってからその生涯を終えるまで、どのような発達課題が生じるのか、福祉専門職として必要な支援は何かを考察し、乳幼児期の在り方と発達の影響について理解を深める事を目的とする。</p> <p style="text-align: right;">(※当該科目が最も関連する項目に○)</p> <p>【こども未来学科ディプロマポリシーとの関連】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) 2. 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力) <p>【授業全体の内容の概要】 様々な心理学者の発達理論を学びつつ、各ライフステージごとの発達課題を明確にするとともに、福祉専門職として発達課題を乗り越えるための支援方法を考察していく。また、発達心理学は机上の学習だけではなく、自らのライフヒストリーと照合しながら学んでいく科目であるため、自己覚知の一環としても位置付けていく。</p> <p>【授業における達成課題】 エリクソンのライフサイクル理論の重要性を習得し、各ライフステージの発達課題がどのような影響を持つのか見通しを立てつつ、発達を促進するために必要な支援方法を習得・実践することができる。</p>	
	使用教材
	出版社
	保育の心理学 保育に生かす教育心理学 近畿大学九州短期大学 (株)みらい
【使用教室】	
①. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()	
【評価方法】	
①. 筆記試験 ②. レポート ③. 出席 ④. 授業態度 5. 実技試験 6. その他 ()	
【備考】	
評価について：試験・レポートの点数、及び授業態度を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。	
【担当教員の実務経験の有無】 <u>有</u> ・無	
【内容】 社会科学研究所職員としての実務経験	

科目名		科目時間総数	教員名
保育の心理学		30時間 (15限)	青山 慶
限・時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1限	1時間 第1章 発達心理学の課題	オリエンテーション	
	2時間	発達心理学とはなにか	
2限	3時間	発達研究のテーマ	
	4時間 第2章	発達理論についての視点	
3限	5時間	初期の発達理論	
	6時間	現代の発達理論	
4限	7時間 第3章 言語の発達	言語とは	
	8時間	言語獲得の仮説	
5限	9時間	言語発達の道筋	
	10時間 第4章 知的発達	感覚運動期から形式的操作期へ	
6限	11時間	発達の段階的構造化	
	12時間	記号と表象	
7限	13時間 第5章 環境と発達	スキールズとダイの研究	
	14時間	初期経験の影響	
8限	15時間	知能と環境	
	16時間 第6章 感情の発達	知・情・意の働き、内発的動機づけ	
9限	17時間	感情の種類	
	18時間	情動の発達、情動の種類	
10限	19時間 第7章 社会性の発達	社会化への道、社会的交流と遊び	
	20時間 第8章 道徳性の発達	道徳性についての3つの考え方	
11限	21時間	道徳性の発達	
	22時間 第9章 青年期の発達	青年期とは、身体の発達	
12限	23時間	青年期の心理的な特徴	
	24時間	青年の余暇活動	
13限	25時間 第10章 成人期の生活	就職、結婚	
	26時間	余暇	
14限	27時間	女性の時代、中高年層の悩み	
	28時間 第11章 老年期の生活	高齢者の生き方、就労意欲	
15限	29時間	生きがい、老人の病い	
	30時間 第12章	現代社会と能力、コンピテンスの発達と教育	

科目名 子ども家庭支援の心理学		科目時間総数 30時間 (15限)	教員名 佐藤 雅子
限・時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限 1時間 2時間	家族・家庭の意義と機能	家庭、親族、世帯の違い、家族の定義、機能の変化を理解する	
2 限 3時間 4時間	家族関係・親子関係の理解	家族のライフサイクル、システム理論について学び、ジェノグラム・エコマップが作成できる	
3 限 5時間 6時間	子育ての経験と親としての育ち	母親の妊娠出産～産後までの変化、周囲の人との関係と親としての育ちについて学ぶ	
4 限 7時間 8時間	子育てを取り巻く社会的状況	出産・子育てをめぐる社会的状況の変化を整理し、子ども・子育て支援制度の概要について学ぶ	
5 限 9時間 10時間	ライフコースと仕事・子育て	男女のライフコースの歴史的変化と特徴、性役割分業とライフコースについて整理し、ライフコースの視点を生かした子育て支援について考えることができる	
6 限 11時間 12時間	多様な家庭とその理解	多様な課題を抱える家庭を専門職として理解することができる	
7 限 13時間 14時間	特別な配慮を要する家庭 子どもの生活・成育環境 とその影響	具体的な事例のアセスメントが実施できる	
8 限 15時間 16時間	子どものこころの健康に かかわる問題	具体的な事例のアセスメントが実施できる	
9 限 17時間 18時間	乳児期の発達	乳児期の発達について学ぶ (言葉の発達、アタッチメントの視点からみた保育者との関係性等)	
10 限 19時間 20時間	幼児期の発達	幼児期の発達について学ぶ (認知・言語・社会性・自我の発達、初期経験の重要性、保育場面における遊びの発達等)	
11 限 21時間 22時間	学童期の発達	学童期の発達について学ぶ (認知・社会性の発達、学童期の発達をふまえた教育支援等)	
12 限 23時間 24時間	青年期の発達	青年期の発達について学ぶ (身体・認知・自己の発達、アイデンティティの確立等)	
13 限 25時間 26時間	成人期・中年期の発達	成人期・中年期の発達について学ぶ (成人期・中年期、職業・結婚と子育て等)	
14 限 27時間 28時間	高齢期の発達	高齢期における心と体の発達について学ぶ	
15 限 29時間 30時間	振り返り	1年間の授業のまとめ・振り返り	

授業計画表

こども未来 学科

MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 教育心理学	教員名 嶋野 重行
科目時間数 : 15時間	7.5限 授業の種類 : 講義 ・ 演習 ・ 実習
必修・選択の別 : 必修・選択	配当学年 : 1年次 開講時期 : 前期・後期・集中
<p>【授業の目的・ねらい】 子どもの学習行動を概念の獲得、筋道を立てて考える思考の形成、勉強の仕方、学習に対する意欲・自発性・態度・学習を肯定する価値観を軸にして教育心理学を考えることを目標にする。</p> <p>【こども未来学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○) ①. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) ②. 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) ③. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力)</p> <p>【授業全体の内容の概要】 子どもの学習行動を概念の獲得、筋道を立てて考える、思考の形成、勉強の仕方、学習に対する意欲・自発性、態度・学習を肯定する価値観を軸にして教育心理学を考える。</p> <p>【授業における達成課題】 当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識を習得する。</p>	
使用教材	出版社
学生用・教員用 共通	教育心理学 近畿大学九州短期大学通信教育部
<p>【使用教室】 ①. HR ②. 介護実習室 ③. 家政実習室 ④. 視聴覚室 ⑤. PC実習室 ⑥. 接遇実習室 ⑦. その他 ()</p>	
<p>【備考】 評価について：実技の点数、及び出席率を勘案しA(80点以上)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59点以下)の4段階で評価する。</p>	
<p>【担当教員の実務経験の有無】 有 ・ 無 【内容】 幼稚園園長としての実務経験</p>	

科目名		科目時間総数		教員名
教育心理学		15時間	7.5限	嶋野 重行
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容		
1 限	1時間	教育心理学の歴史と課題	教育心理学の歴史と影響を与えた主な理論について概観する	
	2時間	発達とは	遺伝と環境、発達のとらえ方と理論について理解する。	
2 限	3時間	行動とは	S-R連合説、行動理論について理解する。	
	4時間	発達課題	ライフステージにおける発達課題について理解する。	
3 限	5時間	愛着	幼児期の愛着について理解する。	
	6時間	コミュニケーション	コミュニケーションとは何かについて理解する。	
4 限	7時間	動機づけ	興味関心と動機づけについて理解する。	
	8時間	言語と数量	ピアジェの理論を手がかりに言語と数量の概念について理解する。	
5 限	9時間	社会性の発達	社会的参照、向社会的行動、道徳性の発達について理解する	
	10時間	絵・音楽・運動の発達	幼児期の絵、音楽、運動の発達について理解する。	
6 限	11時間	遊びの発達	幼児期・児童期の一人遊びから集団遊びについて理解する。	
	12時間	学級の人間関係	幼稚園・小学校での学級における人間関係について理解する	
7 限	13時間	発達とは	知的・身体・精神・病弱虚弱など障害全般について理解する	
	14時間	発達障害とは	LD・ADHD・ASDと気になる子どもについて理解する。	
7.5 限	15時間		まとめ	

授業計画表

こども未来 学科

MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 子どもの保健	教員名 中村 和歌子				
科目時間数: 30 時間 (15限)	授業の種類: 講義・演習・実習				
必修・選択の別: 必修・選択	配当学年: 2年次 開講時期: 前期・後期・集中				
【授業の目的・ねらい】 ①子どもの保健の意義を理解し、子どもを取り巻く問題点、今後の課題を知る。②子どもの心身の正常な発達及び、発達段階の特徴を理解する。③子どもの疾病や救急時の対応等の基礎知識を習得する。					
【こども未来学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○) ①. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) 2. 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力)					
【授業全体の内容の概要】 子どもの保健の意義を理解する。子どもの心身の正常な発育と各期の特徴を理解する。子どもの保健行政について理解する。子どもに起こりやすい疾病・事故について理解し、その予防対策及び方法を理解する。保育者としての役割がわかる。					
【授業における達成課題】 当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識を習得する。					
	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%; text-align: center;">使用教材</th> <th style="width: 50%; text-align: center;">出版社</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="padding: 5px;"> 学生用・教員用 共通 よくわかる子どもの保健 新版 子どもの保健テキスト 子どもの保健演習ノート </td> <td style="padding: 5px;"> ミネルヴァ書房 診断と治療社 診断と治療社 </td> </tr> </tbody> </table>	使用教材	出版社	学生用・教員用 共通 よくわかる子どもの保健 新版 子どもの保健テキスト 子どもの保健演習ノート	ミネルヴァ書房 診断と治療社 診断と治療社
使用教材	出版社				
学生用・教員用 共通 よくわかる子どもの保健 新版 子どもの保健テキスト 子どもの保健演習ノート	ミネルヴァ書房 診断と治療社 診断と治療社				
【使用教室】 ①. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 ④. 視聴覚室 ⑤. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()					
【評価方法】 ①. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他 ()					
【備考】 評価について：試験・レポートの点数、及び授業態度を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。					
【担当教員の実務経験の有無】 有・無					
【内容】 看護師としての実務経験					

科目名		科目時間総数	教員名
子どもの保健		30時間 (15限)	中村 和歌子
限・時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1限	1時間	子どもの心身の健康と保健の意義	健康の概念と健康指標、我が国の小児保健水準、育児環境と精神保健
	2時間	精神機能の発達と保健	子どもの心の育ち、言語・社会・情緒の発達、発達に影響する要因
2限	3時間	身体発育と保健	発育には原則が有る、乳幼児の計測の仕方
	4時間	同上	身体発育値を評価する、身長、体重のバランス・肥満とやせ
3限	5時間	運動機能の発達と保健	新生児の運動機能の発達・乳児の運動機能の発達
	6時間	同上	幼児の運動機能の発達・学童期以降の運動機能の発達
4限	7時間	生理機能の発達と保健	消化吸収・排泄
	8時間	同上	循環、呼吸、心拍、血圧
5限	9時間	同上	自律神経・体温・水分代謝と発熱
	10時間	同上	睡眠・感覚器官・免疫
6限	11時間	精神機能の発達と保健	子どもの心の育ち、言語・社会・情緒の発達
	12時間	同上	発達に影響する要因
7限	13時間	心身の健康状態とその把握	健康状態の観察のポイント、頭部・頸部・胸・腹部・四肢・皮膚
	14時間	同上	子どもの心身の健康、生活習慣や行動上の問題、乳幼児の健康診査
8限	15時間	子どもの疾病の予防及び適切な対応	子どもの疾病の特徴、重要な感染症
	16時間	同上	予防接種
9限	17時間	同上	消化器・呼吸器・循環器疾患
	18時間	同上	泌尿器・生殖器・中枢神経系・代謝内分泌疾患
10限	19時間	同上	血液、腫瘍性疾患・アレルギー疾患
	20時間	同上	整形外科疾患、その他の疾患
11限	21時間	同上	新生児マス・スクリーニング、疾病異常と支援体制
	22時間	同上	他職種間の連携・協働
12限	23時間	日常における養護の方法	子どもの抱き方、おんぶの仕方、食事の与え方、口腔内の衛生、沐浴・入浴の仕方
	24時間	同上	衣類の着せ方、排泄・寝かせ方、おもちゃの選び方、子どもへの声掛けの仕方
13限	25時間	よく起こる事故について	子どもの事故の特徴、怪我や事故の種類
	26時間	同上	事故防止、安全管理
14限	27時間	救急処置について	手足の腫れる、やけど、出血、けいれん、不随意運動
	28時間	同上	救急時対応・発熱&熱中症・咳&ゼーゼー・頭痛・嘔吐
15限	29時間	試験のpoint	まとめ
	30時間	同上	まとめ

授業計画表

こども未来 学科

MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 子どもの食と栄養	教員名 石川 美穂
科目時間数 ： 15時間 7.5限	授業の種類 ： ☒ 講義 ・ 演習 ・ 実習
必修・選択の別 ： ☒ 必修・選択	配当学年 ： 2年次 開講時期 ： 前期・ ☒ 後期・集中
<p>【授業の目的・ねらい】 小児の発育・発達特性、心身の発達段階に応じた栄養法、栄養に関する基本的な知識を踏まえ、保育・幼児教育の公共的使命を理解する。心身の発達段階に応じた栄養法、集団給食、食育の重要性を理解し、実践と理論を結びつけ保育者として適切な食事を提供することができるよう、各時期の栄養法を理解し、調理技能の習得を目指す。 (当該科目が最も関連するDPに○)</p>	
<p>【ディプロマポリシーとの関連】 1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人（自己研鑽、臨機応変な対応） ☒ 2. 幅広い視野で保育を実践できる人（保育理念、保育観、実践力、応用力） 3. 地域の文化を大切にする心を持ち、豊かな人間性を備えた人（創造性、表現力）</p>	
<p>【授業全体の内容の概要】 小児期における心身の発達段階に応じた栄養法、食生活、集団給食（保育所給食）、食育の重要性を理解する。</p>	
<p>【授業における達成課題】 保育者として栄養法を理解し、各時期の特性や、小児を取り巻く食の問題、集団給食について学び、食育の実践ができる。</p>	
<p>【使用教材・テキスト等】 新 保育ライブラリ 子どもの食と栄養 [新版] 北大路書房</p>	
<p>【使用教室】 ①. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他（ ）</p>	
<p>【評価方法】 出席率：20% 授業態度：20% 期末試験：60%</p>	
<p>【備考】 1、筆記試験は60点以上を合格とする。</p>	
<p>【担当教員の実務経験の有無】 ☒有 ・ 無</p>	
<p>【内容】 栄養士としての実務経験</p>	

科目名		科目時間総数	教員名
子どもの食と栄養		15時間（7.5限）	石川 美穂
限・時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と達成目標	
1限	1時間 子どもの心身の健康と食生活の関係	社会環境の変化に伴う食生活の変容を学ぶ。	
	2時間 子どもの食生活の現状と課題	現代社会における食生活の現状と課題を学ぶ。	
2限	3時間 栄養と栄養素	栄養素の種類と機能の基本的な知識を学ぶ	
	4時間 食事摂取基準	日本人の食事摂取基準の内容を学び、活用できる。	
3限	5時間 発育・発達と食生活	身体発育、精神運動機能・摂食機能の発達について学ぶ。	
	6時間 摂食機能の発達と食生活における事故	食生活における小児期の事故の特徴を理解する。	
4限	7時間 妊婦・授乳期の栄養・食生活	妊娠期・授乳期の食生活の重要性、望ましい栄養摂取について学ぶ	
	8時間 〃	妊娠期のトラブル、母乳分泌について学ぶ。	
5限	9時間 乳幼児期の栄養・食生活	乳児期栄養の特徴と食生活について学ぶ。	
	10時間 〃	幼児期栄養の特徴と食生活について学ぶ。	
6限	11時間 学齢期・思春期の栄養	学童期・思春期の特徴と望ましい栄養摂取について学ぶ。	
	12時間 学校給食と食育	学校給食の意義と食育の具体的内容を学ぶ。	
7限	13時間 子どもの疾病・障害のある子どもの食生活	特殊な状況の食生活について学ぶ。	
	14時間 児童福祉施設の食生活	保育所における集団生活と食事作りの考え方について学ぶ。	
7.5限	15時間 食育の基本と内容・方法	小児期の具体的な食育の方法を学び、実践する。	

授業計画表

こども未来 学科

MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 子どもの食と栄養		教員名 石川 美穂	
科目時間数 : 15時間 (7.5限)		授業の種類 : 講義 ・ 演習 ・ 実習	
必修・選択の別 : 必修・選択	担当学年 : 2年次	開講時期 : 前期・後期・集中	
【授業の目的・ねらい】 小児の発育・発達の特性、心身の発達段階に応じた栄養法、栄養に関する基本的な知識を踏まえ、保育・幼児教育の公共的使命を理解する。心身の発達段階に応じた栄養法、集団給食、食育の重要性を理解し、実践と理論を結びつけ保育者として適切な食事を提供することができるよう、各時期の栄養法を理解し、調理技能の習得を目指す。 (当該科目が最も関連するDPに○)			
【ディプロマポリシーとの関連】 1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人 (自己研鑽、臨機応変な対応) ② 幅広い視野で保育を実践できる人 (保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にする心を持ち、豊かな人間性を備えた人 (創造性、表現力)			
【授業全体の内容の概要】 小児期の特性や必要な栄養について学び、離乳食と幼児食の調理技能の習得を目指す。			
【授業における達成課題】 ・ 授乳栄養について学び、調乳ができるようになる。 ・ 離乳栄養について学び、離乳食の献立作成と調理ができるようになる。 ・ 幼児期の栄養について学び、幼児食の献立作成と調理ができるようになる。			
【使用教材・テキスト等】 新 保育ライブラリ 子どもの食と栄養 [新版] 北大路書房			
【使用教室】 1. HR 2. 介護実習室 ③ 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()			
【評価方法】 授業態度 : 40% レポート : 60%			
【備考】			
【担当教員の実務経験の有無】 有 ・ 無			
【内容】 栄養士としての実務経験			

科目名		科目時間総数	教員名
子どもの食と栄養		15時間（7.5限）	石川 美穂
限・時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と達成目標	
1限 1時間 2時間	オリエンテーション 乳幼児期の授乳栄養について	授業の位置づけについて理解する。 乳児の特性と授乳栄養について理解し、調乳ができる。	
2限 3時間 4時間		〃（調乳実習） 〃（調乳実習）	
3限 5時間 6時間	離乳栄養について	乳幼児の特性と離乳食について理解し、離乳食を作ることができる 〃	
4限 7時間 8時間		〃（調理実習） 〃（調理実習）	
5限 9時間 10時間	幼児期の栄養について	幼児期の特性と幼児食について理解し、アレルギー食も含めた幼児食の調理ができる。 〃	
6限 11時間 12時間		〃（調理実習） 〃（調理実習）	
7限 13時間 14時間	間食について	幼児期の間食の必要性を理解し、おやつ作りができる。 〃（調理実習）	
7.5限 15時間		献立作成の基礎を学び、幼児食の献立作成ができる。	

科目名		科目時間総数	教員名
教育課程総論		30時間 (15限)	阿部 温子
限・時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	1時間	幼児期の性質	乳幼児期の発達について理解する
	2時間	〃	幼児期の発達課題、生涯学習における幼児期の意義を知る
2 限	3時間	教育課程の意義と方向	教育課程の概念、教育観とカリキュラムの類型について理解する
	4時間	〃	幼児教育の教育課程について学ぶ
3 限	5時間	幼稚園教育と保育所保育	幼稚園の保育所の基本的な性格(制度、現状など)を知る
	6時間	〃	保育のあり方、幼児教育の先哲、環境を通して行う教育について学ぶ
4 限	7時間	教育課程編成の基準	教育課程に関する法制を理解する
	8時間	〃	幼稚園教育課程の基準の変遷について知る
5 限	9時間	幼児教育課程の基本	環境と保育、幼児期にふさわしい生活の展開について理解する
	10時間	〃	依存の生活から自立、幼児の主体的な生活について学ぶ
6 限	11時間	〃	遊びと仕事、遊びを通しての総合的な指導について学ぶ
	12時間	〃	自発的活動を促す働きかけ、一人一人の発達の特性に応じた指導について学ぶ
7 限	13時間	基礎となる幼児の姿	「遊び」の理論、「遊び」の教育的意義を理解する
	14時間	〃	「楽しさ」をどうとらえるかを考察する
8 限	15時間	目的・目標・ねらい・内容	幼稚園教育の目的と目標、園の教育目標の性格、設定、改善について理解する
	16時間	〃	「ねらい」「内容」とその領域、領域と教科の違いについて学ぶ
9 限	17時間	教育課程の編成と指導計画の作成	教育課程編成の手順を知る
	18時間	〃	指導の意義を理解する
10 限	19時間	〃	指導計画の意義を理解する
	20時間	〃	指導計画の作成について、内容と手順を知る
11 限	21時間	教育課程の評価	教育評価の意義、指導計画と指導の評価について学ぶ
	22時間	〃	教育課程の評価の内容と指導計画の評価との関連について理解する
12 限	23時間	教育課程の実例	具体例の比較・検証ができる
	24時間	指導計画の実例	〃
13 限	25時間	指導計画(長期)の作成	具体例を基に長期(I期)の指導計画を作成することができる
	26時間	〃	〃
14 限	27時間	〃	〃
	28時間	指導計画(短期)の作成	具体例を基に短期(1日)の指導計画を作成することができる
15 限	29時間	〃	〃
	30時間	まとめ	各章ごとに行った演習の振り返りをする

授業計画表

こども未来 学科

MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 保育内容総論	教員名 阿部 温子	
科目時間数 : 15 時間 (7.5限)	授業の種類 : ☐ 講義 ・ ☒ 演習 ・ 実習	
必修・選択の別 : ☒ 必修 ・ 選択	配当学年 : 1年次 開講時期 : 前期・後期・☒ 集中	
<p>【授業の目的・ねらい】 保育の内容とは何か、それを保育という営みの中で、どのように展開するのか、多面的に捉えながら理解する。</p> <p>【こども未来学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○)</p> <p>1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応)</p> <p>② 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力)</p> <p>3. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力)</p> <p>【授業全体の内容の概要】 幼稚園、保育所、認定こども園の違いと共通する点を踏まえた上で、保育内容・保育の全体的構造を理解する。また保育の多様な展開に対応できる知識や技術を身に付ける。</p> <p>【授業における達成課題】 当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識を習得できるようになる。</p>		
	使用教材	出版社
プリント資料適宜配布		
<p>【使用教室】</p> <p>①. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室</p> <p>5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()</p>		
<p>【評価方法】</p> <p style="text-align: center;">授業態度20% 出席率10% レポート70%</p>		
<p>【備考】</p> <p style="text-align: center;">レポートの内容、授業態度等で評価する</p>		
<p>【担当教員の実務経験の有無】 ☒ 有 ・ 無</p>		
<p>【内容】 幼稚園教諭としての実務経験</p>		

科目名		科目時間総数	教員名
保育内容総論		15時間 (7.5限)	阿部 温子
限・時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限 1時間	保育の特性	幼稚園と保育所の保育の特性について理解する	
2時間	保育の基本	基本を踏まえた保育について理解する	
2 限 3時間	〃	〃	
4時間	〃	〃	
3 限 5時間	養護と教育の一体	保育所保育指針に基づく保育内容を理解する	
6時間	〃	〃	
4 限 7時間	〃	"事例"を通しての一体的保育について理解する	
8時間	こども理解と発達の捉え	こどもを"みる"ことの意味について探る	
5 限 9時間	〃	こどもの"行為"に現れる意味について探る	
10時間	〃	発達を"過程"として捉えることによる「こども理解」を知	
6 限 11時間	〃	様々な事例から考察する	
12時間	あそびの総合性	自発的な遊びによる総合性に理解を深める	
7 限 13時間	〃	具体的事例から考察する	
14時間	保育の多様化とこれから	少子化時代の子育て支援と保育制度について知る	
7.5 限 15時間	〃	認定こども園について知る	

授業計画表

こども未来 学科

MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 健康(指導法)	教員名 松好 伸一
科目時間数: 15時間	7.5限 授業の種類: 講義 ・ ☒ 演習 ・ 実習
必修・選択の別: ☒ 必修 ・ 選択	配当学年: 1年次
開講時期: 前期・後期・ ☒ 集中	
<p>【授業の目的・ねらい】 幼稚園教育要領「健康」のねらい・目的を理解し、子どもの健康に必要な知識とその援助・技術を学ぶ。</p> <p>【こども未来学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○) 1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) ② 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力)</p> <p>【授業全体の内容の概要】 子どもの全面的な発達を促すために、人間の身体や健康、それにかかわる環境についての理解を深め、子どもの健康に必要な知識とその指導、援助の技術、技能を獲得する。</p> <p>【授業における達成課題】 当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識を習得する。</p>	
	使用教材
学生用・教員用 共通 "	健康 <理論編> 幼稚園教育要領解説
	出版社
	教育情報出版 フレーベル
<p>【使用教室】 1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 ☒ 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()</p>	
<p>【評価方法】 ☒ 1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他 ()</p>	
<p>【備考】</p>	
<p>【担当教員の実務経験の有無】 有 ☒ 無</p>	
<p>【内容】 保育士、幼稚園教諭としての実務経験</p>	

科目名		健康(指導法)		科目時間総数	7.5	限	教員名
時間数		教育に含むべき事項・テーマ		主な学習内容			
1 限	1時間	幼稚園教育要領の解説		幼稚園教育要領の領域「健康」について			
	2時間	幼児期の特性について		幼児期の生活や発育・発達の仕方を理解			
2 限	3時間	〃					
	4時間	幼稚園教育の基本		環境を通して行う教育について			
3 限	5時間	〃					
	6時間	領域「健康」・ねらいの解説		領域「健康」・ねらいの解説			
4 限	7時間	領域「健康」・内容の解説		領域「健康」・内容・内容の取扱いの解			
	8時間	〃					
5 限	9時間	〃					
	10時間	〃					
6 限	11時間	〃					
	12時間	〃					
7 限	13時間	試験対策					
	14時間						
7.5 限	15時間	試験					

松好 伸一

理解する

解する

説

授業計画表

こども未来 学科

MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 人間関係(指導法)	教員名 松好 伸一	
科目時間数: 15時間 <small>7.5限</small>	授業の種類: 講義・演習・実習	
必修・選択の別: 必修	配当学年: 2年次	
開講時期: 前期・後期・ <u>集中</u>		
<p>【授業の目的・ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・領域「人間関係」に関する教育・保育内容及び指導に関する知識・技術を習得する。 ・子どもの発達を領域「人間関係」の観点で捉え、子どもの理解を深める。 		
<p>【こども未来学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○)</p> <p>1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応)</p> <p>② 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力)</p> <p>3. 地域の文化を大切にできる力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力)</p>		
<p>【授業全体の内容の概要】</p> <p>子どもの人間関係をめぐる諸課題について理解を深め、領域「人間関係」の内容及び意義について学習する。また、子どもが単に集団にうまく適応することのみを問題にするのではなく、「他者理解」を通して人の豊かなかかわり経験することの意義を学ぶ。人との豊かなかかわりを育てる保育者としての役割について学習する。</p>		
<p>【授業における達成課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園教育要領および保育所保育指針の領域「人間関係」を熟読すること。 ・授業中、指示された課題をまとめて提出すること。 		
	使用教材	出版社
	資料配布	
<p>【使用教室】</p> <p>1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 <u>4. 視聴覚室</u></p> <p>5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()</p>		
<p>【評価方法】</p> <p><u>1. 筆記試験</u> 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度</p> <p>5. 実技試験 6. その他 ()</p>		
<p>【備考】</p> <p>評価について：授業への積極的参加（発表等）30% 試験70%</p>		
<p>【担当教員の実務経験の有無】<u>有</u> 無</p> <p>【内容】 保育士としての実務経験</p>		

科目名		人間関係(指導法)		科目時間総数	7.5	限	教員名
時間数		教育に含むべき事項・テーマ		主な学習内容			
1 限	1時間	領域について		領域「人間関係」の観点			
	2時間			領域「人間関係」のねらいと内容とはな			
2 限	3時間	安心感と信頼感		自己の形成と他者理解			
	4時間			〃			
3 限	5時間	自己表出		集団における自己の発達			
	6時間			〃			
4 限	7時間	自己発揮と自己抑制		社会性の発達と遊び			
	8時間			協力・競争・排除			
5 限	9時間			〃			
	10時間	道徳性・規範意識の芽生え		思いやりと道徳性の芽生えと集団生活に			
6 限	11時間	友達との関わり		こどものコミュニケーション			
	12時間			〃			
7 限	13時間	内面理解		保育者の役割と指導について			
	14時間			〃			
7.5 限	15時間	まとめ		まとめ			

松好 伸一

にか

必要な規範

授業計画表

こども未来 学科

MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 環境（指導法）	教員名 橋場 早苗
科目時間数 ： 15時間	7.5限 授業の種類 ： ☐ 講義 ・ ☒ 演習 ・ 実習
必修・選択の別 ： ☒ 必修 ・ ☐ 選択	配当学年 ：1年次 開講時期 ： 前期・後期・ ☒ 集中
<p>【授業の目的・ねらい】 1. 幼稚園や施設などで、遠足や自然探索の目的で利用される動物公園が、どのような施設であるのかを知り、その役割を推察する。2. 幼児や老人、障害者と動物を触れ合わせるために、保育者や援助者はどんなことに留意し、援助していかなければならないかを学ぶ。3. 自然の中で、学生自身が観察・発見をすることによって、自然と人間との共存や環境を守る大切さを実感する。</p> <p>【こども未来学科ディプロマポリシーとの関連】 （※当該科目が最も関連する項目に○） 1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人（自己研鑽、臨機応変な対応） 2. 幅広い視野で保育を実践できる人（保育理念、保育観、実践力、応用力） ③ 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人（創造性、表現力）</p> <p>【授業全体の内容の概要】 子どもを取り巻く環境の変化を把握し、子どもたちの生きる力を培うための保育の工夫、自然体験、社会体験などの具体的生活体験を重視した保育、特に子どもと自然とのかかわりを深める保育の実践的指導能力の育成を目指す。</p> <p>【授業における達成課題】 当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識を習得する。</p>	
	使用教材
学生用・教員用 共通	事例で学ぶ保育内容「環境」
	出版社
	萌文書林
<p>【使用教室】 ①. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他（盛岡市動物公園）</p>	
<p>【評価方法】 ①. 筆記試験 ②. レポート 3. 出席 ④. 授業態度 5. 実技試験 6. その他（ ）</p>	
<p>【備考】 出席、態度、意欲、レポート、実践発表の総合点、60点以上を合格、単位認定。</p>	
<p>【担当教員の実務経験の有無】 ☒有 ・ ☐無 【内容】 幼稚園教諭としての実務経験</p>	

科目名		科目時間総数	教員名
環境(指導法)		15時間 7.5限	橋場
時間数		教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容
1 限	1時間	動物公園の動物、自然環境、役割等の実地調査と観察	盛岡市動物公園体験学習
			公園内の動物の生態観察と公園散策・調査
2 限			自然観察・調査、昆虫採集
			動物公園の職員によるレクチャー
3 限			・小動物の飼育について(パワーポイント)
			・動物園の役割や仕事内容について学ぶ
4 限			うさぎ等に実際に触れる直接体験
5 限		実地調査、観察についてレポート作成	「動物公園見学の感想と考察」
			・子どもと環境について考察する。
			・動物公園の役割について考察する。
6 限			「動物の生態のまとめ」
7 限		グループワーク「ネイチャーゲーム」の考案	ネイチャーゲームを考える(グループワーク)
			ネイチャーゲームの提案と実践
			自分に似た葉の発表会
7.5 限		まとめ	子どもと自然とのかかわりについて検証する。

授業計画表

こども未来 学科

MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 言葉（指導法）	教員名 阿部 温子
科目時間数： 15時間 (7.5限)	授業の種類： ☒ 講義 ・ ☒ 演習 ・ 実習
必修・選択の別： ☒ 必修 ・ 選択	配当学年： 1年次
開講時期： 前期・後期・ ☒ 集中	
<p>【授業の目的・ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育内容「言葉」を理解し、言語環境の構成・言葉の力を育む指導を実践できるようになる。 ・いろいろな児童文化財を学び実践する中で、言語表現の技法を高めていく。 <p>【こども未来学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) ☒ 2. 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にできる力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力) <p>【授業全体の内容の概要】</p> <p>保育内容「言葉」の目標・ねらい・内容を理解し、保育者としての子どもとの関わり方について技法を学び、実践できる力を身に付ける。(講義・実技講演・創作絵本の実施)</p> <p>【授業における達成課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識と技法等について学び、その技法を実践できるようになる。 ・児童文化財の活用を通して保育を構想することが出来る。 	
	使用教材
学生用・教員用 共通	[新訂]子どもと言葉
	出版社
	萌文書林
<p>【使用教室】</p> <p>1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 ☒ 4. 視聴覚室</p> <p>5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()</p>	
<p>【評価方法】</p> <p style="text-align: center;">授業態度20% 出席率10% 実技70%</p>	
<p>【備考】</p> <p style="text-align: center;">授業態度20% 出席率10% 実技70%</p>	
<p>【担当教員の実務経験の有無】 ☒ 有 ・ ☐ 無</p> <p>【内容】 幼稚園教諭としての実務経験</p>	

科目名		言葉（指導法）		科目時間総数	教員名
				15時間（7.5限）	阿部 温子
限・時間数		教育に含むべき事項・テーマ		主な学習内容と到達目標	
1	限	1時間 2時間	言葉の発達の重要性について知る	子どもの発達における絵本の役割について知る	
2	限	3時間 4時間		言葉遊びを通して、言葉の面白さ等に気づく	
3	限	5時間 6時間	絵本の製作	自分なりに絵本の構成、アイデアなどを考えて絵本を製作する	
4	限	7時間 8時間	〃	〃	
5	限	9時間 10時間	〃	〃	
6	限	11時間 12時間	〃	〃	
7	限	13時間 14時間	〃	〃	
7.5	限	15時間	絵本の完成・発表	各自創作した絵本を見合いながら、絵本の面白さ、大切さ等を知る	

授業計画表

こども未来福祉 **学科**

MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 造形表現（指導法）	教員名 青木久美
科目時間数 ： 30時間 (15限)	授業の種類 ： ☒ 講義 ・ ☒ 演習 ・ 実習
必修・選択の別 ： ☒ 必修・選択	配当学年 ： 1年次 開講時期 ： 前期・ ☒ 後期・集中
<p>【授業の目的・ねらい】 幼児の造形の発達に関する表現活動のねらいについて、造形活動の体験により理解し、造形基礎技術と教養を身に付けるための学習とする。</p>	
<p style="text-align: right;">(当該科目が最も関連するDPに○)</p> <p>【ディプロマポリシーとの関連】 1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) ☒2. 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にできる力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力)</p>	
<p>【授業全体の内容の概要】 幼児の造形の発達に関する内容や実践的な表現活動内容の研究を行い、幼児の造形活動に対して適切な援助と教育を行える能力を養成する。</p>	
<p>【授業における達成課題】 ・造形教育と指導法についての知識と教養を身に付け、指導に生かす意欲をもつことができる ・幼児の発達に応じた造形指導について理解し、その技術を実践的に作品に表すことができる</p>	
<p>【使用教材・テキスト等】 造形表現指導法（近畿大学九州短期大学通信教育部） 絵の具 のり はさみ 演習に必要な材料・用具</p>	
<p>【使用教室】 ☒1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他（ ）</p>	
<p>【評価方法】 出席率10% 提出物90%（作品、振り返りレポート）</p>	
<p>【備考】 講義内容の理解に基づく表現意図と創意工夫で評価する。</p>	
<p>【担当教員の実務経験の有無】 ☒有 ・ 無</p>	
<p>【内容】 小学校及び中学校（美術）教師</p>	

科目名		科目時間総数	教員名
造形表現（指導法）		15時間（7.5限）	青木 久美
限・時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と達成目標	
1限	1時間	幼児の造形教育史	幼児の造形教育史の流れを知り、造形表現に関する教育要領や保育指針への
	2時間	〃	理解を深めることができる
2限	3時間	〃	〃
	4時間	幼児造形の原理	子供の発達と表現形式の特色を理解する
3限	5時間	〃	〃
	6時間	〃	〃
4限	7時間	表現（造形）活動の指導	発達の主な特徴と保育士の姿勢と関わりについて理解することができる
	8時間	（六か月から一歳三か月未満児）	発達段階に沿った造形活動を研究し作品に表すことができる
5限	9時間	〃	〃
	10時間	（一歳三か月から二歳未満児）	〃
6限	11時間	〃	〃
	12時間	（二歳児の保育）	〃
7限	13時間	〃	発達の主な特徴と保育士の姿勢と関わりについて理解することができる
	14時間	（三歳児の保育）	造形指導のねらいに沿った教材を研究し作品に表すことができる
8限	15時間	〃	〃
	16時間	（四歳児の保育）	〃
9限	17時間	〃	〃
	18時間	〃	〃
10限	19時間	〃	〃
	20時間	（五歳児～六歳児の保育）	〃
11限	21時間	〃	〃
	22時間	〃	〃
12限	23時間	〃	〃
	24時間	〃	〃
13限	25時間	造形活動の指導計画	指導計画や指導形態、評価のしかたを理解することができる
	26時間	〃	1つのテーマのもとで、共同制作に取り組むことができる
14限	27時間	〃	〃
	28時間	〃	〃
15限	29時間	〃	〃
	30時間	まとめと振り返り	造形表現（指導法）について大事なことを考えまとめることができる

授業計画表

こども未来福祉 学科

MC L盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 造形表現（指導法）SC		教員名 青木久美	
科目時間数： 15時間 (7.5限)		授業の種類： 講義 ・ 演習 ・ 実習	
必修・選択 の別： 必修・選択	配当学年： 1年次	開講時期： 前期・後期・集中	
【授業の目的・ねらい】 幼児の造形の発達に関する表現活動のねらいについて、材料体験と製作を通して学び、造形基礎技術と教養を身に付けるための学習とする。			
(当該科目が最も関連するDPに○)			
【ディプロマポリシーとの関連】 1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) ②. 幅広い視野で保育を实践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力)			
【授業全体の内容の概要】 幼児の造形の発達に関する内容や実践的な表現活動内容の研究を行い、幼児の造形活動に対して適切な援助と教育を行える能力を養成する。			
【授業における達成課題】 ・ 幼児期における造形活動のねらいを理解することができる。 ・ 絵画、立体造形、色彩と構成に関する基礎的な知識をもとに、表現意図を明確にして作品製作をすることができる。			
【使用教材・テキスト等】 造形表現（指導法）＜近畿大学九州短期大学通信教育部＞ 鉛筆 色鉛筆 絵の具 のり はさみ 等			
【使用教室】 ① HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()			
【評価方法】 出席率10% 提出物90% (作品、振り返りレポート)			
【備考】 講義内容の理解に基づく創意工夫 (色彩、構図等) で評価する。			
【担当教員の実務経験の有無】 有 ・ 無			
【内 容】 小学校及び中学校 (美術) 教師			

科目名		科目時間総数	教員名
造形表現 (指導法) SC		15時間 (7.5限)	青木 久美
限・時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と達成目標	
1限	1時間	オリエンテーション	造形表現に関する教育要領や保育指針を理解することができる
	2時間	造形教育の基礎技術	指導者には造形基礎技術と教養が必要であることを理解することができる
2限	3時間	デカルコマニーの材料体験	偶然にできた形から、よりよい表現に向けて工夫することができる
	4時間	〃	〃
3限	5時間	牛乳パックを使った冠づく	牛乳パックを利用した工作の基本的な作り方を理解することができる
	6時間	り	模様の色や形の特徴を生かしてコラージュをすることができる
4限	7時間	〃	〃
	8時間	スタンプングの材料体験	版に表す表現方法を造形活動に生かすことについて関心を持つ
5限	9時間	〃	スタンプングにより、色や模様の重なりを工夫することができる
	10時間	〃	〃
6限	11時間	スタンプングからのコラー	スタンプングをした紙を生かし、コラージュをしながら、物語の主人公にな
	12時間	ジュ (物語の主人公)	そんな動物 (生き物) をデザインすることができる
7限	13時間	〃	〃
	14時間	〃	〃
7.5限	15時間	課題のまとめと評価	幼児の造形表現のための教材開発について自分の考えを持つことができる

授業計画表

こども未来 学科

MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 幼児と音楽表現	教員名 大縄 方子
科目時間数 : 15時間	7.5限 授業の種類 : 講義 ・ 演習(○) ・ 実習
必修・選択の別 : (○)必修・選択	配当学年 : 1年次 開講時期 : 前期・後期・(○)集中
<p>【授業の目的・ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「声」についてのイメージを深め、発声法、表現法を習得する。 ・ 器楽(ピアノ伴奏)の基礎的な演奏法を理解し、演奏技術の向上を目指す。 ・ 基礎的な楽典を理解し、読譜ができる。 ・ 教育現場に必要な声楽曲や弾き歌いのレパートリーを増やし、歌い示すことができる。 <p>【こども未来学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) ② 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にできる力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力) <p>【授業全体の内容の概要】</p> <p>こどもの歌やコールユーブンゲンを歌うことでレパートリーを増やし音程の感覚を養う。楽典を解説し読譜練習や作品解釈を行う。ピアノは記録表に従いバイエル、マーチ等を学生の力量に合わせた個人レッスンの形態で行い、音楽表現の向上と表現方法についても検討する。</p> <p>【授業における達成課題】</p> <p>歌唱、ピアノともに練習あるのみです。特にピアノで初見状態でのレッスンは成立しないので、課題への取り組み、授業後の復習は最低でも60分は楽譜を見て練習を毎日続けていくことが望ましい。焦ることなく、丁寧に取り組むこと。 *受講条件として、記録表：ピアノの部分はすべて個人レッスンを受け指導者の押印があることとする。個人レッスンについては、専門家または保育者の指導を必ず受けること。</p>	
	使用教材
	出版社
プリント資料適宜配布	
<p>【使用教室】</p> <p>①. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室</p> <p>5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>1. 筆記試験 2. レポート ③. 出席 ④. 授業態度</p> <p>⑤. 実技試験 6. その他 ()</p>	
<p>【備考】</p> <p>評価について：実技試験及び出席、授業態度を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。</p>	
<p>【担当教員の実務経験の有無】 (○)有・無</p> <p>【内容】 ピアノ講師としてのとしての実務経験有り</p>	

科目名		科目時間総数		教員名	
幼児と音楽表現		15時間		7.5限 大縄 方子	
時間数	教育に含むべき事項・テーマ		主な学習内容		
1限	1時間	作ろう・オペレッタ (I)	(1日目) 全員集合で台本を読み合わせ、歌唱部分を全員で練習 グループに分かれて配役を決め、役ごとに読み合わせ→歌ってみる 舞台の背景(美術)・衣装・小物等をアイデアを出しながら作成する		約10日前に資料を配布しておく(グループを決める) 配役は事前に決めておいてもよい※伴奏者・リーダーは決めておく あらかじめ、実際に本を読んで内容をよく理解した上で服装や背景を工夫するとよい。
	2時間	タイトル			
2限	3時間	「長靴をはいた猫」	※美術等を作成しながら歌の練習		
	4時間	(ペローの童話より)			
3限	5時間		※伴奏者は練習しながらも、作成する人の為に、BGMとして流す。		
	6時間		伴奏のない時は、制作をする。		
4限	7時間		全員集合して、歌唱練習(再)		※ここまでの伴奏は講師 台本を暗記・暗譜してくる
	8時間	作ろう・オペレッタ (II)	全員集合して、歌唱練習		※伴奏者全員で弾く
5限	9時間		グループに分かれて、美術の仕上げ作業→振付確認作業		
	10時間		振付の仕上げに向けて、まとめる(決定)		
6限	11時間		〃		
	12時間		最終リハーサル		講師より助言あり
7限	13時間		(1グループ30分)		
	14時間	いよいよ本番!	全員集合して発表する		講師・講評
7.5限	15時間		(グループ毎に感想・反省点を出させる)		
			後片付け・清掃→解散(最後までしっかりやる)		

授業計画表

こども未来福祉 学科

MC L盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 幼児と造形表現		教員名 青木久美	
科目時間数 : 15時間 (7.5限)		授業の種類 : 講義 ・ 演習 ・ 実習	
必修・選択の別 : 必修・選択	配当学年 : 2年次	開講時期 : 前期・後期・集中	
【授業の目的・ねらい】 幼児・児童における表現や美術活動への理解を深め、充実した指導力向上を目指す。			
(当該科目が最も関連するDPに○)			
【ディプロマポリシーとの関連】 1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) ②. 幅広い視野で保育を实践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にできる力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力)			
【授業全体の内容の概要】 造形教育の基礎技術と幼児の発達段階をもとに絵の主題(テーマ性)を考え、制作過程において、適切に相互評価と助言を行える能力を養う。			
【授業における達成課題】 ・ 幼児の発達に応じた造形指導の理解をもとに、保育専門職として保育実践に必要な技術を実践的に作品に表すことができる。 ・ 制作や鑑賞の活動を通して、グループ内の活動に協力することができる。			
【使用教材・テキスト等】 造形表現(指導法) <近畿大学九州短期大学通信教育部> 鉛筆、絵の具 他 演習に必要な材料・用具			
【使用教室】 ①. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他()			
【評価方法】 授業態度20% 提出物80%(作品、振り返りレポート)			
【備考】 授業態度は、グループ活動への貢献度(積極性、協力性)で評価する。 提出物は、講義内容の理解に基づく表現意図と創意工夫で評価する。			
【担当教員の実務経験の有無】 有 ・ 無			
【内容】 小学校及び中学校(美術)教師			

科目名		科目時間総数	教員名
幼児と造形表現SC		15時間 (7.5限)	青木 久美
限・時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と達成目標	
1限	1時間	幼児絵本の教育的価値	絵本の教育的な価値を理解する
	2時間	〃	幼児に向けた絵本の造形的なあり方を考えることができる
2限	3時間	幼児に伝えたいメッセージ	発達段階を考慮しながら、幼児に絵本で伝えたいメッセージをグループ内で
	4時間	〃	話し合い、考えを深めることができる
3限	5時間	絵本（紙芝居）製作	登場人物設定、場面分けをし、表現方法を考えることができる
	6時間	〃	〃
4限	7時間	〃	自分の計画に沿って、アドバイスをし合いながら制作を進めることができる
	8時間	〃	〃
5限	9時間	〃	〃
	10時間	〃	
6限	11時間	〃	〃
	12時間	〃	
7限	13時間	〃	〃
	14時間	〃	
7.5限	15時間	発表	演劇的要素を入れて読み聞かせをし、適切に自己評価ができる

授業計画表

こども未来 学科

MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 幼児と健康	教員名 高橋 裕貴子	
科目時間数 : 15 時間 (7.5限)	授業の種類 : 講義 ・ 演習 ・ 実習	
必修・選択の別 : 必修・選択	配当学年 : 2年次 開講時期 : 前期・後期・集中	
<p>【授業の目的・ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今の時代を生きる子どもたちに対する運動遊びの持つ教育的意義について説明のできる ・各種の運動遊びを素材とした指導計画を作ることができる ・運動遊びの「ねらい」お実現するために必要な効果的な指導技術を習得する <p>【こども未来学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) ② 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力) <p>【授業全体の内容の概要】</p> <p>幼児期の運動遊びを体験することを通して、保育者として必要な運動遊びのレパートリーを増やす事と、バリエーションの広げ方を理解すると共に、運動遊びの指導に必要な保育技術についても検討し、実践的指導力の向上を目指す。</p> <p>【授業における達成課題】</p> <p>乳幼児期のそれぞれの段階の発達の特徴について理解を深める。 運動あそびのバリエーションを増やし安全に指導が出来る。 運動遊びを素材とした指導計画を作ることが出来る。</p>		
	使用教材	出版社
	からだの土台を作る運動遊び100	中央法規
<p>【使用教室】</p> <p>1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 ⑦. その他(協力幼稚園)</p>		
<p>【備考】</p> <p>評価について：実技の点数、及び出席率を勘案しA(80点以上)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59点以下)の4段階で評価する。</p>		
<p>【担当教員の実務経験の有無】 有・無</p>		
<p>【内容】</p>		

科目名		科目時間総数	教員名
幼児と健康		15時間 (7.5限)	高橋 裕貴子
限・時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限1時間 2時間	乳幼児期の運動発達と健康について	それぞれの年齢に応じた発達度合を理解し、適した運動遊びを学ぶ	
2 限3時間 4時間	様々な運動遊びの実践①	実際に運動遊びを体験する	
3 限5時間 6時間	様々な運動遊びの実践②	グループワークを取り入れ、グループごとに運動遊びの発表をする	
4 限7時間 8時間	様々な運動遊びの実践③	〃	
5 限9時間 10時間	様々な運動遊びの実践④	〃	
6 限11時間 12時間	様々な運動遊びの実践⑤	〃	
7 限13時間 14時間	様々な運動遊びの実践⑥	〃	
8 限15時間	まとめ	学んだことの振り返りをする。	

授業計画表

こども未来 学科

MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 幼児と言葉	教員名 阿部 温子		
科目時間数 : 15 時間 (7.5限)	授業の種類 : 講義 ☒ ・ 演習 ☒ ・ 実習		
必修・選択の別 : ☒ 必修 ・ ☐ 選択	配当学年 : 1年次	開講時期 : 前期 ・ ☒ 後期 ・ 集中	
<p>【授業の目的・ねらい】 この科目は、5領域を理解し、保育を総合的に計画・実践するための専門科目であり、他の領域と関連付けながら、領域「言葉」のねらい及び内容の理解を深め、幼児の興味関心や発達を踏まえた上で、言葉の力を伸ばす保育を構想する力の修得を目指す。</p> <p>【こども未来学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○) 1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) ② 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力)</p> <p>【授業全体の内容の概要】 ・ 幼児教育の基本と領域「言葉」のねらい及び内容を理解した上で、「言葉」の持つ機能・役割を学び、各年齢ごとの言葉の獲得・発達過程・指導援助のあり方を具体的に考察する。また、園生活での遊び、子どもの様子などの写真や動画を取り入れ、それぞれの場面における子どもの表情や言葉を通して、幼児理解を深める。 ・ 言葉を通して心を育む児童文化の種類・役割・技法等を学ぶ。</p> <p>【授業における達成課題】 当該科目において、保育専門職として必要な知識と技法等について学び、その技法を実践することができるようになる。</p>			
	使用教材	出版社	
学生用・教員用 共通	新保育内容シリーズ [新訂]子どもと言	萌文書林	
<p>【使用教室】 ☒ 1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()</p>			
<p>【評価方法】 授業態度10% 出席率10% レポート20% 試験60%</p>			
<p>【備考】 筆記試験は60点以上を合格とする</p>			
<p>【担当教員の実務経験の有無】 ☒ 有 ・ 無</p> <p>【内容】 幼稚園教諭としての実務経験</p>			

科目名			科目時間総数		教員名	
幼児と言葉			15時間		(7.5限) 阿部 温子	
限・時間数		教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標			
1	限	1時間 2時間	人間と言葉	言葉とは？日本語の成り立ちや基本的な事項を理解する		
2	限	3時間 4時間	言葉を育む	言葉の役割と言葉を育むための保育者の役割について学ぶ		
3	限	5時間 6時間	言葉の発達	乳幼児期の言葉の発達について学ぶ		
4	限	7時間 8時間	領域「言葉」	領域「言葉」のねらいと内容について学ぶ		
5	限	9時間 10時間	〃	〃		
6	限	11時間 12時間	言葉を育てる遊び	言葉や文字を使った遊びの具体例を知る		
7	限	13時間 14時間	絵本や紙芝居	児童文化財について知り、実践の具体的な援助等について学ぶ		
7.5	限	15時間	まとめ・試験	試験を通して学びの再確認をする		

授業計画表

こども未来 学科

MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 乳児保育 I	教員名 岩城 安生
科目時間数 : 30 時間 (15限)	授業の種類 : 講義・演習・実習
必修・選択の別 : 必修・選択	配当学年 : 2年次
開講時期 : 前期・後期・集中	
<p>【授業の目的・ねらい】 乳児の発達の意味を知り、毎日の活動の一つ一つがより良いものとなるよう環境を整え、必要な援助について学び、保育者の役割を理解する</p> <p>【こども未来学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○) 1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) ② 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力)</p> <p>【授業全体の内容の概要】 3歳未満児の発育発達と発達課題、保育の内容、保育の実践の方法を学習し、知識と技能の基礎を身につけ、子どものあるがままの姿を捉え、保育することができる力を養う。子育てを担う保護者を支援する者としての保育者の役割を考え、保護者の良き理解者としての知識や技能を習得する。</p> <p>【授業における達成課題】 当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識を習得する。</p>	
	使用教材
出版社	
学生用・教員用 共通	はじめて学ぶ『乳児保育』
	同文書院
<p>【使用教室】 1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 ④ 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()</p>	
<p>【評価方法】 ① 筆記試験 2. レポート ③ 出席 4. 授業態度 5. 実技試験 ⑥ その他 (学習状況含む</p>	
【備考】	
【担当教員の実務経験の有無】 ⑦ 有・無	
【内容】 保育士としての実務経験	

科目名		科目時間総数	教員名
乳児保育 I		30時間 (15限)	岩城 安生
限・時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1	限 1時間	オリエンテーション	講義内容と乳児保育の重要性について理解する
	2時間	保育理論	乳児保育とは
2	限 3時間		社会の変化と乳児保育の変遷
	4時間		社会の変化と乳児保育の変遷
3	限 5時間		乳児保育の役割と機能
	6時間		乳児保育の役割と機能
4	限 7時間		乳児保育における養護と教育
	8時間		乳児保育における養護と教育
5	限 9時間	実践と向き合う	保育所における乳児保育の基礎知識
	10時間		保育所における乳児保育の基礎知識
6	限 11時間		児童福祉施設における乳児保育の基礎知識
	12時間		児童福祉施設における乳児保育の基礎知識
7	限 13時間		地域型保育事業等における乳児保育
	14時間		地域型保育事業等における乳児保育
8	限 15時間	保育所を通した	乳児が育つ家庭への子育て支援
	16時間	子育て支援	乳児が育つ家庭への子育て支援
9	限 17時間	保育士としての視座	乳児の発達と保育の基本的姿勢
	18時間		乳児の発達と保育の基本的姿勢
10	限 19時間		乳児保育と保育者の役割り
	20時間		乳児保育と保育者の役割り
11	限 21時間	実際の保育から	乳児期の生活と環境
	22時間		乳児期の生活と環境・乳児期の遊びと環境
12	限 23時間		乳児期の遊びと環境
	24時間		乳児期から移行期への保育
13	限 25時間		乳児期から移行期への保育
	26時間		乳児保育における計画・記録・評価
14	限 27時間		乳児保育における計画・記録・評価
	28時間		乳児保育における連携と協働
15	限 29時間	今後の乳児保育	乳児保育の質を高める取り組み
	30時間		まとめ

授業計画表

こども未来 学科

MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 乳児保育Ⅱ	教員名 松好 伸一
科目時間数 : 15時間	7.5限 授業の種類 : ☒ 講義 ・ ☒ 演習 ・ 実習
必修・選択の別 : ☒ 必修 ・ 選択	配当学年 : 2年次 開講時期 : 前期 ・ 後期 ・ ☒ 集中
<p>【授業の目的・ねらい】 乳児を取り巻く社会的環境・状況を把握し、乳児の豊かな発達を保障するための保育者としての役割を実践と新聞作成を通し、理解を深める</p> <p>【こども未来学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○) 1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) ☒ 2. 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にできる力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力)</p> <p>【授業全体の内容の概要】 3歳未満児の発育発達と発達課題、保育の内容、保育の実践の方法を学習し、知識と技能の基礎を身につけ、子どものあるがままの姿を捉え、保育することができる力を養う。子育てを担う保護者を支援する者としての保育者の役割を考え、保護者の良き理解者としての知識や技能を習得する。</p> <p>【授業における達成課題】 当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識を習得する。</p>	
	使用教材
出版社	
学生用・教員用 共通	『乳児保育Ⅱ』保育士を育てる⑥
	一藝社
<p>【使用教室】 ☒ 1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()</p>	
<p>【評価方法】 ☒ 1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他 ()</p>	
<p>【備考】 出席、授業態度、意欲、提出物、小テストにて評価</p>	
<p>【担当教員の実務経験の有無】 ☒ 有 ・ 無</p>	
<p>【内容】 保育士、幼稚園教諭としての実務経験</p>	

科目名		科目時間総数		教員名
乳児保育Ⅱ		15時間	7.5限	松好 伸一
時間数		教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1限	1時間		オリエンテーション、授業内容説明	
	2時間	理論と実践	乳児保育の基本	
2限	3時間		乳児期の養護の実践	
	4時間		乳児期の子どもの学び	
3限	5時間	計画	乳児保育における指導計画の実際	
	6時間		乳児期の健康と安全	
4限	7時間	実際の保育	6か月未満児の保育・生活と遊び	
	8時間		7か月～1歳未満児保育	
5限	9時間		7か月～1歳未満児の生活と遊び	
	10時間		1歳児の保育・生活と遊び	
6限	11時間		2歳児の保育・生活と遊び	
	12時間	様々な乳児保育	地域型保育事業等における乳児保育	
7限	13時間		特別な配慮を必要とする乳児の保育	
	14時間		乳児保育の課題と対応	
7.5限	15時間	確認テスト	まとめ	

授業計画表

こども未来 学科

MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 子どもの健康と安全	教員名 中村 和歌子	
科目時間数 : 15時間 (7.5限)	授業の種類 : 講義・演習・実習	
必修・選択の別 : 必修・選択	配当学年 : 2年次 開講時期 : 前期・後期・集中	
<p>【授業の目的・ねらい】 子どもの身近な怪我や事故に対して、適切な応急処置及び救急処置に対応出来る技能を習得する。</p> <p>【こども未来学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○) ①. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) 2. 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力)</p> <p>【授業全体の内容の概要】 グループワーク・グループ討議を行い、モデル人形を使用し、身近な疾患・怪我・事故に対処出来るように講義を進める。</p> <p>【授業における達成課題】 保育専門職として保育実践に必要な知識を習得する。</p>		
	使用教材	出版社
	子どもの保健演習ノート	診断と治療社
	子どもの保健テキスト	診断と治療社
<p>【使用教室】</p> <p>1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()</p>		
<p>【評価方法】</p> <p>1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他 ()</p>		
<p>【備考】</p>		
<p>【担当教員の実務経験の有無】(有)・無 【内容】 看護師としての実務経験</p>		

科目名		科目時間総数		教員名
子どもの健康と安全		15時間	(7.5限)	中村 和歌子
限・時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標		
1限	1時間	子どもの保健と安全について	子どもの発達を知る	
	2時間	身体測定	身長・体重・頭囲・胸囲（モデル人形で測定）	
2限	3時間	子どもの健康状態の観察	バイタルサインの測定法	
	4時間	同上	子どもの体調不良時の主な症状と評価、対応	
3限	5時間	日常における養護の方法	子どもの抱き方、おんぶの仕方, ミルクの作り方・与え方	
	6時間	同上	おむつ交換、沐浴（モデル人形で演習）	
4限	7時間	まとめ	グループでまとめ	
	8時間	同上	プレゼンテーション	
5限	9時間	子どもに起こりやすい事故	よく起こる事故について知ろう	
	10時間	同上	事故や怪我の時の対応	
6限	11時間	子どもの誤飲について	子どもが誤飲してしまう物の大きさを確かめよう	
	12時間	同上	チャイルドマウスを作ってグループで確認	
7限	13時間	感染症対策	感染症・手洗い消毒	
	14時間	同上	嘔吐時の対応	
7.5限	15時間	まとめ	テスト	

授業計画表

こども未来 学科

MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 障害児保育	教員名 松好 伸一				
科目時間数 : 15時間	7.5限 授業の種類 : 講義・演習・実習				
必修・選択の別 : 必修・選択	担当学年 : 2年次 開講時期 : 前期・後期・集中				
<p>【授業の目的・ねらい】 障害者差別解消法の施行、保育所保育指針、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の改定に伴い、育みたい姿、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿、合理的配慮など、ノーマライゼーションからインクルーシブへの転換期にある障害児保育を、保育所、幼稚園、幼保連携型認定こども園での障害児保育を通して理解を深めていく。</p> <p>【こども未来学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○) 1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) ② 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にできる力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力)</p> <p>【授業全体の内容の概要】 保育所、幼稚園、幼保連携型認定こども園、それぞれの園における障害児保育の特徴や、障害児保育を利用する家庭の状況などを実例を示しながら、保育者に必要な知識、技術、理念などを学ぶ。また、家庭支援、子育て支援の視点や、障害児が在籍するクラスの健常児への配慮なども併せて学び、障害児保育Ⅱ求められるものの認識を深める。</p> <p>【授業における達成課題】 当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識を習得する。</p>					
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 33%;">使用教材</th> <th style="width: 33%;">出版社</th> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">学生用・教員用 共通 新・保育講座15 障害児保育</td> <td style="padding: 5px;">ミネルヴァ書房</td> </tr> </table>	使用教材	出版社	学生用・教員用 共通 新・保育講座15 障害児保育	ミネルヴァ書房
使用教材	出版社				
学生用・教員用 共通 新・保育講座15 障害児保育	ミネルヴァ書房				
<p>【使用教室】 ①. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 ④. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()</p>					
<p>【評価方法】 ①. 筆記試験 ②. レポート ③. 出席 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他 ()</p>					
<p>【備考】 評価について：出席率80%以上、授業態度、提出物を勘案し、A(80点以上) B(79～70点) C(69～60点) D(59点以下)の4段階で評価する。</p>					
<p>【担当教員の実務経験の有無】 ① 無 【内容】 保育士としての実務経験</p>					

科目名		障害児保育		科目時間総数	7.5限	教員名	松好 伸一
時間数		教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容				
1限	1時間	保育現場にいる障害のある子ども①	(1) 本講義の進め方についてのガイダンス (2) 保育現場にいる障害のある子どもの概要を知る。 *障害のある子どもがいる現状についてインクルーシブの観点から説明できる。				
	2時間	保育現場にいる障害のある子ども②					
2限	3時間	乳幼児期の発達課題と障害特性①	発達課題の概要ならびに、愛着形成について知る。 *愛着に関する重要事項について説明できる。 発達課題の概要ならびに、運動発達、基本的な生活習慣について知る。 *運動発達、基本的な生活習慣に関する重要事項について説明できる。				
	4時間	乳幼児期の発達課題と障害特性②③					
3限	5時間	乳幼児期の発達課題と障害特性④	発達課題の概要ならびに生活言語・コミュニケーションについて知る。 *言語・コミュニケーションに関する重要事項について説明できる。				
	6時間	障害児保育の仕組み					
4限	7時間	障害児とライフコース①	乳幼児健康診断と就学相談などについて知る。 *知的障害及び保育、教育の経緯に関する重要事項について説明できる。				
	8時間	障害児とライフコース②					
5限	9時間	障害の特徴と保育の実際①	知的障害、自閉症スペクトラム障害等についての概要ならびに保育の要点について知る。 *障害の理解とそれに基づく支援の実際について例示し、かつその要点を説明できる。				
	10時間	障害の特徴と保育の実際②					
6限	11時間	障害の特徴と保育の実際③					
	12時間	障害の特徴と保育の実際④					
7限	13時間	インクルーシブ保育①	インクルーシブ教育システム等の重要事項を知り、保育園、幼稚園における支援体制作りの要点について知る。 *支援体制を例示し、かつその要点を説明できる。				
	14時間	インクルーシブ保育②					
8限	15時間	インクルーシブ保育③					
		(テスト)					

授業計画表

こども未来 学科

MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 幼児への特別な支援	教員名 佐々木 全
科目時間数 : 15時間 (7.5限)	授業の種類 : 講義()・演習()・実習
必修・選択の別 : 必修()・選択	配当学年 : 2年次 開講時期 : 前期・後期・集中
<p>【授業の目的・ねらい】 ノーマライゼーションの理念が浸透している現代社会において、障がいのある子もいない子も共に育つ場としての保育園保育の在り方及び様々な障がいに対する理解と対応について学び、障がい児保育についての識見を深める。</p> <p>【こども未来学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○) 1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) ② 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力)</p> <p>【授業全体の内容の概要】 様々な障がいについて理解し、子どもの理解や援助の方法、環境構成等について学ぶ。障がいのある子どもの保育の計画を作成し、個別支援及び子どものかかわりの中で育ち合う保育実践について理解を深める。</p> <p>【授業における達成課題】 当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識を習得する。</p>	
	使用教材
学生用・教員用 共通	新・保育講座15 よくわかる障害児保 ミネルヴァ書房
<p>【使用教室】 ① HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()</p>	
<p>【評価方法】 1. 筆記試験 2. レポート ③ 出席 4. 授業態度 5. 実技試験 ⑥ その他(毎回の授業における小課題)</p>	
<p>【備考】 ・適宜演習題を課す。 ・ノートを使用する。各自準備すること。</p>	
<p>【担当教員の実務経験の有無】 ()有・無 【内容】 特別支援学校教員、高等学校教員 大学及び大学院教員</p>	

科目名		科目時間総数	教員名
幼児への特別な支援		15時間 (7.5限)	佐々木 全
限・時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	1時間 2時間 保育現場にいる障害のある子ども①	(1) 本講義の進め方についてのガイダンス (2) 保育現場にいる障害のある子どもの概要を知る。 * 障害のある子どもがいる現状についてインクルーシブの観点から説明できる。	
2 限	3時間 4時間 障害の特徴と保育の実際	知的障害、自閉症スペクトラム障害等についての概要ならびに保育の要点について知る。 * 障害の理解とそれに基づく支援の実際について例示し、かつその要点を説明できる。	
3 限	5時間 6時間 乳幼児期の発達課題と障害特性①	発達課題の概要ならびに、愛着形成について知る。 * 愛着に関する重要事項について説明できる。	
4 限	7時間 8時間 乳幼児期の発達課題と障害特性②	発達課題の概要ならびに、運動発達、基本的な生活習慣、言語・コミュニケーションについて知る。 * 上記内容に関する重要事項について説明できる。	
5 限	9時間 10時間 障害児保育の仕組み	障害児保育の仕組みについて知る。 * 障害児保育の仕組みに関する重要事項について説明できる。	
6 限	11時間 12時間 障害児とライフコース	乳幼児健康診断と就学相談などについて知る。 * 知的障害及び保育、教育の経緯に関する重要事項について説明できる。	
7 限	13時間 14時間 インクルーシブ保育	インクルーシブ教育システム等の重要事項を知り、保育園、幼稚園における支援体制の要点について知る。 * 支援体制を例示し、かつその要点を説明できる。	
8 限	15時間 家族に対する支援	家族（保護者やきょうだい）の心理と支援の必要性について知る。 * 上記内容に関する重要事項について説明できる。	

授業計画表

こども未来 学科

MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 社会的養護Ⅱ	教員名 佐藤 雅子
科目時間数: 15時間 (7.5限)	授業の種類: 講義・演習・実習
必修・選択の別: 必修・選択	配当学年: 2年次
開講時期: 前期・後期・集中	
<p>【授業の目的・ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会的養護における「施設養護」「家庭的養護」「家庭養護」の機能と役割を理解する。 ・社会的養護の現状をふまえ、「家庭養育優先原則」と関係機関の役割を理解する。 ・事例検討を通じて被虐待児とその家族への支援の考え方を学ぶ。 ・社会的養護における子どもとのコミュニケーションスキルを学ぶ。 <p>【こども未来学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) 2. 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力) <p>【授業全体の内容の概要】</p> <p>社会的養護の関係機関等の役割について、DVDや関係者へのインタビューを通じてより具体的に理解できるように授業を進める。事例検討、里親委託児童とのコミュニケーションスキルについても、演習・実技を取り入れる。</p> <p>【授業における達成課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会的養護の現状と「家庭養育優先原則」及び「施設養護」「家庭的養護」「家庭養護」の違いについて、より具体的に説明できる。 ・事例検討を通じて被虐待児とその家族への支援について理解を深める。 ・社会的養護における子どもとのコミュニケーションスキルを意識できるようになる。 	
<p>【使用教材・テキスト等】</p> <p>※教員が準備した資料及びワークシートを使用</p> <p style="padding-left: 20px;">新基本保育シリーズ6「社会的養護Ⅰ」公益財団法人 児童育成協会</p> <p style="padding-left: 20px;">「新しい絆の作り方 -特別養子縁組・里親入門-」NHK厚生文化事業団 福祉ビデオシリーズ</p>	
<p>【使用教室】</p> <p>1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室</p> <p>5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席率10%、授業態度20%、レポート70%</p>	
<p>【備考】</p>	
<p>【担当教員の実務経験の有無】 有○・無</p> <p>【内容】 社会福祉士としての実務経験</p>	

科目名		社会的養護Ⅱ		科目時間総数	15時間 (7.5限)	教員名	佐藤雅子
限・時間数		教育に含むべき事項・テーマ		主な学習内容と到達目標			
1	限	1時間 2時間	「社会的養護」の概要 児童養護施設における 養育	【講義】 社会的養護Ⅰの振り返りを行う			
2	限	3時間 4時間	里親制度の特徴と養育 の実際	【演習】 里親制度の特性と養育の実際について学ぶ 「家庭養育優先原則」に基づき、 施設養護、家庭的養護との違いを整理する			
3	限	5時間 6時間	虐待事例における支援 の考え方①	【事例検討①】 家庭における児童虐待への支援事例を検討する			
4	限	7時間 8時間	虐待事例における支援 の考え方②	【事例検討②】 社会的養護における家族再統合に向けた支援事例を検討 する			
5	限	9時間 10時間	社会的養護の実際と関 係機関の役割①	【講話・演習①】 児童相談所の職員、児童養護施設の里親支援専門相談員 の講話を聞き、学生からインタビューをすることで、社会 的養護の具体的な理解を深める			
6	限	11時間 12時間	社会的養護の実際と関 係機関の役割②	【講話・演習②】 養育里親の体験談を聞き、学生からインタビューをする ことで、社会的養護の具体的な理解を深める			
7	限	13時間 14時間	社会的養護のコミュニ ケーションスキル	【演習・実技】 里親トレーニング・プログラム 「フォスタリングチェンジプログラム」を体験する			
7.5	限	15時間	まとめ	【課題】 レポート作成			

科目名		科目時間総数		教員名
子育て支援		15時間		(7.5限) 佐藤雅子
限・時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標		
1 限	1時間 2時間 社会福祉援助の基本 コミュニケーションの方法①	【講義】 人の理解と環境の理解、バイスティックの7原則、ソーシャルワークの展開過程、コミュニケーションの方法について学ぶ 【演習①】		
2 限	3時間 4時間 コミュニケーションの方法②	子どもとのコミュニケーションのポイントを理解する 【演習②】 保護者とのコミュニケーションのポイントを理解する		
3 限	5時間 6時間 面接技法①	【講義】 マイクロカウンセリングの面接技法を学ぶ 【演習】		
4 限	7時間 8時間 面接技法②	保護者との面接場面の逐語記録をより良いコミュニケーションに書き換える作業やロールプレイを通じて、より良いコミュニケーションを体得する		
5 限	9時間 10時間 事例検討①	【講義】 相談援助のプロセスについて理解する (インテーク、アセスメント、支援計画作成、実践、評価)		
6 限	11時間 12時間 事例検討②	【演習①】 DVDを使用し、具体的な場面から家族の課題をBPSモデルにより整理することができる 【演習②】		
7 限	13時間 14時間 事例検討③	グループで協力して事例の情報を模造紙に整理し、アセスメントにより課題を抽出し、支援目標や計画を作成することができる		
7.5 限	15時間 まとめ	【課題】 レポート作成		

授業計画表

こども未来 学科

MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 保育実習 I (保育所)	教員名 橋場 早苗								
科目時間数 : 80時間 40限	授業の種類 : 講義 ・ 演習 ・ <u>実習</u>								
必修・選択の別 : <u>必修</u> ・選択	配当学年 : 2年次 開講時期 : 前期・後期・ <u>集中</u>								
<p>【授業の目的・ねらい】 保育現場での実践を通して、保育者の働きを学び、 保育者を志すものとしての自身の課題に向き合う。</p> <p>【こども未来学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) <u>2.</u> 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力) <p>【授業全体の内容の概要】 既習の知識や技能を基盤として、総合的に関連づける力、保育実践に知識や技能を応用する力を養う。保育所、児童福祉施設等の役割や機能を具体的に理解する。観察や子どもとのかかわりを通して子どもへの理解を深める。保育の計画、観察、記録及び自己評価等について具体的に理解する。保育士の業務内容や職業倫理について具体的に学ぶ。</p> <p>【授業における達成課題】 当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識と技術を習得する。</p>									
	使用教材								
学生用・教員用 共通 ”	保育実習 保育園実習日誌								
	出版社								
	中央法規 県内保育者養成校								
<p>【使用教室】</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 25%;">1. HR</td> <td style="width: 25%;">2. 介護実習室</td> <td style="width: 25%;">3. 家政実習室</td> <td style="width: 25%;">4. 視聴覚室</td> </tr> <tr> <td>5. PC実習室</td> <td>6. 接遇実習室</td> <td><u>7. その他</u> (実習園</td> <td></td> </tr> </table>		1. HR	2. 介護実習室	3. 家政実習室	4. 視聴覚室	5. PC実習室	6. 接遇実習室	<u>7. その他</u> (実習園	
1. HR	2. 介護実習室	3. 家政実習室	4. 視聴覚室						
5. PC実習室	6. 接遇実習室	<u>7. その他</u> (実習園							
<p>【評価方法】</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 25%;">1. 筆記試験</td> <td style="width: 25%;">2. レポート</td> <td style="width: 25%;">3. 出席</td> <td style="width: 25%;">4. 授業態度</td> </tr> <tr> <td>5. 実技試験</td> <td><u>6. その他</u> (</td> <td>実習評価</td> <td></td> </tr> </table>		1. 筆記試験	2. レポート	3. 出席	4. 授業態度	5. 実技試験	<u>6. その他</u> (	実習評価	
1. 筆記試験	2. レポート	3. 出席	4. 授業態度						
5. 実技試験	<u>6. その他</u> (	実習評価							
<p>【備考】 評価について：実習評価により評価する。</p>									
<p>【担当教員の実務経験の有無】 <u>有</u> 無 【内容】 保育士としての実務経験</p>									

科目名	保育実習Ⅰ（保育所）		科目時間総数	80時間	40限	教員名	橋場 早苗	
時間数	教育に含むべき事項・テーマ		主な学習内容					
40 限	80時間	保育所の機能や役割	①観察・参加実習（園や幼児の様子を観察する）					
		観察・参加実習（子ども）	・園の1日の生活の流れを理解する。					
			・幼児の名前を覚え、園生活での様子を観察する。					
			・幼児同士のかかわりや友達関係について観察する。					
		観察・参加実習（保育士の動き）	②観察・参加実習（幼児に対する保育士の援助について）					
			・保育士が子どもにどのようにかかわっているのかを観察する。					
			・クラスの特徴や保育士の援助について理解する。					
		子ども理解	・保育士の職務と役割を学ぶ。					
			③観察・参加実習（1人1人の子ども理解と活動内容）					
			・遊びや生活の場面での幼児の発達段階を知る。					
		部分実習	・1日の生活がどのような流れで行われているのかを学ぶ。					
			・午睡時の準備、子どもの動きについて知り、援助方法を学ぶ					
			④観察・参加実習（教材や資料などを把握する）					
			・環境設定の工夫や留意点について学ぶ					
			・清潔・安全の確保について学ぶ。					
			⑤部分実習…保育の一部分を担当する実習					
			・朝の活動の部分実習…出席確認・朝のうた・手遊び等					
			・中心活動の部分実習…製作・ゲーム・体操等					
			・昼食の部分実習…給食の準備・お当番活動・食事の援助等					
			・帰りの活動の部分実習…絵本・紙芝居・手遊び・帰りのうた（等）					
			全日実習	⑥部分実習（部分実習の留意点）				
				・実習指導者のもとに指導計画を立案する。				
		・子どもの実態を把握し、実態に即した活動内容を考える。						
		・活動の意味や目的を明確にする。						
・前後の活動から部分指導を行う関連性を考える。								
⑦全日実習…1日の保育をすべて担当する実習								
・実習指導者の指導のもとに指導計画を立案する。								
・「ねらい」「内容」「環境構成」「活動」「援助」を考える。								
・子どもの興味・関心を考慮し適切な指導を心がける。								
・時期（季節感）を考えた活動を準備する。								
・十分な教材研究を行い活動の展開を予測し、ねらいを達成できるようにする。								
⑧実習の評価・反省								
・実習を振り返り、自己評価・反省・今後の課題を探る。								

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容
	子どもたちの発達過程の理解と適切な援助	<p>①観察・参加実習（幼児に対する教師のかかわりの仕方を観察する）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師が幼児にどのようにかかわっているのかを観察する。 ・クラスの特徴や教師の援助について理解する。 ・幼稚園教諭の職務と役割を学ぶ。 <p>②観察・参加実習（1人1人の幼児理解と活動内容）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遊びや生活の場面での幼児の発達段階を知る。 ・生活の中でどのような活動がどのような方法で行われているのかを学ぶ。 ・幼児同士のかかわりや友達関係について観察する。 <p>③観察・参加実習（教材や資料などを把握する）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境設定の工夫や留意点について学ぶ ・教材や用具の選択や数量の確保がどのように行われているのかを知る。 <p>④部分実習…保育の一部分を担当する実習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝の活動の部分実習…出席確認・朝のうた・手遊び等 ・中心活動の部分実習…製作・ゲーム・体操等 ・昼食の部分実習…給食の準備・お当番活動・食事の援助等 ・帰りの活動の部分実習…絵本・紙芝居・手遊び・帰りのうた（等） <p>⑤部分実習（部分実習の留意点）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育指導者の指導のもとに指導計画を立案する。 ・子どもの実態を把握し、実態に即した活動内容を考える。 ・活動の意味や目的を明確にする。 ・前後の活動から部分指導を行う関連性を考える。 <p>⑧実習の評価・反省</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習を振り返り、自己評価・反省・今後の課題を探る。
	専門職としての保育士の役割と職業倫理	<p>①保育士の業務内容を理解する</p> <p>②職員間の役割分担や連携を理解する</p> <p>③保育士としての役割と職業倫理の理解をする</p> <p>④子育て支援について学ぶ</p> <p>⑤延長保育について学ぶ</p> <p>⑥保護者支援について学ぶ</p>

授業計画表

こども未来 学科

MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 保育実習 I (施設)	教員名 竹内愛美
科目時間数 : 80時間 40限	授業の種類 : 講義 ・ 演習 ・ 実習
必修・選択の別 : 必修・ <u>選択</u>	配当学年 : 2年次 開講時期 : 前期・後期・ <u>集中</u>
<p>【授業の目的・ねらい】</p> <p>既習の知識や技能を基盤として、総合的に関連づける力、保育実践に知識や技能を応用する力を養う。保育所、児童福祉施設等の役割や機能を具体的に理解する。</p> <p>【こども未来学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) <u>2.</u> 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力) <p>【授業全体の内容の概要】</p> <p>既習の知識や技能を基盤として、総合的に関連づける力、保育実践に知識や技能を応用する力を養う。保育所、児童福祉施設等の役割や機能を具体的に理解する。観察や子どもとのかかわりを通して子どもへの理解を深める。保育の計画、観察、記録及び自己評価等について具体的に理解する。保育士の業務内容や職業倫理について具体的に学ぶ。</p> <p>【授業における達成課題】</p> <p>当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識と技術を習得する。</p>	
	使用教材
学生用・教員用 共通	保育実習事前指導
"	施設実習日誌
	出版社
	近畿大学九州短期大学通信教育部
	"
<p>【使用教室】</p> <p>1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室</p> <p>5. PC実習室 6. 接遇実習室 <u>7. その他</u>(実習施設)</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度</p> <p>5. 実技試験 <u>6. その他</u>(実習評価)</p>	
<p>【備考】</p> <p>評価について：実習評価により評価する。</p>	
<p>【担当教員の実務経験の有無】 <u>有</u> 無</p> <p>【内容】 障害者施設職員としての実務経験</p>	

科目名		科目時間総数		教員名
保育実習Ⅰ（施設）		80時間	40限	竹内愛美
時間数		教育に含むべき事項・テーマ		
40 限	80時間	主な学習内容		
		実習施設についての理解 児童・利用者の理解	実習施設の概要理解・設立理念と養護、支援目標の理解 施設の生活に参加し、1日の生活の流れを理解	
		児童・利用者の理解 児童（利用者）のニーズの理解	施設の生活に参加し、1日の生活の流れを理解 児童（利用者）や保育士とともに生活し施設の生活状況を理解	
		児童（利用者）のニーズ理解	観察を通して、児童（利用者）の実態を理解 児童（利用者）と生活を共にし、積極的に関わることを通して（利用者）のニーズを理解	
		児童（利用者）のニーズ理解	観察を通して、児童（利用者）の実態を理解 児童（利用者）と生活を共にし、積極的に関わることを通して、児童（利用者）のニーズを理解	
		援助計画の理解	援助計画の意味、援助の実態の理解 年齢、発達その他個人の特性などに応じた援助計画のあり方を理解	
		養護時術の習得	保育士の援助の実際を通して、養護技術を理解 児童（利用者）の個別性に配慮した養護のあり方を理解	
		児童（利用者）の最善の利益を具現化する方法を理解	児童（利用者）との関わりを通じて、児童（利用者）にとってよりよい生活や関わり のあり方について理解 児童（利用者）の最善の利益を追求する施設全体の取り組みについて理解	
		施設・家庭・地域社会との連携について理解	施設と家庭との連携、保育士と保護者との連携、地域の社会資源との 連携について理解	
		保育士の倫理観を具体的に理解	守秘義務の遵守、個人のプライバシーがどのように守られているの か理解	
		安全及び疾病予防について理解	施設や保育士の児童（利用者）に対する安全配慮について理解	

授業計画表

こども未来 学科

MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 保育実習 I 事前事後指導 (保育所)	教員名 竹内 愛美						
科目時間数 : 10時間 (5限)	授業の種類 : 講義 () ・ 演習 () ・ 実習						
必修・選択の別 : () 必修 ・ 選択	配当学年 : 2年次						
開講時期 : () 前期 ・ 後期 ・ 集中							
<p>【授業の目的・ねらい】 保育所の役割と機能を理解し、子どもの発達過程に応じた保育内容や子どもの生活や遊び、保育環境について学ぶ。</p> <p>【こども未来学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○) 1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) ② 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力)</p> <p>【授業全体の内容の概要】 保育所の役割と機能、デイリープログラム、保育の留意点を理解し、実習課題を明確にする。子どもの発達過程に応じた保育内容や子どもの生活や遊びと保育環境について学ぶ。観察の視点、記録と考察について理解するとともに、発達過程に応じた指導計画を作成する。</p> <p>【授業における達成課題】 当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識と技術を習得する。</p>							
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;"></th> <th style="width: 40%;">使用教材</th> <th style="width: 30%;">出版社</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="padding: 5px;"> 学生用・教員用 共通 ” </td> <td style="padding: 5px;"> 保育実習 保育所実習日誌 </td> <td style="padding: 5px;"> 中央法規 県内保育士養成校 </td> </tr> </tbody> </table>		使用教材	出版社	学生用・教員用 共通 ”	保育実習 保育所実習日誌	中央法規 県内保育士養成校
	使用教材	出版社					
学生用・教員用 共通 ”	保育実習 保育所実習日誌	中央法規 県内保育士養成校					
<p>【使用教室】 ①. HR () 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()</p>							
<p>【評価方法】 1. 筆記試験 2. レポート ③. 出席 () ④. 授業態度 () 5. 実技試験 ⑥. その他 () (学習状況 ※実習評価に含める)</p>							
<p>【備考】 出席率80%以上、授業態度、提出物、評価表で認定</p>							
<p>【担当教員の実務経験の有無】 () 有 ・ 無 【内容】 保育士としての実務経験</p>							

科目名		科目時間総数	教員名
保育実習 I 事前事後指導 (保育所)		10時間 (5限)	竹内 愛美
限・時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1限	1時間	保育所実習の意義と目的	・ 保育所実習の意義と目的、必要性について理解する
	2時間	保育所の役割と社会的責任	・ 保育所保育指針から見る保育所と保育者の役割、社会的責任がわかる
2限	3時間	保育所実習全体の流れと諸注意	・ 保育所の一日の生活の流れと留意点ができる
	4時間	実習の留意点	・ 保育所実習全体の流れと留意点を理解する
			・ 実習に向けた姿勢とマナー、オリエンテーションについて知る
3限	5時間	記録の取り方	・ 記録の取り方や文章表現の留意点ができる
	6時間	エピソードの記録と反省	・ エピソード記録の捉え方や実習の振り返り方を学ぶ
4限	7時間	実習日誌の記入の仕方	・ 例文活用。保育所の生活の流れや子どもと保育者の動きを読み取る
	8時間		・ 保育士の動きから考察し気づきを記載する
5限	9時間	指導計画の作成と留意点	・ 指導計画の作成のしかたと留意点を知る
	10時間	まとめ	・ 自己課題の設定と評価のしかた、報告書の書き方を理解する

科目名 保育実習 I 事前事後指導 (施設)		科目時間総数 10時間	5限	教員名 竹内愛美
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容		
1限	1時間 施設実習の意義 2時間	施設実習の意義と目的を理解する 実習に向けた心構え、マナーがわかる		
2限	3時間 施設の理解 4時間	施設の概要、設置目的、役割、形態、主な職種について理解する。 施設実習でどのようなことを学んでくるかわかる。		
3限	5時間 障がいの理解 6時間	それぞれの障害の種類や特徴、関わり方や援助方法について理解する		
4限	7時間 実習日誌の作成 8時間	実習調査票・出勤簿・評価表を作成する。		
5限	9時間 実習課題の作成	実習計画の作成①		
	10時間 実習日誌の書き方	実習日誌の書き方・注意事項を理解する。 毎日のねらいに基づいた振り返り、自己評価の確認ポイントが分かる。		
	実習終了後	お礼状、日誌、レポート、実習報告書の書き方、実習報告会の発表の仕方についてわかる		

授業計画表

こども未来 学科

MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 保育・教職実践演習	教員名 橋場 早苗
科目時間数 : 30時間 15限	授業の種類 : 講義 ・ 演習 ・ 実習
必修・選択の別 : 必修・選択	配当学年 : 2年次
開講時期 : 前期・後期・集中	
<p>【授業の目的・ねらい】 ①保育者としての資質能力を総点検する。②自己課題を見つけだし、不足している知識・技能の補いを自己学習によって獲得する。③乳幼児への理解力や保育技術が保育実践の場で発揮できるようになる。④学級運営や集団作りの視点を学び、指導力を身につける。⑤社会性や対人関係能力を身につける。</p> <p style="text-align: right;">(※当該科目が最も関連する項目に○)</p> <p>【こども未来学科ディプロマポリシーとの関連】</p> <p>1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応)</p> <p>2. 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力)</p> <p>3. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力)</p> <p>【授業全体の内容の概要】</p> <p>保育者として必要な資質能力を確実に身につけているかどうか確認し、保育の現場で求められる実践力の形成を目指す。</p> <p>【授業における達成課題】 当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識と技術を習得する。</p>	
	使用教材
学生用・教員用 共通	保育・教職実践演習
	出版社
	近畿大学九州短期大学通信教育部
<p>【使用教室】</p> <p>1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室</p> <p>5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度</p> <p>5. 実技試験 6. その他 ()</p>	
<p>【備考】</p> <p>出席 (20点)、提出物 (20点)、意欲・態度 (30点)、レポート (30点)</p> <p style="text-align: right;">合計100点中60点以上合格</p>	
<p>【担当教員の実務経験の有無】 有 無</p> <p>【内容】 幼稚園教諭としての実務経験</p>	

科目名		科目時間総数		教員名
保育・教職実践演習		30時間	15限	橋場 早苗
時間数		教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1限	1時間	イントロダクション (授業概要と授業方法)	「保育・教職実践演習」の意義とねらい	
	2時間		・実習を終えた学生に保育者としての最小限必要な資質能力が形成されているか振り返り定着を目指す。	
2限	3時間	学びを通して得られた知識と技術の確認	↓ 資質能力が形成されているか振り返り定着を目指す	
	4時間		これまでの学修を振り返る「保育・教職実践演習」の趣旨の理解	
3限	5時間	グループワーク・学級経営や集団作り	創作活動を取り入れたプログラム、まとめと発表	
	6時間		↓ ・新しい園の構想（ハード面・ソフト面）	
4限	7時間	保育者に求められる基本的事項と保育技術	「保育とは、保育者の仕事とは」	
	8時間		↓ ・保育者の社会的使命と役割	
5限	9時間	保育者に求められる基本的事項と保育技術	↓ ・専門職としての保育者の仕事	
	10時間		「自ら育つ保育者となるために」	
6限	11時間	保育者としての資質・能力の総点検	↓ ・保育者に求められる基本的事項と人間関係能力	
	12時間		↓ ・保育者に求められる保育技術	
7限	13時間	保育者としての資質・能力の総点検	「履修カルテ」作成の意義	
	14時間		「履修カルテ」の作成（履修カルテ①、履修カルテ②）	
8限	15時間	保育実践と自己課題	「履修カルテ」の活用（振り返りと自己課題の確認）	
	16時間		保育者としての自己課題から研究課題設定	
9限	17時間	保育実践と自己課題	↓ ・自己課題を見つけだし不足している知識・技能の	
	18時間		↓ 補いを自己学習によって獲得する。	
10限	19時間	グループワークとフィールドワーク (保育内容を体系的・系統的に理解すると共に、保育実践の基本的な事項や保育技術を身に付ける。)	グループ毎に研究テーマ・内容についての研究討議	
	20時間		課題研究（内容、アプローチの仕方）	
11限	21時間	グループワークとフィールドワーク (保育内容を体系的・系統的に理解すると共に、保育実践の基本的な事項や保育技術を身に付ける。)	課題研究（調べ学習、アンケート作成、事例研究等）	
	22時間		課題研究（事前準備、内容のまとめ）	
12限	23時間	グループワークとフィールドワーク (保育内容を体系的・系統的に理解すると共に、保育実践の基本的な事項や保育技術を身に付ける。)	課題研究（園訪問、アンケート調査、実践活動等）	
	24時間		課題研究（実態調査、職場体験、大学訪問等）	
13限	25時間	グループワークとフィールドワーク (保育内容を体系的・系統的に理解すると共に、保育実践の基本的な事項や保育技術を身に付ける。)	課題研究の調査結果のまとめ（パワーポイント）	
	26時間		フィールドワークで何を学んだのか、振り返りと評価	
14限	27時間	成果報告（プレゼンテーション）	研究発表①	
	28時間		研究発表②	
15限	29時間	保育者としての使命感・責任感・倫理観について学ぶ	↓	
	30時間		振りかえりとまとめ	

授業計画表

こども未来 学科

MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 青年心理学	教員名 會津 真子
科目時間数 : 30時間 (15限)	授業の種類 : 講義(○)・演習・実習
必修・選択の別 : 必修(○)・選択	配当学年 : 2年次 開講時期 : 前期・後期(○)・集中
<p>【授業の目的・ねらい】 青年期と呼ばれる時期は、子どもから大人へと至る中間に位置付けられ、性成熟にともなう急速な身体的変化や、内省的な傾向、自我意識の高まりが見られ、精神的動揺が激しい時期であるとされる。この講義では、青年期はどのような特徴があるのか、具体的に考察し理解を深めることを目指す。</p> <p>【こども未来学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○) ① 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) 2. 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力)</p> <p>【授業全体の内容の概要】 生涯発達における一つの時期として青年期を位置付けるため、発達心理学的な観点から具体的なエピソードなどを通して学習を行う。</p> <p>【授業における達成課題】 青年期は、身体的変化の時期だけではなく、周囲の人々との関係、社会における役割など様々な面で変化が生じる時期であることを、心理学的な用語を用いて説明できるようになる。</p>	
	使用教材
	出版社
	適宜授業中に配布する
<p>【使用教室】 ①. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()</p>	
<p>【評価方法】 ①. 筆記試験 2. レポート ③. 出席 ④. 授業態度 5. 実技試験 6. その他 ()</p>	
<p>【備考】 出席および授業態度を30%、筆記試験を60%とする。 筆記試験は60点満点で、35点以下は不合格とする。</p>	
<p>【担当教員の実務経験の有無】 (有)・無 【内容】 社会科学研究所職員としての実務経験</p>	

科目名		科目時間総数	教員名
青年心理学		30時間 (15限)	會津 真子
限・時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1限 1時間 2時間	イントロダクション 発達の中の青年期	授業の位置づけについて理解する 発達心理学の基礎と青年期/生涯発達と青年期	
2限 3時間 4時間	青年期とはどのような時期か	身体とそれを取り巻く環境と自己の問題	
3限 5時間 6時間	青年期の思考と感情	思考と感情の面から青年期を考える	
4限 7時間 8時間	青年期のアイデンティティ (1)	アイデンティティの発達	
5限 9時間 10時間	青年期のアイデンティティ (2)	青年期のアイデンティティの特徴について	
6限 11時間 12時間	青年期と家族関係 (1)	家族関係の発達	
7限 13時間 14時間	青年期と家族関係 (2)	青年期の家族関係の特徴	
8限 15時間 16時間	青年期の交友関係 (1)	交友関係の発達	
9限 17時間 18時間	青年期の交友関係 (2)	青年期の交友関係の特徴	
10限 19時間 20時間	青年期と性 (1)	性の発達についての基礎	
11限 21時間 22時間	青年期と性 (2)	青年期における性の問題	
12限 23時間 24時間	青年期と進路	青年期における職業選択および進路の問題	
13限 25時間 26時間	青年期と社会	社会の発達と青年期における問題	
14限 27時間 28時間	青年期と臨床的問題	青年期の臨床問題の概要と不適応	
15限 29時間 30時間	まとめ	全体のまとめ	

科目名		科目時間総数	教員名
幼児の心理学		15時間	川原 正広
限・時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1限	1時間	保育に生かす教育心理学・子どもの発達（愛着形成）	教育心理学について説明する。
	2時間		子どもの成長発達（愛着形成を中心に）を理解し、促す教育の在り方を説明できる。
2限	3時間	子どもの学び、学習行動	遊びの中での学習について説明できる。
	4時間		基礎的な学習行動について説明できる。
3限	5時間	知的能力、パーソナリティの発達	知能とは何か、測定方法の基礎について説明できる。
	6時間		適応、不適応について理解し、実際の教育の場面で生かすことを説明できる。
4限	7時間	教育・保育評価、発達障害のある子ども	学習評価、保育評価について説明できる。
	8時間		発達障害について理解し、実際の指導場面で生かす方法を考える。
5限	9時間	保育における集団と個人	集団が果たす役割について説明できる。
	10時間		保育環境の果たす役割について説明できる。
6限	11時間	幼・保・小との連携	保育指針から見える小学校との連携について説明できる。
	12時間		就学前の気になる幼児について説明できる。
7限	13時間	家族への教育的支援	家族への信頼感の醸成について説明できる。
	14時間		カウンセリングの基本的な理論について説明できる。
7.5限	15時間	登園しぶり、児童虐待、早期教育	不登校、登園しぶりの状況、背景について説明できる。
			早期教育への説明を深めることができる。

授業計画表

こども未来 学科

MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 健康Ⅱ	教員名 高橋 裕貴子
科目時間数 : 15時間 (7.5限)	授業の種類 : 講義・演習・実習
必修・選択の別 : 必修・選択	配当学年 : 2年次
開講時期 : 前期・後期・集中	
<p>【授業の目的・ねらい】 領域「健康」に関する保育内容とその方法を理解し、子どもの健康に必要な知識とその指導・援助の技術、技能を獲得する。</p> <p>【こども未来学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○) 1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) ② 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力)</p> <p>【授業全体の内容の概要】 子どもの全面的な発達を促すために、人間の身体や健康、それにかかわる環境についての理解を深め、子どもの健康に必要な知識とその指導、援助の技術、技能を獲得する。</p> <p>【授業における達成課題】 当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識を習得する。</p>	
使用教材	出版社
学生用・教員用 共通 健康 <理論編>	教育情報出版
<p>【使用教室】 ①. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()</p>	
<p>【評価方法】 ①. 筆記試験 ②. レポート ③. 出席 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他 ()</p>	
<p>【備考】 評価について：出席率80%以上、授業態度、提出物を勘案し、A(80点以上)、B(79～70点) C (69～60点)、D(59点以下)の4段階で評価する。</p>	
<p>【担当教員の実務経験の有無】 有○無</p>	
<p>【内容】</p>	

科目名		科目時間総数	教員名
健康Ⅱ		15時間 (7.5限)	高橋 裕貴子
限・時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	1時間	現代人の健康と生活	人類の生活と健康観の変遷について
	2時間	〃	ライフサイクルと健康について
2 限	3時間	県是な心身の発育・発達に見る乳幼児期の発達課題と特徴	身体的発達とその仕組みについて
	4時間	〃	乳幼児期の発達課題についての理解
3 限	5時間	乳幼児期・児童期の子どもの健康な生活と遊び	子どもを取り巻く生活環境についての理解・幼稚園保育所との家庭連携について
	6時間	領域「健康」に関する保育内容とその方法	幼児期の発育・発達と健康づくりについて
4 限	7時間	園における健康づくりのための保育指導	健康な生活リズムについて・基本的な生活習慣の確立について
	8時間	園における保険・安全衛生の管理	生活に必要な生活習慣について・健康管理について
5 限	9時間	健康保育における四季の生活と遊び	四季における生活と遊びについて、それぞれの特徴を知る
	10時間	〃	
6 限	11時間	保育の中の健康行事と安全教育	年間行事の立て方と避難訓練などについて
	12時間	〃	
7 限	13時間	健康生活と遊びの科学	遊びの行動観察について
	14時間		
7.5 限	15時間	新しい時代を生きる子どもと健康	子どもの健康チェック・現場における子どもの健康課題

授業計画表

こども未来 学科

MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 幼児体育	教員名 伊藤 優汰
科目時間数 : 15時間	7.5限 授業の種類 : ☒ 講義 ・ ☒ 演習 ・ 実習
必修・選択の別 : ☒ 必修・選択	配当学年 : 1年次 開講時期 : 前期・ ☒ 後期・集中
<p>【授業の目的・ねらい】 幼児期の発達・運動遊びの特性を理解し、幼児期の体育指導について実践的知識を習得する。</p> <p>【こども未来学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○)</p> <p>1. ☒ 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応)</p> <p>2. 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力)</p> <p>3. 地域の文化を大切にできる力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力)</p> <p>【授業全体の内容の概要】</p> <p>幼児期と小学校低学年段階との発達の関連から、体育的な活動に関わった教育・保育内容とその方法を検討し、幼児体育を実践する上で必要な運動遊びのレパートリーを習得する。遊びの連続性・発展性を広げていく上での視点に関わった実践的知識を習得する。</p> <p>【授業における達成課題】 当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識と技能を習得する。</p>	
	使用教材
学生用・教員用 共通	幼児体育Ⅱ
	出版社
	近畿大学九州短期大学通信教育部
<p>【使用教室】</p> <p>1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室</p> <p>5. PC実習室 6. 接遇実習室 ☒ 7. その他 ()</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度</p> <p>☒ 5. 実技試験 6. その他 ()</p>	
<p>【備考】</p> <p>評価について：試験・レポートの点数、及び授業態度を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。</p>	
<p>【担当教員の実務経験の有無】 ☒有・無</p>	
<p>【内容】</p>	

科目名		科目時間総数		教員名
幼児体育		15時間	7.5限	伊藤 優汰
時間数		教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1限	1時間 2時間	幼児のためのコーディネーション運動とは	「遊び」の重要性・幼児期の運動能力	
2限	3時間 4時間	歩く動作・走る動作	歩く動作・走る動作を取り入れたコーディネーション運動	
3限	5時間 6時間	跳ぶ動作	跳ぶ動作を取り入れたコーディネーション運動	
4限	7時間 8時間	投げる動作・捕る動作	投げる動作・捕る動作を取り入れたコーディネーション運動	
5限	9時間 10時間	全身を使った動作	リズム体操・組体操	
6限	11時間 12時間	用具・道具を使用した遊び	跳び箱・マット運動・サーキット	
7限	13時間 14時間			
7.5限	15時間	試験	模擬指導	

授業計画表

こども未来 学科

MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 劇あそび (指導法)	教員名 廣瀬 洋子									
科目時間数 : 15時間 (7.5限)	授業の種類 : ☒ 講義 ・ ☒ 演習 ・ 実習									
必修・選択の別 : ☒ 必修 ・ 選択	配当学年 : 1年次									
開講時期 : 前期 ・ 後期 ・ ☒ 集中										
<p>【授業の目的・ねらい】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. いろいろなものの美しさなどに対する豊かな感性を持つ。 2. 感じたことや考えたことを様々な方法で表現にしようとする。 3. 生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ。 <p>【こども未来学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) 2. 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) ☒ 3. 地域の文化を大切にできる力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力) <p>【授業全体の内容の概要】</p> <p>領域「表現」を観点に、発達段階に応じた子どもの遊び(ごっこ遊び、劇あそび)の内容と意義について学習する。伴う表現活動(歌う、演奏する、踊るなど)の演習課題を通し、感じたり、考えたり、想像したり、創造する力を養う。</p> <p>【授業における達成課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 領域「表現」の「ねらい」「内容」について理解する。 ・ 子どもの発達に即した遊びの過程を理解し、どのような援助が必要か考えることができる。 ・ 子どもの表現を育てうる実践力と指導法を見に付ける。 										
	使用教材	出版社								
プリント資料適宜配布										
<p>【使用教室】</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 25%; border: none;">1. ☒ HR</td> <td style="width: 25%; border: none;">2. 介護実習室</td> <td style="width: 25%; border: none;">3. 家政実習室</td> <td style="width: 25%; border: none;">4. ☒ 視聴覚室</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">5. PC実習室</td> <td style="border: none;">6. 接遇実習室</td> <td colspan="2" style="border: none;">7. その他 ()</td> </tr> </table>			1. ☒ HR	2. 介護実習室	3. 家政実習室	4. ☒ 視聴覚室	5. PC実習室	6. 接遇実習室	7. その他 ()	
1. ☒ HR	2. 介護実習室	3. 家政実習室	4. ☒ 視聴覚室							
5. PC実習室	6. 接遇実習室	7. その他 ()								
<p>【評価方法】</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 25%; border: none;">1. 筆記試験</td> <td style="width: 25%; border: none;">2. レポート</td> <td style="width: 25%; border: none;">3. 出席</td> <td style="width: 25%; border: none;">4. 授業態度</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">5. ☒ 実技試験</td> <td colspan="3" style="border: none;">6. その他 ()</td> </tr> </table>			1. 筆記試験	2. レポート	3. 出席	4. 授業態度	5. ☒ 実技試験	6. その他 ()		
1. 筆記試験	2. レポート	3. 出席	4. 授業態度							
5. ☒ 実技試験	6. その他 ()									
<p>【備考】</p> <p>評価について：実技の点数、及び出席率を勘案しA(80点以上)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59点以下)の4段階で評価する。</p>										
<p>【担当教員の実務経験の有無】 ☒ 有 ・ 無</p>										
<p>【内容】 幼稚園教諭、主幹教諭、教頭、園長の実務経験</p>										

科目名		劇あそび（指導法）		科目時間総数	15時間	（7.5限）	教員名	廣瀬 洋子
限・時間数		教育に含むべき事項・テーマ		主な学習内容と到達目標				
1	1時間 2時間 限	劇あそびとは		劇あそびとは何か。劇あそびのねらい。劇あそびの導入の仕方。				
2	3時間 4時間 限	ペープサート作り①		絵本の選択、脚本・台本作り、配役（担当）決め				
3	5時間 6時間 限	ペープサート作り②		ペープサート・大道具・小道具・音響（効果音）の作成				
4	7時間 8時間 限	ペープサート作り②		ペープサート・大道具・小道具・音響の作成				
5	9時間 10時間 限	ペープサート劇の練習		台本読み。セリフの練習。ペープサートの動かし方。効果音や歌の取り入れ方。				
6	11時間 12時間 限	ペープサート劇の練習		台本読み。セリフの練習。ペープサートの動かし方。効果音や歌の取り入れ方。				
7	13時間 14時間 限	ペープサート劇の発表会		グループごとにペープサート劇の発表会を実施。他のグループの発表を見ることで、様々なことに気づく。				
8	15時間 限	振り返り		グループごとに振り返りシート&評価表を記入し、お互いの良さに気づき、今後の課題を探る。				

授業計画表

こども未来 学科

MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 音楽表現(指導法)	教員名 小玉 充子	
科目時間数 : 15時間	7.5限 授業の種類 : 講義 ・ 演習 ・ 実習	
必修・選択の別 : 必修・選択	配当学年 : 1年次 開講時期 : 前期・後期・集中	
<p>【授業の目的・ねらい】 実践的表現活動（オペレッタ）を通して、音楽表現の分野について幅広い知識と柔軟性に富んだ発想力、表現力を身に付ける。</p> <p>【こども未来学科ディプロマポリシーとの関連】 （※当該科目が最も関連する項目に○）</p> <p>1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応)</p> <p>2. 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力)</p> <p>3. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力)</p> <p>【授業全体の内容の概要】</p> <p>創造豊か、感情豊かな成長のために求められる保育の環境設定や援助法について、実践的表現活動（オペレッタ）を通して学ぶ。</p> <p>【授業における達成課題】 当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識と技能を習得する。</p>		
	使用教材	出版社
プリント資料適宜配布		
<p>【使用教室】</p> <p>1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室</p> <p>5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()</p>		
<p>【評価方法】</p> <p>1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度</p> <p>5. 実技試験 6. その他 ()</p>		
<p>【備考】 評価について：実技試験及び出席、授業態度を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。</p>		
<p>【担当教員の実務経験の有(無)】 有・無</p> <p>【内容】 ピアノ講師としてのとしての実務経験有り</p>		

科目名		科目時間総数		教員名	
音楽表現(指導法)		15時間		7.5限 小玉 充子	
時間数	教育に含むべき事項・テーマ		主な学習内容		
1限	1時間	作ろうオペレッタ (I) (タイトル)	(1日目) ・全員で台本を読み合わせる ・歌唱部分を全員で練習 ・グループごとに配役を決める ・役ごとに読み合わせ→歌ってみる ・舞台の背景(美術)衣装、小物などをアイディアを出しながら作製開始 ・それぞれを作製しながらも歌、せりふの練習は続ける ・伴奏者は練習しながらも、作製している人のためにBGMとして流す ・伴奏の練習を休んでいるときは、一緒に作製する		当日までにやっておくこと
	2時間				
2限	3時間		全員の練習は続ける		(備考)約2週間前に資料を配布する ・グループを決める ・配役は事前に決めておいたほうが良い ・伴奏者、リーダー(1名)を決めておく ・伴奏者は練習しておくこと ・あらかじめ材料を調達しておく スムーズに行く
	4時間				
3限	5時間		全員集合して歌唱練習(ここまでの伴奏は講師。台本を暗記、暗譜してくる)		
	6時間				
4限	7時間		(2日目) ・全員集合して歌唱練習(ここからは、伴奏者全員で弾く) ・グループに分かれて美術の仕上げ作業→振付の確認をする		
	8時間				
5限	9時間	作ろうオペレッタ(II)	振付けの仕上げに向けてまとめる(決定)		
	10時間				
6限	11時間		最終リハーサル(グループごとの時間の割り振りは当日決める)		講師より助言する
	12時間				
7限	13時間		全員集合して発表する 終了後、全員で後片付け→清掃して解散(最後までしっかりやる)		講師より講評する
	14時間				
7.5限	15時間				
※後日提出で、感想、反省点のレポートを書かせる(全員)					

授業計画表

こども未来福祉 学科

MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 図画工作Ⅱ	教員名 青木久美
科目時間数 ： 15時間 (7.5限)	授業の種類 ： 講義 ・ 演習 ・ 実習
必修・選択の別 ： 必修・選択	配当学年 ： 1年次 開講時期 ： 前期・後期・集中
<p>【授業の目的・ねらい】 絵画・立体造形・色彩と構成に関して基礎知識と表現技術を学ぶことにより、幼児の造形活動に対して適切な援助と造形教育を行える能力を養う。</p>	
(当該科目が最も関連するDPに○)	
<p>【ディプロマポリシーとの関連】 1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) ②. 幅広い視野で保育を实践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力)</p>	
<p>【授業全体の内容の概要】 造形活動に用いる用具や材料、様々な表現方法の知識と、デッサンや色彩と構成に関する実技を通して、造形教育への関心を高める。</p>	
<p>【授業における達成課題】 ・ 造形教育のねらいと幼児期における造形活動の大切さを理解し、説明ができる。 ・ 絵画、立体造形、色彩と構成についての基礎的な知識をもとに、表現意図を明確にして作品製作ができる。</p>	
<p>【使用教材・テキスト等】 図画工作 (近畿大学九州短期大学通信教育部) 鉛筆 色鉛筆 絵の具 のり はさみ 等</p>	
<p>【使用教室】 ①. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()</p>	
<p>【評価方法】 出席率10% 提出作品90%</p>	
<p>【備考】 作品は、知識理解 (色彩、構図) と創意工夫で評価する。</p>	
<p>【担当教員の実務経験の有無】 有 ・ 無</p>	
<p>【内 容】 小学校及び中学校 (美術) 教師</p>	

科目名		科目時間総数	教員名
図画工作Ⅱ		15時間 (7.5限)	青木 久美
限・時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と達成目標	
1限	1時間 オリエンテーション	図画工作のねらいと授業の位置づけについて理解する	
	2時間 鉛筆画の基礎	身近な画材である鉛筆の表現に興味を持つことができる	
2限	3時間 鉛筆による立体表現	鉛筆の特性を生かして線描による表現の工夫をすることができる	
	4時間 〃		
3限	5時間 色彩の基礎	画材の種類や特性、色彩の基本的な知識を理解する	
	6時間 〃		
4限	7時間 感情を表す構図と色彩	色彩の基礎をもとに、感情を表す構図と配色を考えることができる	
	8時間 〃		
5限	9時間 〃	表現意図に沿って、構図と色彩で感情を表すことができる	
	10時間 〃		
6限	11時間 文字のデザインと配色	文字のイメージでアルファベットの構成を考えることができる	
	12時間 〃		
7限	13時間 〃	文字の意味に沿った配色やデザインで絵画表現をすることができる	
	14時間 〃		
7.5限	15時間 鑑賞とまとめ	表現意図と表現方法の選択について理解を深めることができる	

授業計画表

こども未来 学科

MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 幼児と人間関係	教員名 阿部 温子
科目時間数 : 15時間 (7.5限)	授業の種類 : 講義・演習・実習
必修・選択の別 : 必修・選択	配当学年 : 1年次
開講時期 : 前期・後期・集中	
<p>【授業の目的・ねらい】 現代の幼児の人間関係の育ちに影響を与えている社会的要因について理解し、自分なりの考えを持ち、他人の意見と比較しながら学びを深めていくようにする。</p> <p>【こども未来学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○) 1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) ② 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力)</p> <p>【授業全体の内容の概要】 幼児を取り巻く人間関係を把握し、領域「人間関係」における基礎的知識を身に付け、他者との関係や集団との関係の中で人と関わる力が育つことを理解する。</p> <p>領域「人間関係」における基礎的事項を理解し、保育者の援助などについて具体的な知識・技術の基礎を習得できるようになる。</p>	
	使用教材
学生用・教員用・共用	幼児と人間関係
	出版社
	同文書院
<p>【使用教室】 1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()</p>	
<p>【評価方法】 授業態度10% 出席率10% レポート10% 期末試験70%</p>	
<p>【備考】 筆記試験は60点以上を合格とする</p>	
<p>【担当教員の実務経験の有無】 (有) ・ 無</p>	
<p>【内容】 幼稚園教諭としての実務経験</p>	

科目名		科目時間総数		教員名
幼児と人間関係		15時間	(7.5限)	阿部 温子
限・時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標		
1	限 1時間	領域「人間関係」とは？	現代社会と幼児の人間関係について知る	
	2時間	〃	領域「人間関係」のねらいと内容を知る	
2	限 3時間	保育者の関わり方について	個と集団の育ち、保育者の関わり方について理解する	
	4時間	〃	〃	
3	限 5時間	〃	保育者としての「集団づくり」について考察する	
	6時間	〃	対話から生まれる「協同的な学び」を知る	
4	限 7時間	幼児理解と評価	関わりを通じた幼児理解と評価の視点について知る	
	8時間	〃	〃	
5	限 9時間	多様な子ども支援	特別な支援を必要とする子ども理解と援助について学ぶ	
	10時間	〃	子どもの育ちに対する家庭の影響を考察する	
6	限 11時間	幼保・小の連携	幼児教育・保育と小学校との接続の課題を知る	
	12時間	〃	〃	
7	限 13時間	子どもにおける性の課題	性の多様性と保育者の援助について理解する	
	14時間	多文化共生世界における	幼児教育における多文化共生を考察する	
8	限 15時間	〃	試験へ向けて復習する	

授業計画表

こども未来 学科

MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 幼児と環境	教員名 松好 伸一		
科目時間数 : 15時間	7.5限 授業の種類 : 講義・演習・実習		
必修・選択の別 : 必修・選択	配当学年 : 1年次 開講時期 : 前期・後期・集中		
<p>【授業の目的・ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児教育の基本及び領域「環境」のねらいと内容を理解する。 ・ 「環境とかかわる力」の発達について理解する。 ・ 自然環境や社会環境などの具体的生活体験を重視した保育を設定し実践する。 <p>【こども未来学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○)</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) 2. 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力) <p>【授業全体の内容の概要】</p> <p>幼児教育の基本及び領域「環境」のねらい・内容・変遷について学修する。「環境にかかわる力」の発達について学修する。保育の実践例を通して具体的生活体験を重視した保育、特に子どもの自然とのかかわりを深める保育を自ら設定する。</p> <p>【授業における達成課題】</p> <p>自然環境や社会環境などの具体的生活体験を重視した保育、特に子どもの自然との関わりを深める保育を自ら設定して実践的に指導できる。</p>			
	使用教材	出版社	
	テキスト「最新保育講座9 保育内容「環境」	ミネルヴァ書房 (2019年)	
【使用教室】			
①. HR	2. 介護実習室	3. 家政実習室	4. 視聴覚室
5. PC実習室	6. 接遇実習室	7. その他 ()	
【評価方法】			
①. 筆記試験	②. レポート	3. 出席	④. 授業態度
5. 実技試験	⑥. その他 ()		
【備考】			
評価について：試験・レポートの点数、及び授業態度を勘案しA(80点以上)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59点以下)の4段階で評価する。			
【担当教員の実務経験の有無】 有・無			
【内容】 幼稚園教諭・保育士としての実務経験			

科目名		科目時間総数		教員名
幼児と環境		15時間	7.5限	松好 伸一
限数(時間)	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容		
1 限	1時間 2時間 第1章 幼児教育の基本(p11～p16) 春の生活と活動	環境を通しての教育(p17～p23) 保育者のさまざまな役割(p25～p32) 戸外活動「春の自然散策」虫探し&植物採集		
2 限	3時間 4時間 第2章 子どもの育ちと領域「環境」(p35～40)	具体的事物とのかかわり(p42～46)		
3 限	5時間 6時間 第3章 自然に親しみ、植物や生き物に触れる(p49～p52) 夏の生活と活動	自然を取り入れてあそぶ(p55～p61) 植物を育てる(p63～p70) 生き物に親しみ、命を大切に(p67～p70)		
4 限	7時間 8時間 第4章 ものや道具にかかわって遊ぶ(p73～p83) 秋の生活と活動	集団あそびの環境づくり ものの性質や仕組みに気づく(p86～p92)		
5 限	9時間 10時間 第5章 文字や標識、数量や図形に関心をもつ(p101～p110) 「環境」指導の実際	身近なものを大切に、公共心を育む(p95～p97)		
6 限	11時間 12時間 第6章 遊びや生活の情報に興味をもち、地域に親しむ(p127～)	数や数字に親しむ(p112～p124) 遊びのなかで情報を使う(p137～p145)		
7 限	13時間 14時間 第7章 子どもと環境のかかわりをとらえる視点(p155～p163)	日本の文化や異なる文化に触れる(p148～p152) 好奇心をもつ、探求する(p164～p169)		
7.5 限	15時間 第8章 幼児教育の現代的課題と領域「環境」(p173～p179) 冬の生活と活動	現代社会における子どもと環境(p180～p189) 理想の保育室の環境図 領域「環境」のまとめ		

授業計画表

こども未来 学科

MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 音楽表現技術	教員名 中村千佳 大縄方子	
科目時間数 : 15時間	7.5限 授業の種類 : 講義 ・ 演習(○) ・ 実習	
必修・選択の別 : (○)必修・選択	配当学年 : 2年次 開講時期 : 前期・後期・集中(○)	
<p>【授業の目的・ねらい】 「幼児と音楽表現」での知識を元に、より実践的な歌唱法、ピアノ演奏法、伴奏法、表現法を習得する。 教育現場に必要な声楽曲や弾き歌いのレパートリーを増やす。</p> <p>【こども未来学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○) 1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) 2. 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) (○)3. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力)</p> <p>【授業全体の内容の概要】 子どもの歌やコールユーブンゲンを歌うことでレパートリーを増やし、音程の感覚を養う。 楽典の作品解釈を行い、音楽表現の向上と音楽表現についても習得していく。</p> <p>【授業における達成課題】 当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識と技能を習得する。</p>		
	使用教材	出版社
【使用教室】		
1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 (○)7. その他(音楽室)		
【評価方法】		
1. 筆記試験 2. レポート (○)3. 出席 (○)4. 授業態度 (○)5. 実技試験 6. その他()		
【備考】		
評価について：実技試験及び出席、授業態度を勘案しA(80点以上)、B(79~70点)、C(69~60点)、D(59点以下)の4段階で評価する。		
【担当教員の実務経験の有無】 (○)有・無		
【内容】 ピアノ講師としてのとしての実務経験有り		

科目名		音楽表現技術		科目時間総数	15時間 (7.5限)	教員名	中村千佳 大縄方子
限数 (時間)	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容					
1限	1	コールユーブンゲン 六度音程	コンコーネ	歌曲	1年目からの継続で腹式呼吸・発声法を通して、イメージしながら表現することを習得する。四季折々に合わせて選曲しながら歌う。	幼児のうた (弾きたい)	
	2	↓				※ピアノ科目と連携しながら進める	
2限	3					①全員で模唱	
	4	↓	七度音程			↓ ②曲全体を通して歌えるように努力する	
3限	5					③歌と並行して片手ずつ弾く→階名で歌いながら弾く→歌詞をつけて歌ってみる ※左手も同様にやってみる	
	6						
4限	7	長音階・転調	コンコーネ3～5番			④両手の練習→歌詞をつけてみる 十分に弾き込んでから	
	8	↓				⑤一人ずつ弾き歌い確認→仕上げ	
5限	9					※どの曲も同様に進める	
	10	短音階・転調					
6限	11						
	12	ニ短調・ハ短調	コンコーネ6番				
7限	13						
	14	まとめ					
7.5限	15	↓	コンコーネ3～6番 まとめ			↓	

※コールユーブンゲン・コンコーネは、1曲終わるごとに個々に確認。
特にコールユーブンゲンは暗譜で確認する。

授業計画表

こども未来 学科

MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 児童館・放課後児童クラブの機能と運営	教員名 高橋 由紀
科目時間数 : 30時間 15限	授業の種類 : ☒ 講義 ・ ☐ 演習 ・ ☐ 実習
必修・選択の別 : 必修・ ☒ 選択	配当学年 : 1年次
開講時期 : 前期・ ☒ 後期・集中	
【授業の目的・ねらい】 児童福祉の基本理念である「健全育成」の考え方を理解するとともに、現代の子どもの健全育成上の課題について学ぶ。また、その理念を地域で具現する児童館・放課後児童クラブの機能を理解する。	
【こども未来学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○) ① 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) 2. 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力)	
【授業全体の内容の概要】 児童福祉法制定当時の経緯、児童福祉法に盛り込まれた健全育成の考え方、健全育成の具体的内容、現代の子どもの健全育成上の課題、遊びの健全育成上の意義。児童館の起源、施策の経緯、施設概要、施設規模別特徴、児童館の機能と運営上の留意点、児童館ガイドライン、児童館の課題と展望。放課後児童健全育成事業の概要、活動内容と実施上の留意点、放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準、放課後児童クラブ運営指針、都道府県認定資格研	
【授業における達成課題】 当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識を習得する。	
	使用教材
学生用・教員用 共通 "	施設実習ガイド 施設実習日誌
出版社	
萌文書林 岩手県保育士養成校	
【使用教室】 ①. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()	
【評価方法】 1. 筆記試験 ②. レポート 3. 出席 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他 ()	
【備考】 評価について：出席率80%以上、授業態度、提出物を勘案し、A(80点以上)、B(79~70点)C(69~60点)、D(59点以下)の4段階で評価する。	
【担当教員の実務経験の有無】 ☒ 有 無	
【内容】 児童厚生員としての実務経験	

科目名		科目時間総数		教員名
児童館・放課後児童クラブの機能と運営		30時間	15限	高橋 由紀
限数(時間)	教育に含むべき事項・テーマ		主な学習内容	
1限	1	児童館とは	イントロダクション～授業概要、評価方法等の説明～	
	2	児童館とは	イントロダクション～授業概要、評価方法等の説明～	
2限	3	健全育成と遊び(1)	子どもの「遊び・遊ぶ」を考える①～自分自身の子ども時代を振り返る～	
	4	健全育成と遊び(1)	子どもの「遊び・遊ぶ」を考える①～自分自身の子ども時代を振り返る～	
3限	5	健全育成と遊び(2)	子どもの「遊び・遊ぶ」を考える②～遊びの要素を考え、分類する～	
	6	健全育成と遊び(2)	子どもの「遊び・遊ぶ」を考える②～遊びの要素を考え、分類する～	
4限	7	健全育成と遊び(3)	子どもの「遊び・遊ぶ」を考える③～子どもにとっての「遊び・遊ぶ」の意味とは～	
	8	健全育成と遊び(3)	子どもの「遊び・遊ぶ」を考える③～子どもにとっての「遊び・遊ぶ」の意味とは～	
5限	9	児童館の源流	児童館の概要①～児童福祉法の理念と健全育成～	
	10	児童館の源流	児童館の概要①～児童福祉法の理念と健全育成～	
6限	11	児童館の法的根拠	児童館の概要②～法的根拠、種別と特徴、特性について～	
	12	児童館の法的根拠	児童館の概要②～法的根拠、種別と特徴、特性について～	
7限	13	放課後児童クラブの概要	放課後児童クラブ(放課後児童健全育成事業)の概要	
	14	放課後児童クラブの概要	放課後児童クラブ(放課後児童健全育成事業)の概要	
8限	15	児童館活動の実際(1)	児童館活動の実際①～大型児童館の機能と役割、活動の実際～	
	16	児童館活動の実際(2)	児童館活動の実際①～大型児童館の機能と役割、活動の実際～	
9限	17	児童館活動の実際(2)	児童館活動の実際②～小型児童館・児童センターの機能と役割、活動の実際～	
	18	児童館活動の実際(2)	児童館活動の実際②～小型児童館・児童センターの機能と役割、活動の実際～	
10限	19	児童厚生員の役割	児童健全育成を支える職員(児童厚生員等)の役割を考える	
	20	児童厚生員の役割	児童健全育成を支える職員(児童厚生員等)の役割を考える	
11限	21	児童館活動の内容と支援のあり方(1)	児童館ガイドラインを読み解く①	
	22	児童館活動の内容と支援のあり方(1)	児童館ガイドラインを読み解く①	
12限	23	児童館活動の内容と支援のあり方(2)	児童館ガイドラインを読み解く②	
	24	児童館活動の内容と支援のあり方(2)	児童館ガイドラインを読み解く②	
13限	25	児童館活動の内容と支援のあり方(3)	児童館ガイドラインを読み解く③	
	26	児童館活動の内容と支援のあり方(3)	児童館ガイドラインを読み解く③	
14限	27	放課後児童クラブの活動の実際	放課後児童クラブ運営指針を読み解く	
	28	放課後児童クラブの活動の実際	放課後児童クラブ運営指針を読み解く	
15限	29	まとめ	まとめ～児童館・放課後児童クラブの今日的課題とこれからの展望～	
	30	まとめ	まとめ～児童館・放課後児童クラブの今日的課題とこれからの展望～	

授業計画表

こども未来 学科

MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 児童館・放課後児童クラブの活動内容と指導法 I	教員名 高橋 由紀				
科目時間数 : 30時間 15限	授業の種類 : ☒ 講義 ・ ☐ 演習 ・ ☐ 実習				
必修・選択の別 : 必修・ ☒ 選択	配当学年 : 2年次 開講時期 : ☒ 前期・後期・集中				
<p>【授業の目的・ねらい】</p> <p>児童ソーシャルワークをベースとした、児童館・放課後児童クラブの日々の活動のながれとともに、行事の企画や、利用者への対応、地域とのかかわり等について学び、児童館・放課後児童クラブの業務の実際を把握する。</p> <p>【こども未来学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○)</p> <p>① 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応)</p> <p>2. 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力)</p> <p>3. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力)</p> <p>【授業全体の内容の概要】</p> <p>児童館・放課後児童クラブにおける日々の活動の流れ。年間を通じた活動の流れ、行事等の企画立案方法。小学生の仲間づくり、子育て支援活動、ボランティアの育成・支援等、児童館・放課後児童クラブの基本的活動の実施方法。</p> <p>【授業における達成課題】</p> <p>当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識を習得する。</p>					
学生用・教員用 共通 ”	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 33%;">使用教材</th> <th style="width: 33%;">出版社</th> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">保育実習事前指導 【保育実習Ⅲ】施設実習日誌</td> <td style="padding: 5px;">近畿大学九州短期大学通信教育部 ”</td> </tr> </table>	使用教材	出版社	保育実習事前指導 【保育実習Ⅲ】施設実習日誌	近畿大学九州短期大学通信教育部 ”
使用教材	出版社				
保育実習事前指導 【保育実習Ⅲ】施設実習日誌	近畿大学九州短期大学通信教育部 ”				
<p>【使用教室】</p> <p>①. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室</p> <p>5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()</p>					
<p>【評価方法】</p> <p>1. 筆記試験 ②. レポート 3. 出席 4. 授業態度</p> <p>5. 実技試験 6. その他 ()</p>					
<p>【備考】</p> <p>評価について：出席率80%以上、授業態度、提出物を勘案し、A(80点以上)、B(79～70点) C (69～60点)、D(59点以下)の4段階で評価する。</p>					
<p>【担当教員の実務経験の有無】 ☒ 有・無</p> <p>【内容】 児童厚生員としての実務経験</p>					

科目名 児童館・放課後児童クラブの活動内容と指導法 I		科目時間総数 30時間	15限	教員名 高橋 由紀
時間数		教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1 限	1	児童館、放課後児童クラブの基本的事項	イントロダクション～授業概要、評価方法等の説明～	
	2		イントロダクション～授業概要、評価方法等の説明～	
2 限	3	児童館と健全育成の理念	児童館の概要～児童福祉法と健全育成の理念～	
	4		児童館の概要～児童福祉法と健全育成の理念～	
3 限	5	放課後児童クラブの法的根拠	放課後児童クラブの概要～法的根拠、運営指針～	
	6		放課後児童クラブの概要～法的根拠、運営指針～	
4 限	7	児童館の活動内容と指導法（1）	児童館の活動内容①小学生対応	
	8		児童館の活動内容①小学生対応	
5 限	9	児童館の活動内容と指導法（2）	児童館の活動内容②子育て支援	
	10		児童館の活動内容②子育て支援	
6 限	11	児童館の活動内容と指導法（3）	児童館の活動内容③中高校生世代対応	
	12		児童館の活動内容③中高校生世代対応	
7 限	13	児童館の活動内容と指導法（4）	児童館の活動内容④配慮を要する子どもへの対応	
	14		児童館の活動内容④配慮を要する子どもへの対応	
8 限	15	児童館の活動内容と指導法（5）	児童館ガの活動内容⑤地域の子育て環境づくり	
	16		児童館ガの活動内容⑤地域の子育て環境づくり	
9 限	17	遊びのプログラムデザイン（1）	遊びを通した健全育成～遊びのプログラムデザイン①～	
	18		遊びを通した健全育成～遊びのプログラムデザイン①～	
10 限	19	遊びのプログラムデザイン（2）	遊びを通した健全育成～遊びのプログラムデザイン②～	
	20		遊びを通した健全育成～遊びのプログラムデザイン②～	
11 限	21	遊びのプログラムデザイン（3）	遊びを通した健全育成～遊びのプログラムデザイン③～	
	22		遊びを通した健全育成～遊びのプログラムデザイン③～	
12 限	23	児童館とプレイワーク	児童厚生員の役割①～プレイワーカーとしての役割を考える	
	24		児童厚生員の役割①～プレイワーカーとしての役割を考える	
13 限	25	児童館とソーシャルワーク	児童厚生員の役割②～児童ソーシャルワーカーとしての役割を考える～	
	26		児童厚生員の役割②～児童ソーシャルワーカーとしての役割を考える～	
14 限	27	児童館と関係機関等の連携	学校・家庭・地域との連携、ボランティアの育成	
	28		学校・家庭・地域との連携、ボランティアの育成	
15 限	29	まとめ	まとめ～児童館・放課後児童クラブが果たすべき役割とは～	
	30		まとめ～児童館・放課後児童クラブが果たすべき役割とは～	

授業計画表

こども未来 学科

MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 保育実習Ⅱ	教員名 橋場早苗
科目時間数 : 80時間 40限	授業の種類 : 講義 ・ 演習 ・ <u>実習</u>
必修・選択の別 : 必修・ <u>選択</u>	配当学年 : 2年次 開講時期 : 前期・後期・ <u>集中</u>
<p>【授業の目的・ねらい】 1. 今までの実習経験を活かしつつ、保育現場での実践体験を通して、保育者の働きを学び、保育者を志すものとしての自身の課題に向き合う。</p> <p>【こども未来学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○) 1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) <u>②</u> 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力)</p> <p>【授業全体の内容の概要】 保育所の役割や機能について具体的な実践を通して理解を深める。子どもの観察や関わりの視点を明確にすることを通して保育の理解を深める。既習の知識や経験を踏まえ、子ども保育及び保護者支援について総合的に学ぶ。保育の計画、実践、観察、記録及び自己評価等について実際に取り組み、理解を深める。保育士の業務内容や職業倫理について具体的な実践に結び付けて理解する。保育士としての自己の課題を明確化する。</p> <p>【授業における達成課題】 当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識と技術を習得する。</p>	
	使用教材
学生用・教員用 共通 ”	保育実習 保育園実習日誌
	出版社
	中央法規 県内保育者養成校
<p>【使用教室】 1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 <u>7. その他</u> (実習園</p>	
<p>【評価方法】 1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度 5. 実技試験 <u>6. その他</u> (実習評価</p>	
<p>【備考】 評価について：実習評価により、A (80点以上)、B (79～70点)、C (69～60点)、D (59点以下) の4段階で評価する。</p>	
<p>【担当教員の実務経験の有無】 <u>有</u> 無 【内容】 保育士としての実務経験</p>	

科目名		科目時間総数	教員名
保育実習Ⅱ		80時間	橋場早苗
限数(時間)	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
40限 80時間	子ども理解と援助方法	①子どもの育ちを理解し、それに応じた保育士の援助や役割、及び保育の内容や展開について学ぶ	
		②その場に応じた子どもへの対応と保育について理解する	
	・自由遊びの子ども		
	・延長保育の子どもの様子		
	・障がいを持つ子どもの支援の実際		
	・問題のある子どもや保護者に対する対応について		
	③母子・父子家庭への支援について		
	④延長保育・休日保育・育児相談など子育て支援事業の理解		
	部分実習	⑤保育の計画 指導案の立案	
	・実習指導者の指導に従い、子どもの様子、クラスの様子を理解し立案する。		
	・朝の会・帰りの会・設定保育・給食時間等の時間を受け持つ		
	全日実習	⑥保育の計画 指導案の立案	
	・保育士としての自己の課題を明確化する		
	・子どもの動き、心をくみ取り、臨機応変な保育方法を学ぶ		
	・個々の発達理解と集団としての行動の在り方の理解		
	自己課題達成	⑦家庭支援を含めた多様な保育所の機能や社会的役割とその意味について	
	⑧乳幼児保育について考え、子どもの最善の利益にかんがみた子ども観・保育観を身につける。		

授業計画表

こども未来 学科

MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 保育実習Ⅲ（児童館）	教員名 竹内 愛美								
科目時間数 ： 80時間 40限	授業の種類 ： 講義 ・ 演習 ・ <u>実習</u>								
必修・選択の別 ： 必修・ <u>選択</u>	配当学年 ： 2年次 開講時期 ： 前期・後期・ <u>集中</u>								
<p>【授業の目的・ねらい】 児童館・放課後児童クラブの現場で実際に業務を体験することで、児童館や放課後児童クラブの活動を理解するとともに、自分自身の適性を改めて見つめ直す。</p> <p>【こども未来学科ディプロマポリシーとの関連】 （※当該科目が最も関連する項目に○）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) <u>②</u> 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力) <p>【授業全体の内容の概要】 児童福祉施設等（保育所以外）の役割や機能について実践を通して、理解を深める。家庭と地域の生活実態にふれて、児童家庭福祉及び社会的養護に対する理解をもとに、保護者支援、家庭支援のための知識、技術、判断力を養う。保育士の業務内容や職業倫理について具体的な実践に結び付けて理解する。保育士としての自己の課題を明確化する。</p> <p>【授業における達成課題】 当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識と技術を習得する。</p>									
	使用教材								
学生用・教員用 共通	保育実習事前指導								
”	【保育実習Ⅲ】施設実習日誌								
	出版社								
	近畿大学九州短期大学通信教育部								
”	”								
<p>【使用教室】</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 25%;">1. HR</td> <td style="width: 25%;">2. 介護実習室</td> <td style="width: 25%;">3. 家政実習室</td> <td style="width: 25%;">4. 視聴覚室</td> </tr> <tr> <td>5. PC実習室</td> <td>6. 接遇実習室</td> <td><u>7. その他</u>（実習施設</td> <td></td> </tr> </table>		1. HR	2. 介護実習室	3. 家政実習室	4. 視聴覚室	5. PC実習室	6. 接遇実習室	<u>7. その他</u> （実習施設	
1. HR	2. 介護実習室	3. 家政実習室	4. 視聴覚室						
5. PC実習室	6. 接遇実習室	<u>7. その他</u> （実習施設							
<p>【評価方法】</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 25%;">1. 筆記試験</td> <td style="width: 25%;">2. レポート</td> <td style="width: 25%;">3. 出席</td> <td style="width: 25%;">4. 授業態度</td> </tr> <tr> <td>5. 実技試験</td> <td><u>6. その他</u>（実習評価</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		1. 筆記試験	2. レポート	3. 出席	4. 授業態度	5. 実技試験	<u>6. その他</u> （実習評価		
1. 筆記試験	2. レポート	3. 出席	4. 授業態度						
5. 実技試験	<u>6. その他</u> （実習評価								
<p>【備考】 評価について：実習評価により評価する。</p>									
<p>【担当教員の実務経験の有無】 <u>有</u> 無</p> <p>【内容】 保育士としての実務経験</p>									

科目名		科目時間総数		教員名
保育実習Ⅲ（児童館）		80時間	40限	竹内 愛美
限数（時間）	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容		
1 限	80時間 児童（利用者）の最善の利益への配慮について理解	実習施設の理念、目標等から、その意味を理解 保育士の援助の方法や対応から、その姿勢を理解		
	養護・支援全般に参加し、養護・支援技術を習得	施設の養護・支援活動に参加し、技術を習得 保育士の職務を理解し、日々の生活を通してその役割を習得		
	養護・支援全般に参加し、養護・支援技術を習得	施設の養護・支援活動に参加し、技術を習得 保育士の職務を理解し、日々の生活を通してその役割を習得		
	児童（利用者）の個人差、ニーズについて理解、その対応方法を習得	児童（利用者）に共感し、受容する態度を習得 児童（利用者）の個人差に応じた対応方法の習得		
	児童（利用者）の個人差、ニーズについて理解、その対応方法を習得	児童（利用者）の発達の違いに応じた支援方法を理解 生活環境に伴うニーズの理解		
	援助計画の理解	ケース記録の閲覧、個別支援計画の理解 立案方法の理解		
	家庭とのコミュニケーションの方法を具体的な事例を通して理解	日常の保護者との対応を通してコミュニケーションの方法を理解		
	地域社会との連携について具体的に理解	地域の子育てニーズと施設の役割について理解 地域支援事業等の実際に触れ、地域の保育ニーズを理解		
	施設保育士として職業倫理を理解	守秘義務の遵守について实际的に理解 保育士の具体的な職業倫理について理解		
	40 限	自己の課題を明確化する	施設保育士に必要な資質や支援技術について理解 実習を総括し、実習を通して得た問題や課題を確認	

授業計画表

こども未来 学科

MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 保育実習Ⅱ 事前事後指導	教員名 橋場早苗
科目時間数 : 10時間 (5限)	授業の種類 : 講義・演習・実習
必修・選択の別 : 必修・ <u>選択</u>	配当学年 : 2年次 開講時期 : <u>前期</u> ・後期・集中
<p>〔授業の目的・ねらい〕</p> <p>既習の内容を基盤に、保育所の理解、子どもや家庭への支援について理解を深め、指導計画の作成や記録などの保育の実践力を養う。</p> <p>〔こども未来学科ディプロマポリシーとの関連〕 (※当該科目が最も関連する項目に○)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) <u>②</u> 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力) <p>〔授業全体の内容の概要〕</p> <p>既習の内容を基盤に、保育所の理解、子どもや家庭への支援について理解を深め、指導計画の作成や記録などの保育の実践力を養う。</p> <p>〔授業における達成課題〕</p> <p>当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識を習得する。</p>	
	使用教材
学生用・教員用 共通 〃	保育実習 【保育実習Ⅱ】 保育園実習日誌
	出版社
	中央法規 県内保育士養成校統一様式
<p>【使用教室】</p> <p>1. <u>HR</u> 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室</p> <p>5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>1. 筆記試験 2. レポート <u>3. 出席</u> <u>4. 授業態度</u></p> <p>5. 実技試験 <u>6. その他</u> (学習状況 提出物等含む</p>	
<p>【備考】</p> <p>評価について：出席率80%以上、授業態度、提出物を勘案し、A(80点以上)、B(79～70点) C (69～60点)、D(59点以下)の4段階で評価する。</p>	
<p>【担当教員の実務経験の有無】 有・無</p> <p>【内容】 保育士としての実務経験</p>	

科目名		科目時間総数	教員名
保育実習Ⅱ事前事後指導		10時間	橋場早苗
限・時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1限	1時間	乳幼児の発達と理解	・既習の内容を基盤に、子どもの認知や社会性、言語を通して発達へ
	2時間		理解を深める
2限	3時間	乳幼児の発達と理解	・DVDや写真を通し、0歳～2歳、3歳～就学までの発達の変化を理解
	4時間	子どもへの理解	・事例を通しグループワークを行い、子どもの思いを知る
3限	5時間	子どもへの理解	・気になる子どもへの対応と援助について学ぶ
	6時間	保育所の機能と役割	・保育所の機能を生かした子育て支援と保護者・家庭への支援を学ぶ
4限	7時間	実習Ⅱの課題と指導計画	・実習Ⅰを踏まえたⅡの各自の実習課題と指導計画を作成する
	8時間		
5限	9時間	実習事後に向けた取り組み	・実習の振り返りと反省、今後の課題について
	10時間		・報告会に向けた取組みを理解する

授業計画表

こども未来 学科

MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 保育実習Ⅲ事前事後指導	教員名 竹内 愛美	
科目時間数 : 10時間 5限	授業の種類 : 講義 ・ (演習) ・ 実習	
必修・選択の別 : 必修・(選択)	配当学年 : 2年次 開講時期 : (前期)・後期・集中	
<p>〔授業の目的・ねらい〕</p> <p>既習の内容を基盤に、実習施設の理解、子ども（利用者）や家庭への支援について理解を深め、援助の方法や支援のあり方など実践力を養う。</p> <p>〔こども未来学科ディプロマポリシーとの関連〕 (※当該科目が最も関連する項目に○)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) ② 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力) <p>〔授業全体の内容の概要〕</p> <p>既習の内容を基盤に、実習施設の理解、子ども（利用者）や家庭への支援について理解を深め、援助の方法や支援のあり方など実践力を養う。</p> <p>〔授業における達成課題〕</p> <p>当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識を習得する。</p>		
	使用教材	出版社
学生用・教員用 共通 ”	保育実習事前指導 【保育実習Ⅲ】施設実習日誌	近畿大学九州短期大学通信教育部 ”
<p>〔使用教室〕</p> <p>①. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()</p>		
<p>〔評価方法〕</p> <p>①. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他 ()</p>		
<p>〔備考〕</p> <p>評価について：出席率80%以上、授業態度、提出物を勘案し、A(80点以上)、B(79～70点) C (69～60点)、D(59点以下)の4段階で評価する。</p>		
<p>〔担当教員の実務経験の有無〕 (有) 無</p> <p>〔内容〕 障害児施設職員としての実務経験</p>		

科目名 保育実習Ⅲ事前事後指導		科目時間総数 10時間	5限	教員名 竹内 愛美
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容		
1限	1時間	実習課題の設定	実習研究で学んだ実習に求められる内容に即した実習課題の設定	
	2時間		設定された実習課題を「動機」「課題達成方法」に分類し、実習計画に盛り込む	
2限	3時間		実習後における、自身の実習体験の振り返りと実習課題の考察	
	4時間		設定された実習課題を「動機」「課題達成方法」に分類し、実習計画に盛り込む	
3限	5時間 6時間	実習課題の考察	実習後における、自身の実習体験の振り返りと実習課題の考察	
4限	7時間 8時間	実習報告書の作成	実習報告会に向けた実習報告書の作成	
5限	9時間 10時間	実習報告会	実習報告会	

授業計画表

こども未来 学科

MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 教育方法論	教員名 阿部 温子
科目時間数 : 30時間 (15限)	授業の種類 : 講義・演習・実習
必修・選択の別 : 必修・選択	配当学年 : 1年次
開講時期 : 前期・後期・集中	
<p>【授業の目的・ねらい】 保育者として、これからの社会を担う子どもたちに求められる資質・能力を育成するために必要な教育の方法・技術、情報機器及び教材の活用に関する基礎的な知識・技術を身に付ける。</p> <p>【こども未来学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○) 1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) ② 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力)</p> <p>【授業全体の内容の概要】 幼児教育・保育の方法について教科書や資料を基に知識を得ながら、自分の考えを持ち、グループワークで他人の意見も聞きながら、理解を深めていくようにする。</p> <p>【授業における達成課題】 幼児教育・保育の方法について基礎的な知識を理解し、自分なりの考察ができるようになる。</p>	
	使用教材
学生用・教員用 共通	幼児教育・保育の方法のための教育方法論
	出版社
	ミネルヴァ書房
<p>【使用教室】 ①. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()</p>	
<p>【評価方法】 科目終末試験100%</p>	
<p>【備考】 レポート提出で科目終末試験の受験が可能</p>	
<p>【担当教員の実務経験の有無】 (有) ・ 無</p>	
<p>【内容】 幼稚園教諭としての実務経験</p>	

科目名		科目時間総数	教員名
教育方法論		30時間	(15限) 阿部 温子
限・時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1限	1時間	教育方法論の基礎理論	自分の保育観、子ども観について考察する
	2時間	〃	〃
2限	3時間	〃	フレーベルの理論について理解する
	4時間	〃	〃
3限	5時間	環境を通して行う教育	「環境」について理解する
	6時間	〃	子どもの育ちと環境について理解する
4限	7時間	〃	人的環境の保育者の役割について学ぶ
	8時間	〃	〃
5限	9時間	主体的・対話的で深い学び	アクティブラーニングについて理解する
	10時間	〃	〃
6限	11時間	〃	幼児教育と「主体的・対話的で深い学び」の関係を理解する
	12時間	〃	〃
7限	13時間	幼児教育の評価	幼児理解に基づいた評価の考え方と方法について知る
	14時間	〃	幼児理解の方法としての記録について理解する
8限	15時間	幼児教育・保育における遊び	幼稚園教育要領における遊びを学ぶ
	16時間	〃	「遊び」＝「学び」について考察する
9限	17時間	〃	豊かな遊びと学びについて理解する
	18時間	〃	〃
10限	19時間	幼児教育・保育における計画	カリキュラムマネジメントについて理解する
	20時間	〃	教育課程・全体的な計画、指導計画の立て方について理解する
11限	21時間	幼児教育・保育におけるICTの活用	幼稚園・保育園におけるICTの現状を知る
	22時間	〃	幼児教育・保育を支援するためのICT活用について考察する
12限	23時間	〃	情報活用能力と幼児教育・保育の現場での活用について探る
	24時間	〃	〃
13限	25時間	幼児教育・保育のこれから	子どもたちに求められる力について理解する
	26時間	〃	〃
14限	27時間	〃	保育の質を高めるための課題を知る
	28時間	〃	〃
15限	29時間	まとめ	レポート課題と試験対策について知る
	30時間	〃	〃

科目名		科目時間総数	教員名
教育相談		30時間 (15限)	川原 正広
限・時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1. 2限	1時間 2時間	幼児理解の基礎	教育相談の概要について説明できる。
	3時間 4時間	幼児理解に関する心理学理論	教育相談に関する心理学的理論について説明できる。
3. 4限	5時間 6時間	幼児理解に必要な教師の態度	幼児理解に必要な教師の態度について説明できる。
	7時間 8時間	観察を中心とした幼児理解の方法論	観察法を用いた幼児理解の方法について説明できる。
5. 6限	9時間 10時間	集団生活の中で育つ幼児の心	集団における幼児の心理的特徴について説明できる。
	11時間 12時間	幼児期における諸問題の理解と心理的支援	幼児期に起こる心理的問題について理解し、心理的支援の方法について説明できる。
7. 8限	13時間 14時間	幼児期における保護者の心理的理解	幼児期の子どもをもつ保護者の心理について説明できる。
	15時間 16時間	教育相談の必要性と教育相談における今日的課題	教育相談の必要性について理解し、教育相談の今日的課題について説明できる。
9. 10限	17時間 18時間	臨床心理学の基礎理論	臨床心理学の基礎的な理論について説明できる。
	19時間 20時間	幼児期における問題行動：早期発見と早期対応	幼児期における問題行動について理解し、問題行動の早期発見、早期対応の重要性について説明できる。
11. 12限	21時間 22時間	カウンセリングとカウンセリングマインド	カウンセリングとカウンセリングマインドの概念について説明できる。
	23時間 24時間	カウンセリングの技法	カウンセリングの技法について説明できる。
13. 14限	25時間 26時間	教育相談の実際（事例をもとに考える）	教育相談の実際について説明できる。
	27時間 28時間	様々な課題を抱える家族への支援	課題を抱えた家族に対する心理的支援の方法について説明できる。
15限	29時間 30時間	教育相談を進めるための組織的な整備と多職種との連携	教育相談に関する主な組織について理解し、多職種連携について説明できる。

授業計画表

こども未来 学科

MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 教育実習事前事後指導 I	教員名 鹿川 道子
科目時間数 : 18時間 9限	授業の種類 : 講義 ・ 演習 ・ 実習
必修・選択の別 : 必修・選択	配当学年 : 1年次 開講時期 : 前期・後期・集中
<p>【授業の目的・ねらい】</p> <p>①幼稚園の機能と役割について学ぶ。 ②幼稚園教諭の職務と役割を理解する。 ③幼稚園の子どもたちの発達段階を理解し計画を立案する。 ④教育実習の目的や意義を理解する。</p> <p style="text-align: right;">(※当該科目が最も関連する項目に○)</p> <p>【こども未来学科ディプロマポリシーとの関連】</p> <p>1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) ② 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力)</p> <p>【授業全体の内容の概要】</p> <p>幼稚園の機能や内容、教育実習の目的や意義を理解すること、専門教育科目で習得した知識や技能と幼稚園における教育実践とを具体的に統合することによって教育実習に対する意欲や課題意識を高める。</p> <p>【授業における達成課題】</p> <p>当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識を習得する。</p>	
	使用教材
学生用・教員用 共通	幼稚園事前実習指導
”	幼稚園実習実習日誌 (1回目)
	出版社
	近畿大学九州短期大学通信教育部
”	
<p>【使用教室】</p> <p>①. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>①. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他 ()</p>	
<p>【備考】</p> <p>評価について：試験の結果、A(80点以上)、B(79～70点)、C(69～60)、D(59点以下)の4段階で評価する。</p>	
<p>【担当教員の実務経験の有無】 有・無</p> <p>【内容】 幼稚園教諭としての実務経験</p>	

科目名		科目時間総数 18時間 9限		教員名 鹿川 道子
限数	時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1 限	1 時間	実習の基礎編	「幼児期で養うべき生きる力の基礎とは」	
	2 時間	実習の方法	実習の意義・目的・方法（事前学習）	
2 限	3 時間	幼稚園理解	幼稚園理解（機能と役割、法的根拠）	
	4 時間		幼稚園の1日の生活と遊びについて（発達段階の理解）	
	5 時間		保育の内容と実習形態（観察・部分・全日実習）	
3 限	6 時間	オリエンテーション	オリエンテーションに向けて（実習の準備、マナー）	
	7 時間		実習生の心構え9ヶ条・その他	
4 限	8 時間	実習課題の作成	実習課題について（課題の作成と提出）	
	9 時間		実習課題の活かし方	
5 限	10 時間	指導案の立案	指導計画の立案	
	11 時間		ねらい・題材設定の理由	
	12 時間		活動内容（教師の援助と指導上の留意点）	
7 限	13 時間	実習日誌の記録	反省・感想・今後の課題の書き方について	
	14 時間		幼稚園教育要領について（解説と理解）	
8 限	15 時間	実習事前準備の確認	保育教材準備と環境	
	16 時間		事前準備のまとめ	
9 限	17 時間			
	18 時間	まとめ	実習報告会用報告用紙の書き方について	

授業計画表

こども未来 学科

MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 教育実習事前事後指導Ⅱ	教員名 橋場 早苗									
科目時間数 : 15時間	7.5限 授業の種類 : 講義 ・ 演習 ・ 実習									
必修・選択の別 : 必修・選択	配当学年 : 1年次 開講時期 : 前期・後期・集中									
<p>【授業の目的・ねらい】</p> <p>①幼稚園の機能と役割について学ぶ。 ②幼稚園教諭の職務と役割を理解する。 ③幼稚園の子どもたちの発達段階を理解し計画を立案する。 ④教育実習の目的や意義を理解する。</p> <p>【こども未来学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○)</p> <p>1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) ② 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力)</p> <p>【授業全体の内容の概要】</p> <p>幼稚園の機能や内容、教育実習の目的や意義を理解すること、専門教育科目で習得した知識や技能と幼稚園における教育実践とを具体的に統合することによって教育実習に対する意欲や課題意識を高める。</p> <p>【授業における達成課題】</p> <p>当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識を習得する。</p>										
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;"></th> <th style="width: 40%;">使用教材</th> <th style="width: 30%;">出版社</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="padding: 5px;">学生用・教員用 共通</td> <td style="padding: 5px;">幼稚園事前実習指導</td> <td style="padding: 5px;">近畿大学九州短期大学通信教育部</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">”</td> <td style="padding: 5px;">幼稚園実習実習日誌(1回目)</td> <td style="padding: 5px;">”</td> </tr> </tbody> </table>		使用教材	出版社	学生用・教員用 共通	幼稚園事前実習指導	近畿大学九州短期大学通信教育部	”	幼稚園実習実習日誌(1回目)	”
	使用教材	出版社								
学生用・教員用 共通	幼稚園事前実習指導	近畿大学九州短期大学通信教育部								
”	幼稚園実習実習日誌(1回目)	”								
<p>【使用教室】</p> <p>①. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()</p>										
<p>【評価方法】</p> <p>①. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他 ()</p>										
<p>【備考】</p> <p>評価について：試験の結果、A(80点以上)、B(79～70点)、C(69～60)、D(59点以下)の4段階で評価する。</p>										
<p>【担当教員の実務経験の有無】 (有)・無</p> <p>【内容】 幼稚園教諭としての実務経験</p>										

科目名		科目時間総数		教員名
教育実習事前事後指導		15時間	7.5限	橋場 早苗
限数	時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容	
1限	1時間 2時間	幼稚園実習の内容理解	スクーリングの日程・内容についての説明	
2限	3時間 4時間		ビデオ視聴「幼稚園の一日」観察と考察（振り返り）	
3限	5時間 6時間		①幼稚園実習で学ぶこと ②幼稚園現場での新しい動き	
4限	7時間 8時間	実習事前準備、心構えの再確認	幼稚園教育の特色・実習の心構え等の確認テスト	
5限	9時間 10時間	実習事後についての理解	実習事後について・実習報告書の記入の仕方・実習のお礼状の書き	
6限	11時間 12時間		・実習評価について・実習事後の園とのやり取りについて	
7限	13時間 14時間	実習の実際と演習・まとめ	グループワーク・模擬保育（子どもの心を引き付ける工夫）	
7.5限	15時間		まとめ	

科目名		科目時間総数	教員名
教育実習		80時間	橋場早苗
限数(時間)	教育に含むべき事項・テーマ	40限	主な学習内容
40	限80時間	<p>①観察・参加実習(園や幼児の様子を観察する)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園の1日の生活の流れを理解する。 ・幼児の名前を覚え、園生活での様子を観察する。 ・幼児同士のかかわりや友達関係について観察する。 <p>②観察・参加実習(幼児に対する教師のかかわりの仕方を観察する)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師が幼児にどのようにかかわっているのかを観察する。 ・クラスの特徴や教師の援助について理解する。 ・幼稚園教諭の職務と役割を学ぶ。 <p>③観察・参加実習(1人1人の幼児理解と活動内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遊びや生活の場面での幼児の発達段階を知る。 ・生活の中でどのような活動がどのような方法で行われているのかを学ぶ。 <p>④観察・参加実習(教材や資料などを把握する)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境設定の工夫や留意点について学ぶ ・教材や用具の選択や数量の確保がどのように行われているのかを知る。 <p>⑤部分実習…保育の一部分を担当する実習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝の活動の部分実習…出席確認・朝のうた・手遊び等 ・中心活動の部分実習…製作・ゲーム・体操等 ・昼食の部分実習…給食の準備・お当番活動・食事の援助等 ・帰りの活動の部分実習…絵本・紙芝居・手遊び・帰りのうた(等) <p>⑥部分実習(部分実習の留意点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担任教師の指導のもとに指導計画を立案する。 ・幼児の実態を把握し、実態に即した活動内容を考える。 ・活動の意味や目的を明確にする。 ・前後の活動から部分指導を行う関連性を考える。 <p>⑦全日実習…1日の保育をすべて担当する実習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担任教師の指導のもとに指導計画を立案する。 ・「ねらい」「内容」「環境構成」「活動」「援助」を考える。 ・幼児の興味・関心を考慮し適切な指導を心がける。 <p>⑧実習の評価・反省</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習を振り返り、自己評価・反省・今後の課題を探る。 	
	<p>「観察・参加実習」</p> <p>I. 幼児の姿を理解する</p> <p>II. 保育者の姿から保育の手がかりを得る</p> <p>III. 教材や用具などの環境を把握する</p> <p>iv. 幼児の実態に合わせた保育を考える</p>		
	<p>「部分実習」保育の一部分を担当する実習…1人1人の幼児が充実した楽しい生活を過ごせるような保育内容を考える。</p>		
	<p>「全日実習」1日の保育をすべてを担当する実習…一日の流れを意識し、指導計画を立案する。</p>		
	<p>実習のまとめ</p>		

科目名		科目時間総数	教員名
教育実習		80時間	橋場早苗
限数(時間)	教育に含むべき事項・テーマ	40限	主な学習内容
40限	80時間		
	「観察・参加実習」 Ⅰ. 幼児の姿を理解する Ⅱ. 保育者の姿から保育の手がかりを得る Ⅲ. 教材や用具などの環境を把握する Ⅳ. 幼児の実態に合わせた保育を考える		①観察・参加実習（幼児に対する教師のかかわりの仕方を観察する）
			・教師が幼児にどのようにかかわっているのかを観察する。
			・クラスの特徴や教師の援助について理解する。
			・幼稚園教諭の職務と役割を学ぶ。
			②観察・参加実習（1人1人の幼児理解と活動内容）
			・遊びや生活の場面での幼児の発達段階を知る。
			・生活の中でどのような活動がどのような方法で行われているのかを学ぶ。
			・幼児同士のかかわりや友達関係について観察する。
			③観察・参加実習（教材や資料などを把握する）
			・環境設定の工夫や留意点について学ぶ
		・教材や用具の選択や数量の確保がどのように行われているのかを知る。	
	「部分実習」保育の一部分を担当する実習…1人1人の幼児が充実した楽しい生活を過ごせるような保育内容を考える。		④部分実習…保育の一部分を担当する実習
			・朝の活動の部分実習…出席確認・朝のうた・手遊び等
			・中心活動の部分実習…製作・ゲーム・体操等
			・昼食の部分実習…給食の準備・お当番活動・食事の援助等
			・帰りの活動の部分実習…絵本・紙芝居・手遊び・帰りのうた（等）
			⑤部分実習（部分実習の留意点）
			・担任教師の指導のもとに指導計画を立案する。
			・幼児の実態を把握し、実態に即した活動内容を考える。
	「全日実習」1日の保育をすべてを担当する実習…一日の流れを意識し、指導計画を立案する。		⑦全日実習…1日の保育をすべてを担当する実習
			・担任教師の指導のもとに指導計画を立案する。
			・「ねらい」「内容」「環境構成」「活動」「援助」を考える。
			・幼児の興味・関心を考慮し適切な指導を心がける。
			・発達段階を考慮し各年齢で成長の過程に沿った活動を取り入れる。
			・時期（季節感）を考えた活動を準備する。
		・十分な教材研究を行い活動の展開を予測し、ねらいを達成できるようにする。	
	実習のまとめ		⑧実習の評価・反省
			・実習を振り返り、自己評価・反省・今後の課題を探る。

授業計画表

こども未来 学科

MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 実習研究演習	教員名 阿部真由美	
科目時間数 : 90時間 45限	授業の種類 : 講義 ・ 演習 ・ 実習	
必修・選択の別 : 必修・選択	配当学年 : 1年次 開講時期 : 前期・後期・集中	
<p>【授業の目的・ねらい】</p> <p>①自らが調査研究・体験的学習を実践することを通して、実習の内容を理解し実習に向けての基礎的知識や技能を習得する。</p> <p>②乳幼児や施設利用者の理解を深め、専門職としての保育者の使命や役割を学ぶ。</p> <p style="text-align: right;">(※当該科目が最も関連する項目に○)</p> <p>【こども未来学科ディプロマポリシーとの関連】</p> <p>1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応)</p> <p>②幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力)</p> <p>3. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力)</p> <p>【授業全体の内容の概要】</p> <p>調査や体験的学習を通して、保育に関する現状や子どもを取り巻く環境、子どもの姿を学び、実習に向けての基礎的知識や技能を習得する。</p> <p>【授業における達成課題】</p> <p>当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な知識と技術を習得する。</p>		
	使用教材	出版社
プリント資料適宜配布		
<p>【使用教室】</p> <p>①. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室</p> <p>5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()</p>		
<p>【評価方法】</p> <p>1. 筆記試験 2. レポート ③. 出席 ④. 授業態度</p> <p>⑤. 実技試験 ⑥. その他 (学習状況 ※実習評価に含める</p>		
<p>【備考】</p> <p>評価について：試験の結果、A (80点以上)、B (79～70点)、C (69～60点) D (59点以下) の4段階で評価する。</p>		
<p>【担当教員の実務経験の有無】 有 ・ 無</p>		
<p>【内容】 幼稚園教諭、保育士としての実務経験</p>		

科目名		実習研究演習		科目時間総数	90時間	45限	教員名	阿部真由美	
限数(時間)		教育に含むべき事項・テーマ		主な学習内容					
1	限	1時間	幼稚園	ワーク①-1「幼稚園」ワーク①-2「幼稚園教諭とは」					
		2時間		調査報告会					
2	限	3時間		実習保育教材「名札製作」					
		4時間		〃					
3	限	5時間		体験実習事前準備「幼稚園の1日の流れ」「日誌の記録の仕方」					
		6時間		体験実習(月が丘幼稚園)…幼稚園の生活を体験する					
4	限	7時間		ワーク①-3 体験実習のまとめと報告会(日誌提出)					
		8時間		郷土と文化	ワーク②「風土・風習・伝統文化・祭事・方言…」				
5	限	9時間	県立図書館での調査研究…地元の地域・文化を知る						
		10時間	郷土と文化「壁新聞作成」						
6	限	11時間	障がい者施設 交流と体験						
		12時間							
7	限	13時間							
		14時間							
8	限	15時間	↓						
9	限	16時間	子ども	ワーク③-1「3・4・5歳児について」					
		17時間		観察実習(月が丘幼稚園)…各年齢の遊びの様子を観察する					
		18時間		ワーク③-2 観察実習のまとめと報告会(日誌提出)					
10	限	19時間	児童福祉施設	ワーク④-1「児童福祉施設について」					
		20時間		施設見学(岩手県立療育センター)					
	11	限		21時間	〃				
				22時間	〃				
12	限	23時間	ワーク④-2 施設見学のまとめと報告会						
		24時間	児童養護施設	ワーク⑤-1「児童養護施設について」					
13	限	25時間		施設見学(青雲荘)					
		26時間		ワーク⑤-2 施設見学のまとめと報告会					
14	限	27時間	季節と遊び	ワーク⑥-1「季節感のある遊びと生活」					
		28時間		体験実習(月が丘幼稚園・なでしこ幼稚園その他)					
	15	限		29時間	ワーク⑥-2 体験実習のまとめと報告会(日誌提出)				

限数（時間）		教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容
	30時間	障害と障害者支援施設	ワーク⑦-1「障害について」
16	限 31時間		ワーク⑦-2「障害者支援施設について」
	32時間		施設見学（夢つむぎ城南）
17	限 33時間		ワーク⑦-3 施設見学のまとめと報告会
	34時間	保育所	ワーク⑧-1「保育所と保育士」
18	限 35時間		ワーク⑧-2「0, 1, 2歳児について」
	36時間		体験実習（保育所）
19	限 37時間		〃
	38時間		〃
20	限 39時間		ワーク⑧-3 体験実習のまとめと報告会
	40時間	まとめ	演習の振り返り（レポート提出）
21	限 41時間	子育て支援	ワーク①-1「子育て支援とは」
	42時間		ワーク①-2「子育て支援施設について」
22	限 43時間		施設見学（いわて子育てネット、子育て支援センター他）
	44時間		ワーク①-3 施設見学のまとめと報告会
23	限 45時間	応急手当	上級救命救急講習会
	46時間		
24	限 47時間	教育実習事前学習	ワーク②-1「実習幼稚園の概要調査」
	48時間		ワーク②-2「こどもと保育者のかかわりと援助」
25	限 49時間		体験実習（実習園または月が丘幼稚園）…実習園の様子を知る
	50時間		〃
26	限 51時間		〃
	52時間		ワーク②-3 体験実習のまとめと報告会（日誌提出）
27	限 53時間	教育実習事前準備	ワーク③-1 予想される子どもの姿に応じた教材研究
	54時間		教材研究、製作、指導案作成、ロールプレイング
28	限 55時間		
	56時間		ワーク③-2 教材発表会（指導案提出）
29	限 57時間	教育実習事後学習	教育実習報告書作成（報告書提出）
	58時間		実習報告会
30	限 59時間		〃
	60時間		教育実習事後レポート作成
31	限 61時間		教育実習の反省・考察・今後の課題

限数（時間）		教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容
	62時間	授産施設の学び	障がい者施設 交流と体験
32	限 63時間		
	64時間		
33	限 65時間		
	66時間		
34	限 67時間		
	68時間		保育実習（施設） 事前学習
35	限 69時間	実習施設見学（またはボランティア活動）	
	70時間	〃	
36	限 71時間	〃	
	72時間	ワーク④-2 「施設見学の感想と考察」	
37	限 73時間	ワーク④-3 「実習課題の作成」	
	74時間	デイリープログラム、指導案作成	
38	限 75時間	介護実習（介護の基本）	
	76時間	保育実習報告書作成（報告書提出）	
39	限 77時間	保育実習（施設） 事後学習	
	78時間		〃
40	限 79時間		保育実習の振り返り・反省・考察・今後の課題
	80時間		演習の振り返り（レポート提出）
41	限 81時間	まとめ	
	82時間	教育実習事前学習	ワーク①-1 「実習幼稚園の概要調査」
42	限 83時間		ワーク①-2 「子どもの姿に応じた指導案作成」
	84時間		ワーク①-3 予想される子どもの姿に応じた教材研究・製作
43	限 85時間	教育実習事後学習	教育実習報告書作成（報告書提出）
	86時間		実習報告会
44	限 87時間		〃
	88時間		教育実習事後レポート作成
45	限 89時間		教育実習の振り返り・反省・考察・今後の課題
	90時間		

授業計画表

こども未来 学科

MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 就職研究	教員名 竹内 愛美	
科目時間数 : 10時間	5限 授業の種類 : 講義 ・ 演習 ・ 実習	
必修・選択の別 : 必修・選択	配当学年 : 2年次 開講時期 : 前期・後期・集中	
<p>〔授業の目的・ねらい〕</p> <p>働く意義を理解し、自己分析を行い、志望動機や自己PRを明確にし、就職活動、採用試験に臨む。</p> <p>〔こども未来学科ディプロマポリシーとの関連〕 (※当該科目が最も関連する項目に○)</p> <p>① 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応)</p> <p>2. 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力)</p> <p>3. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力)</p> <p>〔授業全体の内容の概要〕</p> <p>働く意義を理解し、自己分析を行い、志望動機や自己PRを明確にし、就職活動、採用試験に臨む。</p> <p>〔授業における達成課題〕</p> <p>自ら就職活動に意欲的に取り組み、就職を勝ち取ること。</p>		
	使用教材	出版社
プリント資料適宜配布		
<p>【使用教室】</p> <p>①. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室</p> <p>5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()</p>		
<p>【評価方法】</p> <p>1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度</p> <p>5. 実技試験 6. その他 ()</p>		
<p>【備考】</p> <p>評価について：出席率80%以上、授業態度、提出物を勘案し、A(80点以上)、B(79～70点) C (69～60点)、D(59点以下)の4段階で評価する。</p>		
<p>【担当教員の実務経験の有無】 (有・無)</p> <p>【内容】 保育士・幼稚園教諭としての実務経験 (採用試験面接担当)</p>		

科目名		就職研究		科目時間総数	10時間	5限	教員名	竹内 愛美
時間数	教育に含むべき事項・テーマ			主な学習内容				
1限	1時間 2時間	就職をすることについて学ぶ		<ul style="list-style-type: none"> ・校内の就職の流れと手続について知る ・自己覚知 自分の良い点・改善点の理解 				
2限	3時間 4時間			<ul style="list-style-type: none"> ・就職の職種・就職する地域・就職情報の取り入れ方 ・ハローワークの登録のしかたについて ・正しい履歴書の記入の仕方 				
3限	5時間 6時間			<ul style="list-style-type: none"> 自己PRの書き方 練習 志望動機の書き方練習 ・面接について学ぶ 				
4限	7時間 8時間			<ul style="list-style-type: none"> 実際に練習し、考えをまとめて言えるようにする ・就職希望先見学について（報告書の書き方） ・内定後のお礼状の書き方について 				
5限	9時間 10時間			<ul style="list-style-type: none"> 下書きをする 清書をする ・内定後の過ごし方について 				

授業計画表

こども未来 学科

MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 音楽 I (器楽)	教員名 岩泉 昌子	
科目時間数 : 60時間 (30限)	授業の種類 : 講義、演習・実習	
必修・選択の別 : ☒ 必修・選択	配当学年 : 1年 開講時期 : ☒ 前期・ ☒ 後期・集中	
<p>【授業の目的・ねらい】 保育の現場に必要なピアノの基礎を段階的に習得することを目指す。</p> <p>【こども未来学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○) ① 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) 2. 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にできる力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力)</p> <p>【授業全体の内容の概要】 ピアノ奏法についての基礎技能を身に付け、保育者として必要な演奏力を身に付ける。特に1年次においては正確な読譜力と音楽を自分で表現することの楽しさを得ることを目指す。</p> <p>【授業における達成課題】 当該科目において、保育専門職として保育実践に必要な技能を習得する。</p>		
	使用教材	出版社
	音楽 ピアノ教本	近畿大学九州短期大学
<p>【使用教室】 1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 ☒ 7. その他 (☒ 音楽室)</p>		
<p>【評価方法】 1. 筆記試験 2. レポート ☒ 3. 出席 ☒ 4. 授業態度 ☒ 5. 実技試験 6. その他 ()</p>		
<p>【備考】</p>		
<p>【担当教員の実務経験の有無】 ☒ 有 ・ 無</p>		
<p>【担当教員の実務経験の有無】 ピアノ講師</p>		

科目名		科目時間総数	教員名
音楽(器楽)		60時間 (30限)	岩泉 昌子
限・時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1限	1時間 2時間	ピアノ実技	【幼児と音楽表現】ピアノ実技の位置づけについて理解する
2限	3時間 4時間		音価の練習 5指の練習 ハ長調の音階 左手のコード
3限	5時間 6時間		ちょうちょう かえるの合唱 バイエル48番
4限	7時間 8時間		バイエル66番
5限	9時間 10時間		むすんでひらいて いとまき
6限	11時間 12時間		うさぎとかめ
7限	13時間 14時間		虫の声
8限	15時間 16時間		やきいもグーチーパー
9限	17時間 18時間		5指の練習ト長調 ト長調音階
10限	19時間 20時間		ちょうちょう
11限	21時間 22時間		ビーマーチ
12限	23時間 24時間		きらきらぼし
13限	25時間 26時間		バイエル97番
14限	27時間 28時間		バイエル73番
15限	29時間 30時間		バイエル78番
16限	31時間 32時間		5指の練習ヘ長調 ヘ長調音階
17限	33時間 34時間		左手のコード チューリップ
18限	35時間 36時間		ぶんぶんぶん
19限	37時間 38時間		ジングルベル
20限	39時間 40時間		お正月
21限	41時間 42時間		5指の練習ニ長調
22限	43時間 44時間		ニ長調音階 左手のコード
23限	45時間 46時間		とんとんとんひげじいさん
24限	47時間 48時間		おててを洗いましょう
25限	49時間 50時間		しゃぼん玉
26限	51時間 52時間		ミッキーマウスマーチ
27限	53時間 54時間		メリーさんのひつじ
28限	55時間 56時間		バイエル96番
29限	57時間 58時間		バイエル80番
30限	59時間 60時間		バイエル100番

授業計画表

こども未来 学科

MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 <p style="text-align: center;">音楽 I (声楽)</p>	教員名 <p style="text-align: center;">永井 淳子</p>									
科目時間数: 60時間 (30限)	授業の種類: 講義 ・ 演習 ・ 実習									
必修・選択の別: 必修・選択	配当学年: 1年次									
開講時期: 前期・後期・集中										
<p>【授業の目的・ねらい】</p> <p>「歌」は幼児教育に欠かせないものであり、保育者自身が範を示しうるために必要な技術を身につける。</p> <p>【こども未来学科ディプロマポリシーとの関連】 (※当該科目が最も関連する項目に○)</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる人(自己研鑽、臨機応変な対応) 2. 幅広い視野で保育を実践できる人(保育理念、保育観、実践力、応用力) 3. 地域の文化を大切にする力を持ち、豊かな人間性を備えた人(創造性、表現力) <p>【授業全体の内容の概要】</p> <p>正しい発声法と読譜力の習得を目指し、練習曲を中心にグループ又は個人指導を行う。</p> <p>【授業における達成課題】</p> <p>幼児教育の現場で保育者自身が範を示せるように、楽しくはっきりと声を出して歌えるようにする。</p>										
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;"></th> <th style="width: 40%;">使用教材</th> <th style="width: 30%;">出版社</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="padding: 5px;">学生用・教員用共通</td> <td style="padding: 5px;">音楽 I (声楽教本・ピアノ教本)</td> <td style="padding: 5px;">近畿大学九州短期大学通信教育部</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px; text-align: center;">〃</td> <td style="padding: 5px;">音楽 I レッスンカード</td> <td style="padding: 5px; text-align: center;">〃</td> </tr> </tbody> </table>		使用教材	出版社	学生用・教員用共通	音楽 I (声楽教本・ピアノ教本)	近畿大学九州短期大学通信教育部	〃	音楽 I レッスンカード	〃
	使用教材	出版社								
学生用・教員用共通	音楽 I (声楽教本・ピアノ教本)	近畿大学九州短期大学通信教育部								
〃	音楽 I レッスンカード	〃								
<p>【使用教室】</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 25%;">1. HR</td> <td style="width: 25%;">2. 介護実習室</td> <td style="width: 25%;">3. 家政実習室</td> <td style="width: 25%;">4. 視聴覚室</td> </tr> <tr> <td>5. PC実習室</td> <td>6. 接遇実習室</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">7. その他 (</td> </tr> </table>		1. HR	2. 介護実習室	3. 家政実習室	4. 視聴覚室	5. PC実習室	6. 接遇実習室	7. その他 (		
1. HR	2. 介護実習室	3. 家政実習室	4. 視聴覚室							
5. PC実習室	6. 接遇実習室	7. その他 (								
<p>【評価方法】</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 25%;">1. 筆記試験</td> <td style="width: 25%;">2. レポート</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">3. 出席</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">4. 授業態度</td> </tr> <tr> <td colspan="2">5. 実技試験</td> <td colspan="2">6. その他 (</td> </tr> </table>		1. 筆記試験	2. レポート	3. 出席	4. 授業態度	5. 実技試験		6. その他 (		
1. 筆記試験	2. レポート	3. 出席	4. 授業態度							
5. 実技試験		6. その他 (								
<p>【備考】</p> <p><単位認定条件></p> <p>実技試験80点+授業態度等20点=100点満点 60点以上を合格とする</p>										
<p>【担当教員の実務経験の有無】 (有) ・ 無</p> <p><内容> 中学・声楽・ピアノ講師</p>										

科目名 音楽（声楽）		科目時間総数 60時間	教員名 永井 淳子	
限・時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と達成目標と到達目標		
1 限 1時間 2時間	2度音程・3度音程	コールユーブンゲン1～3	★随時全体練習後個別チェックあり	
2 限 3時間 4時間	3度音程	コールユーブンゲン4～6	曲集の様々な曲を歌う	
3 限 5時間 6時間	4度音程	コールユーブンゲン9～15ab	花	はるがきて～その他
4 限 7時間 8時間	5度音程	コールユーブンゲン18～19		
5 限 9時間 10時間		コールユーブンゲン20～23		
6 限 11時間 12時間				
7 限 13時間 14時間			コンコーネ1	
8 限 15時間 16時間				
9 限 17時間 18時間				
10 限 19時間 20時間				
11 限 21時間 22時間			コンコーネ2	
12 限 23時間 24時間				
13 限 25時間 26時間				
14 限 27時間 28時間				幼児の歌を歌う
15 限 29時間 30時間				先生とおともだち～かたつむり
16 限 31時間 32時間	6度音程	コールユーブンゲン25～26	コンコーネ3	
17 限 33時間 34時間	7度音程	コールユーブンゲン28～32		
18 限 35時間 36時間	転調	コールユーブンゲン34～40		
19 限 37時間 38時間				
20 限 39時間 40時間			コンコーネ5	
21 限 41時間 42時間				
22 限 43時間 44時間				
23 限 45時間 46時間				
24 限 47時間 48時間				
25 限 49時間 50時間				
26 限 51時間 52時間				
27 限 53時間 54時間				
28 限 55時間 56時間				
29 限 57時間 58時間				
30 限 59時間 60時間				

科目名		科目時間総数	教員名
音楽Ⅱ（器楽）		15時間 (7.5限)	中村 千佳
現・時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1限 1時間 2時間	ピアノ実技	【音楽表現技術】おはながわらった とけいのうた うみ	
2限 3時間 4時間	両手で弾けるようにする	おばけなんてないさ つき どんぐりころころ たき火	
3限 5時間 6時間	表情豊かに弾き歌いできるようにする	きよしこの夜 雪のペンキやさん 一年生になったら おはなし	
4限 7時間 8時間		ハッピーバースデー アイアイ	
5限 9時間 10時間		ありさんのおはなし 犬のおまわりさん おうま おつかいありさん	
6限 11時間 12時間		おんまはみんな かわいいかくれんぼ ぞうさん 森のくまさん	
7限 13時間 14時間		かもつ列車 セっけんさん 幸せなら手をたたこう	
7.50限 15時間		おもちゃのマーチ ともだち讃歌	

授業計画表

こども未来 学科

MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 音楽Ⅱ（声楽）	教員名 大縄方子
科目時間数 ： 15時間 (7.5限)	授業の種類 ： 講義 ・ <u>演習</u> ・ 実習
必修・選択の別 ： <u>必修</u> ・選択	配当学年 ：2年次 開講時期 ： <u>前期</u> ・ <u>後期</u> ・集中
【授業の目的・ねらい】 「歌」は幼児教育に欠かせないものであり、保育者自身が範を示しうるために必要な技術を身につける。	
【ディプロマポリシーとの関連】 1. 向上心を持ち自ら学び、適切な判断ができる。（自己研鑽、臨機応変な対応） 2. 幅広い視野で保育を実践できる。（保育理念、保育観、実践力、応用力） ③ 地域の文化を大切に作る心を持ち、豊かな人間性を備えている。（創造性、表現力）	
【授業全体の内容の概要】 テキストの「子供の歌」を中心に、ピアノ伴奏や歌唱のグループレッスン・個人レッスンを行う。	
【授業における達成課題】 幼児教育の現場で保育者自身が範を示せるように、伴奏を弾きながら楽しくはっきりと声を出して歌うことができるようにする。	
【使用教材・テキスト等】 音楽 声楽教本 近畿大学九州短期大学通信教育部出版 音楽 ピアノ教本 近畿大学九州短期大学通信教育部出版	
【使用教室】 1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 <u>7. その他</u> （音楽室A・B）	
【評価方法】 出席率10% 授業態度10% 実技試験80% （満点：100点 60点以上合格）	
【備考】	
【担当教員の実務経験の有無】 <u>有</u> ・ 無	
【内容】 声楽・ピアノ講師	

科目名	科目時間総数	教員名
音楽Ⅱ（声楽）	15時間（7.5限）	大縄方子
限・時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と達成目標
1時間	幼児教育の現場で実践するために、 テキストの「子供の歌」をできるだけ 多く弾き歌いできるようにする。	「めだかの学校」「山の音楽家」（達成目標：弾き歌いができる）
1限 2時間		「とんぼのめがね」「先生とおともだち」（ 〃 ）
3時間		「こどりのうた」「めだかの学校」（ 〃 ）
2限 4時間		「こいのぼり」「とんぼのめがね」（ 〃 ）
5時間		「あわてんぼうのサンタクロース」「こどりのうた」（ 〃 ）
3限 6時間		「おもちゃのチャチャチャ」「こいのぼり」（ 〃 ）
7時間		「うれしいひなまつり」「バスごっこ」（ 〃 ）
4限 8時間		「おべんとう」「やぎさんゆうびん」（ 〃 ）
9時間		「思い出のアルバム」「ふしぎなポケット」（ 〃 ）
5限 10時間		「おかえりのうた」「うれしいひなまつり」（ 〃 ）
11時間		「思い出のアルバム」「線路は続くよどこまでも」（ 〃 ）
6限 12時間		合唱（達成目標：ハーモニーを感じながら歌うことができる）
13時間		〃（ 〃 ）
7限 14時間		「コンコーネ5」（達成目標：のびやかな声で歌うことができる）
7.5限 15時間		〃（ 〃 ）
	試験準備	